医療法人社団

# 筑波記念会

## 2015年度年報

2015.4-2016.3

筑波記念病院
筑波総合クリニック
つくばトータルヘルスプラザ
つくばケアセンター
つくば訪問看護ステーション

筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

# INDEX

Fiscal year 2015


医療法人社団 筑波記念会　概要 …… 2
基本理念・基本方針 …… 〃
筑波記念会 組織図 …… 〃
筑波記念病院 組織図 …… 3
沿革 …… 4
施設概要 …… 5
筑波記念病院 …… 〃
筑波総合クリニック …… 7
つくばトータルヘルスプラザ …… 〃
介護老人保健施設 つくばケアセンター …… 8
診療部門 …… 10
循環器内科 …… 〃
消化器内科 …… 12
血液内科 …… 14
神経内科 …… 16
代謝内科 …… 18
呼吸器内科 …… 20
消化器外科 …… 22
呼吸器外科 …… 24
心臓血管外科 …… 26
脳神経外科 …… 27
整形外科 …… 28
婦人科 …… 30
眼　科 …… 32
耳鼻咽喉科 …… 34
皮膚科 …… 36
小児科 …… 37
精神科 …… 38
麻酔科 …… 40
放射線科 …… 42
病理診断科 …… 44
リハビリテーション科 …… 46
リウマチ・アレルギー科 …… 〃
形成外科 …… 〃
血管専門外来 …… 47
腎臓内科 …… 〃
乳腺甲状腺外科 …… 〃
泌尿器科 …… 48
もの忘れ診療科 …… 〃
緩和ケア …… 〃
内　科 …… 〃
筑波記念病院　研修医 …… 49
業績集 …… 50
書籍・論文等 …… 〃
学会・講演・セミナー等 …… 52
診療支援部門 …… 60
看護部 …… 〃
薬剤部 …… 64
放射線部 …… 66
リハビリテーション部 …… 68
臨床検査科 …… 74
臨床工学科 …… 76
栄養科 …… 78
医療相談室 …… 79
臨床心理 …… 80
地域医療連携部 …… 83
委　員　会 …… 85
運営会議 …… 〃
診療協議会 …… 〃
倫理委員会 …… 86
治験審査委員会 …… 87
医療安全管理委員会 …… 88
リスクマネージャー部会 …… 89
感染対策委員会 …… 91
感染対策チーム会 …… 92
医療の質向上委員会 …… 95
臨床研修管理委員会 …… 96
臨床研修管理院内委員会 …… 97
労働安全衛生委員会 …… 99
防火・防災委員会 …… 100
医療ガス安全管理委員会 …… 101
教育研修委員会 …… 102
輸血管理委員会 …… 103
褥瘡対策委員会 …… 104
薬事委員会 …… 105
栄養委員会 …… 106
NST 委員会 …… 107
救急部運営委員会 …… 108
手術部運営委員会 …… 109
ICU 運営委員会 …… 〃
臨床検査管理委員会 …… 110
クリティカルパス委員会 …… 111
がん化学療法検討委員会 …… 〃
補助人工心臓管理委員会 …… 112
地域医療従事者研修委員会 …… 113
ＤＰＣ委員会 …… 114
診療録管理委員会 …… 115
地域医療サービス委員会 …… 116
ＩＴセキュリティ委員会 …… 117
企画広報委員会 …… 〃
筑波総合クリニック …… 119
つくばトータルヘルスプラザ …… 120
介護老人保健施設 つくばケアセンター …… 124
つくば訪問看護ステーション …… 125
筑波記念病院 統計 …… 126
患者統計 …… 〃
科別外来患者数 …… 〃
救急車搬送患者記録 …… 127
ドクターヘリ搬送患者数 …… 〃
平均在院日数（一般病棟）…… 128
入院延べ患者数 …… 129
新入院患者数 …… 130
手術件数（入院・外来） …… 131
手術件数（入院のみ・時間帯別） …… 132
病床利用率 …… 〃
主な指導料・管理料算定件数 …… 133
地域がん登録部位別件数 …… 134
研修・講演会一覧 …… 135

# 医療法人社団 筑波記念会　概要

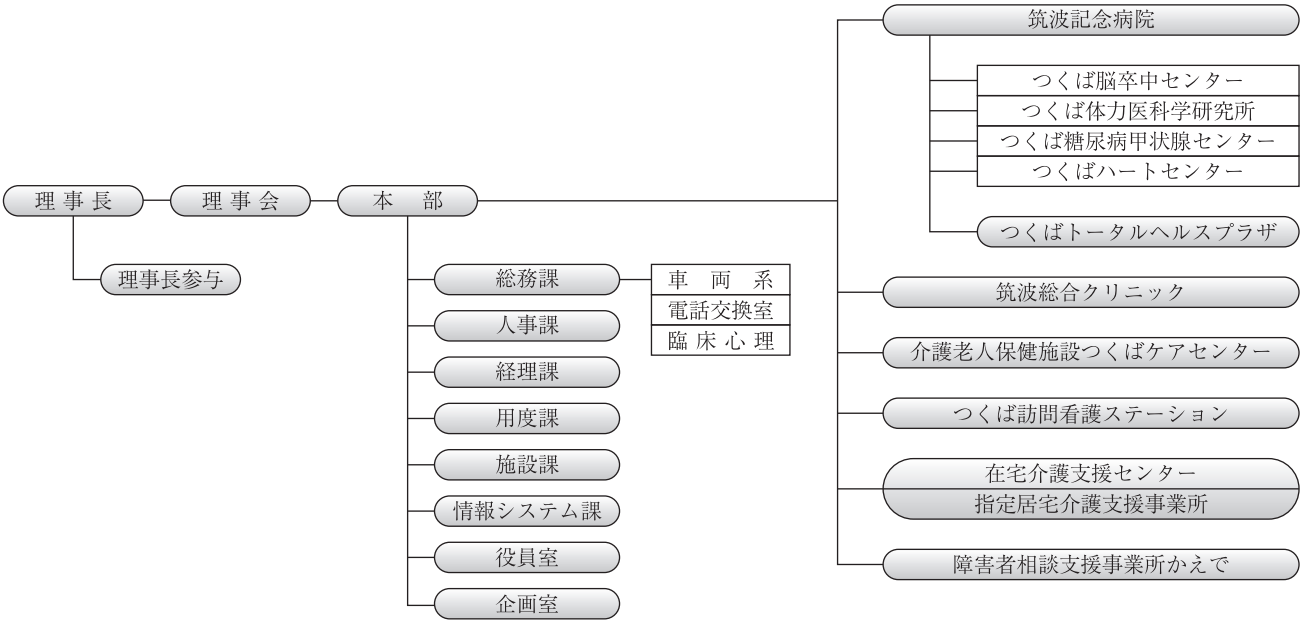
## 基　本　理　念

# 誠意を以って最善をつくす

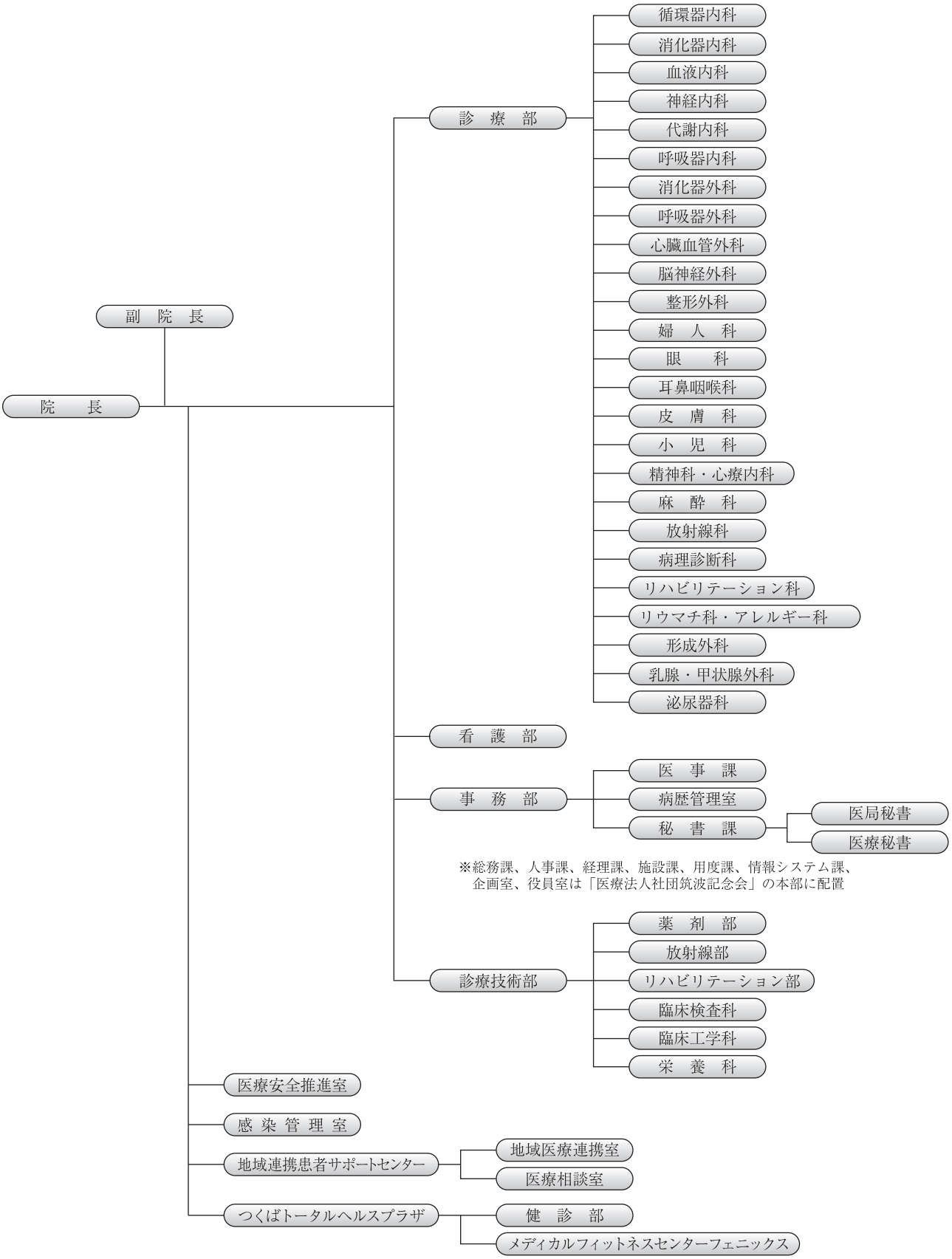
## 基　本　方　針

1．患者と社会に奉仕する
2．最新、最高の総合医療を提供する
3．患者の権利と意向を尊重する
4．地域の医療・保健・福祉に貢献する
5．地域社会での良好な職場環境を提供する

## 筑波記念会　組織図



# 筑波記念病院　組織図


院　長
副　院　長
診　療　部
循環器内科
消化器内科
血液内科
神経内科
代謝内科
呼吸器内科
消化器外科
呼吸器外科
心臓血管外科
脳神経外科
整形外科
婦　人　科
眼　　科
耳鼻咽喉科
皮　膚　科
小　児　科
精神科・心療内科
麻　酔　科
放射線科
病理診断科
リハビリテーション科
リウマチ科・アレルギー科
形成外科
乳腺・甲状腺外科
泌尿器科
看　護　部
事　務　部
医　事　課
病歴管理室
秘　書　課
医局秘書
医療秘書
※総務課、人事課、経理課、施設課、用度課、情報システム課、
企画室、役員室は「医療法人社団筑波記念会」の本部に配置
診療技術部
薬　剤　部
放射線部
リハビリテーション部
臨床検査科
臨床工学科
栄　養　科
医療安全推進室
感 染 管 理 室
地域連携患者サポートセンター
地域医療連携室
医療相談室
つくばトータルヘルスプラザ
健　診　部
メディカルフィットネスセンターフェニックス

# 沿　　革

| | | |
|---|---|---|
| 1982 | 2 | 筑波記念病院開設 |
| | | 保険医療機関指定 |
| | 4 | 生活保護法医療機関指定 |
| | 5 | 第二次救急医療機関指定 |
| | 6 | 労災保険医療機関指定 |
| 1983 | 2 | 筑波健康推進センター開設 |
| | | 人間ドック及び健康診断実施 |
| | | 日本体力医科学研究所開設 |
| 1984 | 8 | 結核指定医療機関指定 |
| 1985 | 1 | 託児所「アイビー保育園」開設 |
| 1986 | 1 | 医療法人社団筑波記念会認可 |
| 1987 | 12 | 筑波記念病院付属第一病院開設 |
| 1989 | 8 | 付属第一病院廃止、筑波記念病院に吸収合併 |
| 1992 | 2 | 中央管理棟完成 |
| | 3 | 在宅介護支援センター開設 |
| | 10 | つくば訪問看護ステーション開設 |
| 1994 | 11 | 「つくばトータルヘルスプラザ」、メディカルフィットネスセンター「フェニックス」開設 |
| 1996 | 6 | 老人デイケア施設「ピンクハウス」開設 |
| 1997 | 7 | ホームページ開設 |
| 1998 | 4 | 老人保健施設「つくばケアセンター（現２号棟)」開所 |
| 1999 | 4 | 指定居宅介護支援事業所開設 |
| | | クリティカルパス導入 |
| | 12 | 難病医療協力病院指定 |
| 2000 | 12 | つくば市より事業委託 病後児保育「ピーターパン」開設 |
| 2001 | 3 | 病児家族宿泊施設「ファミリーハウス」開設 |
| | 8 | 日本医療機能評価機構　病院機能評価基準（一般病院Ｂ（200 床以上））認定取得 |
| | 9 | 茨城県地域リハ・ステーション指定 |
| 2002 | 7 | 「つくばクリニック（眼科)」開設 |
| | 10 | 茨城県訪問リハビリテーション・ステーション指定 |
| 2003 | 6 | 地域医療連携室設置 |
| | 7 | 介護老人保健施設「つくばケアセンター」リニューアルオープン |
| | 8 | 療養病棟「けやき」開設 |
| | 11 | 開放型病院指定 |
| 2004 | 4 | 臨床研修病院指定 |
| | 6 | セカンドオピニオン外来開始 |
| | 7 | DPC（診断群分類・包括評価）開始 |
| | 9 | 回復期リハビリテーション病棟「ひのき」開設 |
| 2005 | 5 | 外来専門クリニック「筑波総合クリニック」開設 |
| | 9 | 「つくばケアセンター」内に訪問リハビリテーション事業所開設 |
| 2006 | 1 | 県南スポーツ医科学センター認定 |
| | | 茨城県地域リハビリテーション研修推進支援センター指定 |
| | 9 | 日本医療機能評価機構　病院機能評価基準（審査体制区分：３）認定更新（ver.５） |
| 2008 | 4 | 特定健康診査・特定保健指導機関登録 |
| | 5 | 高機能医療センター開設 |
| 2010 | 7 | ドクターヘリ受入開始 |
| 2011 | 1 | 回復期リハビリテーション病棟リニューアル |
| | 11 | 日本医療機能評価機構　病院機能評価基準（審査体制区分：３）認定更新（ver.６） |
| 2012 | 3 | 「つくばトータルヘルスプラザ」リニューアル |
| | 9 | 地域医療支援病院　承認 |
| | 10 | メディカルフィットネスセンター「フェニックス」指定運動療法施設認定 |
| | | 「つくばケアセンター」訪問リハビリテーション下妻出張所開設 |
| 2013 | 2 | 「つくばケアセンター」訪問リハビリテーション桜川出張所開設 |
| | 10 | 障害者相談支援事業所「かえで」開設 |
| 2014 | 4 | 筑波記念病院附属「アイビー保育園」新築移転 |
| | 5 | 「つくばケアセンター」訪問リハビリテーション土浦出張所開設 |
| 2015 | 9 | 筑波記念病院「Ｓ棟」竣工 |

筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

# 施　設　概　要

## 筑波記念病院

**管理者：長澤　俊郎**

〒300-2622　茨城県つくば市要 1187-299　　TEL 029-864-1212　FAX 029-864-8135

ベッド数　487 床　　一般病床：387 床（ICU 8 床　回復期リハビリテーション病棟 52 床）

療養病床（医療保険適用）：100 床

**標榜科目**

内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、アレルギー科、リウマチ科、血液内科、心療内科、外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、整形外科、形成外科、小児科、婦人科、精神科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科

**基準情報**

| | |
|---|---|
| 地域医療支援病院 | 特定疾患（一般・小児）治療研究機関 |
| ＤＰＣ対象病院 | 生活保護法第 49 条規定医療機関 |
| 日本医療機能評価機構（一般病院種別 B）認定 | 難病医療協力病院 |
| 第二次救急指定病院 | 原子爆弾被爆者指定医療機関 |
| 臨床研修病院指定（基幹型） | 自立支援医療機関（精神通院） |
| 茨城県指定地域リハ・ステーション | 医療機関検診実施指定病院 |
| 労災保険二次健診等給付医療機関 | 入院時食事療養（Ｉ） |

**施設基準等（基本診療料）**

| | |
|---|---|
| 一般病棟入院基本料１（７対 1） | 医療安全対策加算１ |
| 療養病棟入院基本料２ | 感染防止対策加算１　地域連携加算 |
| 臨床研修病院入院診療加算１（基幹型） | 患者サポート体制充実加算 |
| 救急医療管理加算１，２ | 退院調整加算１，２ |
| 診療録管理体制加算２ | 救急搬送患者地域連携紹介加算 |
| 医師事務作業補助体制加算２チ（100 対 1） | 救急搬送患者地域連携受入加算 |
| 急性期看護補助体制加算３（50 対 1） | 総合評価加算 |
| 地域加算３（３級地）　・療養環境加算 | 病棟薬剤業務実施加算 |
| 療養病棟療養環境加算１ | データ提出加算２ |
| 無菌治療室管理加算１ | 特定集中治療室管理料３ |
| 重症皮膚潰瘍管理加算 | 回復期リハビリテーション病棟入院料１ |

## 施設基準等（特掲診療料）

| | |
|---|---|
| 植込型除細動器移行期加算 | 植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術 |
| がん性疼痛緩和指導管理料 | ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 |
| 夜間休日緊急搬送医学管理料 | 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術 |
| 開放型病院共同指導料 | 植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術 |
| がん治療連携指導料 | 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術 |
| 薬剤管理指導料 | |
| 医療機器安全管理料１ | 大動脈バルーンパンピング法（ＩＡＢＰ法） |
| 検体検査管理加算（Ⅰ），（Ⅱ） | 補助人工心臓 |
| 植込型心電図検査 | ダメージコントロール手術 |
| 皮下連続式グルコース測定 | 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術 |
| 画像診断管理加算１，２ | 頭蓋内腫瘤摘出術等 |
| ＣＴ撮影（64 列以上のマルチスライスＣＴ） | 肺悪性腫瘍手術等 |
| ＭＲＩ撮影（３テスラ以上）　・心臓ＭＲＩ加算 | 経皮的カテーテル心筋焼灼術 |
| 大腸ＣＴ撮影加算　・冠動脈ＣＴ撮影加算 | 靭帯断裂形成手術等 |
| 外来化学療法加算２　・無菌製剤処理料 | 水頭症手術等 |
| 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算 | 肝切除術等 |
| 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算 | 食道切除再建術等 |
| 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算 | 胸腔鏡又は腹腔鏡を用いる手術 |
| 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算 | 人工関節置換術 |
| がん患者リハビリテーション料 | 冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用しないものを含む。）及び体外循環を要する手術 |
| 集団コミュニケーション療法料 | 胃瘻造設時嚥下機能評価加算 |
| 経皮的冠動脈形成術 | 麻酔管理料（Ⅰ），（Ⅱ） |
| 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの） | 病理診断管理加算１ |
| 経皮的冠動脈ステント留置術 | |

## 諸指定

| | |
|---|---|
| 日本内科学会認定医制度教育関連病院 | 日本脳卒中学会認定研修教育病院 |
| 日本循環器学会循環器研修施設 | 日本乳癌学会関連施設 |
| 日本消化器病学会専門医制度認定施設 | 日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設 |
| 日本血液学会血液研修施設 | 日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設 |
| 日本内分泌学会認定教育施設 | 日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師制度研修施設 |
| 日本神経学会准教育施設 | マンモグラフィ検診施画像認定施設 |
| 日本外科学会外科専門医制度修練施設 | 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設 |
| 呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設 | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部ステントグラフト実施施設 |
| 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設 | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会胸部ステントグラフト実施施設 |
| 日本整形外科学会専門医研修施設 | 血管内レーザー焼灼術実施・管理委員会下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設 |
| 日本眼科学会専門医制度研修施設 | 茨城県肝疾患専門医療機関 |
| 日本麻酔科学会認定麻酔科認定病院 | 茨城県指定地域リハビリテーション研修推進支援センター |
| 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関 | 茨城県指定地域リハ・ステーション |
| 日本総合健診医学会健診専門医研修施設 | 茨城県指定小児リハ・ステーション |
| 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設 | 茨城県指定訪問リハビリテーション・ステーション |
| 日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設 | 茨城県広域スポーツセンター事業協力医療機関（県南スポーツ医科学センター） |

| | |
|---|---|
| 日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設 | 日本認知症学会教育施設認定証 |
| 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設 | 日本脳神経外科学会専門医研修（連携）施設 |
| 日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連認定施設 | 埋込型補助人工心臓実施施設実施医　埋込型補助人工心臓実施施設認定施設 |
| 日本がん治療認定医機構認定研修施設 | 日本消化器外科学会専門医修練施設 |
| 日本糖尿病学会認定教育施設 | 日本消化管学会胃腸科暫定指導施設 |
| 日本脈管学会認定研修関連施設 | |
| 日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設 | 2016 年 1 月～ |



## 筑波総合クリニック

**院長：飯田　要**

〒 300-2622　茨城県つくば市要 65　　TEL 029-877-1221　FAX 029-877-1191

**標榜科目**

内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、整形外科、形成外科、小児科、婦人科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、精神科、放射線科

## つくばトータルヘルスプラザ

**施設長：中原　朗**

〒 300-2622　茨城県つくば市要 1187-299　　TEL 029-864-3588　FAX 029-864-8585

**諸指定**

| | |
|---|---|
| 厚生労働大臣認定健康増進施設 | 健康評価施設査定機構認定人間ドック・総合健診・特定健診・特定保健指導施設 |
| 全国健康保険協会生活習慣病予防健診実施機関 | 日本脳ドック学会認定脳ドック施設 |
| 日本総合健診医学会認定優良総合健診施設 | 厚生労働省指定運動療法施設 |
| 日本人間ドック学会認定優良二日ドック施設 | 日本総合健診医学会及び日本人間ドック学会認定人間ドック健診専門医研修施設 |

# 介護老人保健施設 つくばケアセンター

**管理者：垣花　昌明**

〒300-2622　茨城県つくば市要 76　　TEL 029-877-1313　FAX 029-877-1334

**つくばケアセンター　訪問リハビリテーション**

〒300-2622　茨城県つくば市要 76（介護老人保健施設 つくばケアセンター内）

TEL 029-877-1313　FAX 029-877-1334

**つくばケアセンター　訪問リハビリテーション　下妻出張所**

〒304-0062　茨城県下妻市小島 695　ブリランテ下妻 105

**つくばケアセンター　訪問リハビリテーション　桜川出張所**

〒300-4414　茨城県桜川市真壁町椎尾 1632-1

**つくばケアセンター　訪問リハビリテーション　土浦出張所**

〒300-0812　茨城県土浦市下高津 1-19-33



## サービスの種類

| |
|---|
| 介護保健施設サービス（入所） |
| 介護予防短期入所療養介護・短期入所療養介護（ショートステイ） |
| 介護予防通所リハビリテーション・通所リハビリテーション（デイケア） |
| 介護予防訪問リハビリテーション・訪問リハビリテーション |

## 定員等

| | |
|---|---|
| 入所定員 | 100 名（介護予防短期入所療養介護・短期入所療養介護も含む）<br>療養室　　個室　12 室、4 床室　22 室 |
| 通所定員 | 40 名（介護予防通所リハビリテーションも含む） |

## 基準情報

| |
|---|
| 生活保護法等指定介護機関 |
| 茨城県指定訪問リハ・老健ステーション |
| 全国老人保健施設協会実地研修指定施設 |

## 施設基準等

### 入所

| | |
|---|---|
| 介護保健施設サービス費（Ⅰ） | ターミナルケア加算 |
| サービス提供体制強化加算（Ⅰ） | 所定疾患施設療養費 |
| 夜勤職員配置加算 | 認知症行動・心理症状緊急対応加算 |
| 短期集中リハビリテーション実施加算 | 認知症情報提供加算 |
| 認知症短期集中リハビリテーション実施加算 | 入所前後訪問指導加算 |
| 栄養マネジメント加算 | 地域連携診療計画情報提供加算 |

| | |
|---|---|
| 療養食加算 | 退所前訪問指導加算 |
| 経口維持加算 | 退所後訪問指導加算 |
| 初期加算 | 退所時指導加算 |
| 口腔機能維持管理体制加算 | 退所時情報提供加算 |
| 外泊時費用 | 退所前連携加算 |
| 緊急時治療管理 | 老人訪問看護指示加算 |
| 在宅復帰・在宅療養支援機能加算 | 介護職員処遇改善加算（Ⅱ） |

### 短期入所療養介護

| | |
|---|---|
| 介護老人保健施設短期入所療養介護費（Ⅰ） | 送迎加算 |
| 介護老人保健施設介護予防短期入所療養介護費（Ⅰ） | 重度療養管理加算 |
| 個別リハビリテーション実施加算 | 緊急短期入所受入加算 |
| 療養食加算 | 緊急時治療管理 |
| サービス提供体制強化加算（Ⅰ） | 認知症行動・心理症状緊急対応加算 |
| 夜勤職員配置加算 | 介護職員処遇改善加算（Ⅱ） |

### 通所リハビリテーション

| | |
|---|---|
| 通常規模型リハビリテーション費 | サービス提供体制強化加算（Ⅰ） |
| 介護予防通所リハビリテーション費 | 理学療法士等体制強化加算 |
| 入浴介助加算 | 重度療養管理加算 |
| リハビリテーションマネジメント加算 | 中重度者ケア体制加算 |
| 短期集中個別リハビリテーション実施加算 | 社会参加支援加算 |
| 認知症短期集中リハビリテーション実施加算 | 運動器機能向上加算 |
| 生活行為向上リハビリテーション実施加算 | 選択的サービス複数実施加算 |
| 栄養改善加算 | 事業所評価加算 |
| 口腔機能向上加算 | 介護職員処遇改善加算（Ⅱ） |

### 訪問リハビリテーション

| | |
|---|---|
| 訪問リハビリテーション費 | サービス提供体制強化加算 |
| 介護予防訪問リハビリテーション費 | 社会参加支援加算 |
| 短期集中リハビリテーション実施加算 | |

### 協力医療機関

| |
|---|
| 筑波記念病院 |
| 筑波総合クリニック |
| 大久保歯科医院 |

# 診　療　部　門

## 循環器内科

**【総括】**

本年度の循環器内科は、榎本強志（副院長・循環器内科部長）、井川昌幸（不整脈診療部長）、井藤葉子、服部愛医師が在籍した。つくばハートセンターは我妻賢司（つくばハートセンター・センター長）、新居秀郎（循環器内科科長）、内田靖人（循環器内科医長）医師が在籍した。筑波総合クリニックに飯田要（筑波総合クリニック院長）、飯田啓治（筑波総合クリニック副院長）が在籍した。循環器内科は筑波大学循環器内科関連施設として、筑波大学と連携しつつ、不整脈、虚血性心疾患、心不全、弁膜症、心筋症などの診療を行った。つくばハートセンターは虚血性心疾患、末梢動脈疾患を中心に診療を行った。循環器救急、特に虚血性心疾患の受け入れが24時間できる態勢をとった。

虚血性心疾患のPCI件数は190件と昨年度より減少した。薬剤溶出型ステントの積極使用により、再治療が減少したことが一因であり、症例数の増加には、救急外来または紹介による新規患者の開拓が不可欠であるため、救急症例受け入れの態勢作りをさらに強化したい。

不整脈部門は、カテーテル・アブレーション件数が増加した。これは、筑波大学循環器内科との連携を密に取り、同内科からの紹介患者が増加したことが大きいが、徐々に協力診療所からの紹介患者も増加傾向にあり、今後、さらなる患者数の増加が見込まれる。

学会発表は国内外を問わずに積極的に行えた。今後も発表のレベルを維持しつつ、論文投稿も積極的に行なっていきたい。

平均在院日数は虚血性心疾患、不整脈については、ほぼ17日以内を達成したが、心不全のみ24.0日と延長した。病気の特性および高齢患者が多いことが延長の原因と考えられるが、診療内容の見直し等を行い、出来る限り在院日数を短縮する努力をしたい。

［文責：榎本強志］

【人事】

| 氏　名 | 役　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 小關　迪 | 総院長・救急センター長 | 常（HP） |
| 飯田　要 | 筑波総合クリニック院長 | 常（CL） |
| 飯田　啓治 | 筑波総合クリニック副院長 | 常（CL） |
| 榎本　強志 | 副院長・循環器内科部長 | 常（HP） |
| 我妻　賢司 | つくばハートセンター　センター長 | 常（HP） |
| 井川　昌幸 | 不整脈診療部長 | 常（HP） |
| 新居　秀郎 | 循環器内科科長・集中治療部科長 | 常（HP） |
| 内田　靖人 | 循環器内科医長 | 常（HP） |
| 井藤　葉子 | | 常（HP） |
| 服部　愛 | | 常（HP） |
| 鯵坂　隆一 | | 非（CL） |
| 青沼　和隆 | | 非（HP） |
| 宮内　卓 | | 非（CL） |
| 芳賀　厚子 | | 非（HP） |
| 永井　直 | | 非（HP） |
| 安部　悠人 | | 非（HP） |
| 林　孝典 | | 非（HP） |

【手術件数】

| 分　類 | 件　数 |
|---|---|
| 経皮的冠動脈ステント留置術 | 181 |
| 経皮的カテーテル心筋焼灼術 | 86 |
| ペースメーカー移植術 | 28 |
| 経皮的冠動脈形成術 | 9 |
| 四肢の血管拡張術・血栓除去術 | 4 |
| 植込型除細動器交換術 | 3 |
| 植込型除細動器移植術 | 3 |
| ペースメーカー交換術 | 2 |
| 総手術件数 | 316 |

【科別 MDC 件数】

| MDC | 症　例　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 050050　狭心症、慢性虚血性心疾患 | 323 | 4.7 |
| 050130　心不全 | 180 | 24.0 |
| 050070　頻脈性不整脈 | 126 | 7.3 |
| 040080　肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎 | 41 | 14.8 |
| 050210　徐脈性不整脈 | 38 | 17.9 |

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

| 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2,883 | 2,461 | 3,072 | 2,944 | 2,911 | 2,687 | 2,848 | 2,685 | 2,895 | 2,825 | 2,910 | 3,226 | 34,347 |

# 消 化 器 内 科

**【総括】**

**1．2015 年度の実績報告（診療統計の解説、治療成績、教育・研究）**

①2015年度の入院患者数および外来受診者数は、例年とほぼ同じ規模であった。

②内視鏡診療の上では、2015年8月に念願の新内視鏡室がオープンしハード面での充実が図られた。さらに、内視鏡に従事するコメディカルの拡充・増員が達成された1年となった。その結果、内視鏡の予約待ち日数の短縮が可能となり、今年度は初めて大腸鏡内視鏡検査が2000件を超過した。またERCPも231例と過去最多となった。高齢患者の胆道疾患が急増する中でERCPの大半が診断のみならず、治療を兼ねた緊急処置が増えつつある。コメディカルスタッフの充足によってそれらへの迅速な対応が可能となったことが、ERCP件数の増加を導いたと考える。

③学会活動としては、例年とほぼ同レベルの報告数であったが、新里悠輔医師が第335回日本消化器病学会関東支部例会にて専修医奨励賞（JSGE Senior Resident Award）を受賞したことは特筆される。

④論文執筆では、小林真理子医師が「Internal Medicine」誌へ英文での症例報告を上梓し、池澤が2009年より当院で毎年開催している「つくば内視鏡ライブセミナー」の紹介記事を「消化器内視鏡」へ投稿した。

⑤学会専門医関係では、小林真理子医師が「日本消化器病学会・専門医」を、添田敦子医師が「日本内科学会・総合内科専門医」を、杉山弘明医師が「日本消化器内視鏡学会・指導医」を、それぞれ取得した。池澤は、日本消化器内視鏡学会・学会評議員、日本ヘリコバクター学会・広報委員および耐性菌サーベイランス委員に就任した。

**2．2016 年度の課題・目標**

①来年度は、胃内視鏡検査4000件の達成を第一目標とする。また、食道・胃・大腸など消化管悪性腫瘍に対するESDは、この数年は年間60～70件でほぼ横ばいでありESD件数の増加を目指す。とりあえず年間100例を目標に励んでいく。

②病診連携を向上させ、紹介患者数を2015年度の総計781例（月平均65例）からさらに増加できるような体制を整える。

［文責：池澤和人］

**【科別 MDC 件数】**

| MDC | 症　例　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 060020　胃の悪性腫瘍 | 99 | 14.3 |
| 060340　胆管（肝内外）結石、胆管炎 | 96 | 14.1 |
| 060035　結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍 | 41 | 23.8 |
| 06007x　膵臓、脾臓の腫瘍 | 41 | 23.1 |
| 060050　肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。） | 37 | 13.5 |
| 060130　食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患） | 36 | 13.5 |
| 060210　ヘルニアの記載のない腸閉塞 | 35 | 12.8 |
| 060335　胆嚢水腫、胆嚢炎等 | 35 | 14.7 |
| 150010　ウイルス性腸炎 | 33 | 7.9 |
| 060140　胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの） | 31 | 14.3 |

【人事】

| 氏　名 | 役　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 中原　朗 | つくばトータルヘルスプラザ施設長・消化器健診センター長 | 常（HP） |
| 設楽佐代子 | 消化器内科科長 | 常（HP） |
| 池澤　和人 | 副院長・消化器内科部長 | 常（HP） |
| 本橋　歩 | | 常（HP） |
| 添田　敦子 | 消化器化学療法診療科長 | 常（HP） |
| 大塚公一朗 | | 常（HP） |
| 越智　大介 | | 常（HP） |
| 小林真理子 | | 常（HP） |
| 田島　大樹 | | 常（HP） |
| 菅沼　大輔 | | 常（HP） |
| 岩井健太郎 | | 常（HP） |
| 杉山　弘明 | 消化器内視鏡診療科長（～ 2015.8） | 非（HP） |
| 新里　悠輔 | | 非（CL） |
| 白石　貴久 | | 非（HP） |
| 中森　容 | | 非（HP） |
| 福田由紀子 | | 非（HP） |
| 平井　祥子 | | 非（CL） |
| 山本　祥之 | | 非（HP） |
| 山田　武史 | | 非（CL） |
| 永瀬　将臣 | | 非（CL） |
| 丹下　善隆 | | 非（CL） |
| 山浦　正道 | | 非（CL） |

【内視鏡検査数】

| | | |
|---|---|---|
| 上部消化管内視鏡検査 | 総数 | 3934 |
| | （経口） | 3526 |
| | （経鼻） | 262 |
| 治療内視鏡 | 食道 ESD | 10 |
| | 胃 ESD | 38 |
| | 胃 EMR | 5 |
| | EVL | 12 |
| | 止血術 | 59 |
| | 胃瘻造設・交換 | 22 |

| | | |
|---|---|---|
| 下部消化管内視鏡検査 | 総数 | 2071 |
| 治療内視鏡 | ESD | 16 |
| | EMR | 662 |
| | 止血術 | 21 |

| | | |
|---|---|---|
| ERCP | 総数 | 236 |
| 治療内視鏡 | EST | 63 |
| （重複あり） | EPBD | 42 |
| | ステント留置 | 116 |
| | 砕石除去術 | 36 |

| | |
|---|---|
| 全内視鏡検査総数 | 6241 |

【手術件数】　※ ESD は除く

| 名　称 | 件　数 |
|---|---|
| 内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術 | 662 |
| 内視鏡的胆道ステント留置術 | 116 |
| 内視鏡的乳頭切開術 | 63 |
| 内視鏡的消化管止血術 | 59 |
| 内視鏡的膵管ステント留置術 | 36 |
| 内視鏡的胆道結石除去術 | 22 |

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

| 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2,027 | 1,886 | 2,250 | 2,288 | 2,104 | 2,016 | 2,159 | 1,931 | 2,052 | 2,005 | 2,120 | 2,244 | 25,082 |

# 血　液　内　科

**【総括】**

当院は筑波大学附属病院のすぐ近くに位置するという立地条件から一部には大学病院の後方病院としての役割を担っており、特に患者さんの受け入れについて大学病院と連携を図ってきた。また、県南・県西地区の血液内科の無い他病院からの診療依頼についても可能な限り対応してきた。昨年度当院の病床数が増床となり、ベッド数に余裕ができることが期待されるため、今年度は他院との連携をより緊密に行い、診療・転院依頼を積極的に受け入れる方針としたい。また、2016 年度の診療報酬改定に伴い重症の患者さんに対する診療を求められている。当院は入院患者における高齢患者の比率が高く、かつ充分なリハビリスタッフを擁しているという特性を有するため、重症高齢者に対して充実した医療を提供できる環境にある。今後は高齢者重症患者に対する診療も重視していきたいと考える。一方で、人口の高齢化に伴う血液疾患罹患数の増加、および近年の化学療法・支持療法の進歩による予後の改善により、当院で扱う血液疾患患者数は徐々に増加傾向にある。今後血液内科常勤医の増員を期待したいところであるが、まずは外来通院患者について定期的経過観察期間が終了した患者さん、あるいは病状が安定しており頻回な通院が不要になった患者さんについてできるだけ紹介元など他の医療施設に御紹介する方針とする。

昨年度は同種造血幹細胞移植数が少なかったが、実施数を制限したわけでなく自然増減の結果であった。2016 年度は件数が増加する見込みである。学術業績につき昨年は症例報告 2 例にとどまった。一般病院において多数例でのまとまった報告を行うことは困難であるため、2016 年度は内科学会・血液学会の地方会を中心に複数の症例報告を行えるよう準備している。また、ここ数年学術論文の投稿を怠ってきたが、2016 年度は症例が蓄積されたため複数の投稿ができる見込みである。

［文責：佐藤祐二］

【人事】

| 氏　名 | 役　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 長澤　俊郎 | 管理者・院長 | 常（HP） |
| 佐藤　祐二 | 副院長・血液内科部長 | 常（HP） |
| 田岡　謙一 | | 常（HP） |
| 福田　匡芳 | | 常（HP） |
| 小松　恒彦 | | 非（HP） |
| 小原　直 | | 非（HP） |
| 小林　一彦 | | 非（CL） |
| 坂田麻実子 | | 非（HP） |
| 鈴木　幸恵 | | 非（CL） |
| 一色　雄裕 | | 非（HP） |
| 坂本　竜弘 | | 非（HP） |
| 服部圭一朗 | | 非（CL） |
| 周山　拓也 | | 非（HP） |
| 津田　健司 | | 非（CL） |
| 伊藤　由布 | | 非（HP） |

【手術件数】

| 分　類 | 件　数 |
|---|---|
| 造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）自家移植 | 7 |
| 造血幹細胞移植（末梢血幹細胞移植）同種移植 | 1 |
| 造血幹細胞移植（臍帯血移植） | 2 |
| 造血幹細胞採取（末梢血幹細胞採取）自家移植 | 10 |
| 造血幹細胞採取（末梢血幹細胞採取）同種移植 | 2 |
| 総手術件数 | 22 |

【科別 MDC 件数】

| MDC | 症　例　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 130030　非ホジキンリンパ腫 | 289 | 21.5 |
| 130040　多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物 | 75 | 34.1 |
| 130060　骨髄異形成症候群 | 69 | 23.9 |
| 130010　急性白血病 | 40 | 35.9 |
| 040080　肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎 | 38 | 32.8 |

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

| 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 856 | 793 | 732 | 841 | 891 | 824 | 889 | 778 | 824 | 804 | 800 | 793 | 9,825 |

# 神　経　内　科

**【総括】**

**1．病棟診療**

2015 年 5 月から常勤医 1 人の体制となり、神経内科は引き続き回復期リハビリテーション病棟と長期療養病棟を担当したが、脳血管障害の入院患者は脳神経外科で担当していただく事になった。前年度と同様に、てんかん、内科疾患に伴う神経系障害等の急性期病棟の入院は他科に担当していただき、神経内科で併診する形式をとらせていただいた。新しい診療体制に伴い、2015 年度の入院診療数と疾患内容は次のようになった。

神経内科入院患者数は 32 名、他科との併診患者数は 108 名であった。疾患内容は内科疾患に伴う神経系障害（31.4％）、脳血管障害（22.2％）、パーキンソン病、多系統萎縮症等の神経変性疾患（16.6％）、てんかん（12.0％）であった。

コンサルテーションを通じて、救急、病棟で高度医療が必要な神経疾患の選別と適切な診療体制の医療機関への紹介を行った。

他院からの転入院のご依頼に対して、看護部、地域医療連携室、リハビリテーション部と共に、毎週、判定会議を行った。

**2．外来診療**

神経内科専門外来（年間 5,108 人、月平均 425 人）では、パーキンソン病や脳梗塞を始めとする神経内科疾患全般を診療した。

**3．学術、教育活動**

第 56 回日本神経学会学術大会において「Case reports of drug-induced parkinsonism」の発表を行い、これまでの発表を論文にした。また、日本神経学会准教育施設として、頭痛、てんかん、内科疾患に伴う神経系障害等について初期研修医の診療および学会発表の指導も随時行った。

**4．次年度へ向けて**

総合病院の神経内科であり、内科疾患に伴う神経障害を始め神経疾患全般の診療が必要とされる。現在の体制で、可能な限り高い専門性を維持するように診療に励みたい。

［文責：星野幸子］

【人事】

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 星野　幸子 | 神経内科医長 | 常（HP） |
| 白岩　伸子 | | 非（CL） |
| 寺田　　真 | | 非（CL） |
| 三宅　善嗣 | | 非（CL） |

【科別 MDC 件数】

| MDC | 症　例　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 010170　基底核等の変性疾患 | 12 | 37.6 |
| 010060　脳梗塞 | 8 | 252.8 |
| 010040　非外傷性頭蓋内血腫 | 4 | 183.3 |
| 010160　パーキンソン病 | 1 | 83.0 |
| 010155　運動ニューロン疾患等 | 1 | 113.0 |

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

| 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 443 | 355 | 493 | 461 | 453 | 391 | 468 | 384 | 439 | 395 | 399 | 427 | 5,108 |

# 代　謝　内　科

**【総括】**

**1．外来診療**

産休、転居および開業などといった理由で外来枠の減少した半面、今年度７月より常勤医の加入に伴い外来枠の回復も生じた。また糖尿病教室の継続により外来での生活療養指導を継続的に行っている。前年度から基礎編､応用編１および応用編２に分けたものになっている。基礎編は理学療法士による運動療法を取り入れている。応用編１は食事療法中心とし、フードモデルを使用した献立作成を行い、カンバセーションマップで糖尿病の知識を学習した。応用編２は運動療法中心とし、当院の運動施設フェニックスで実際に運動した。CGN 外来を新たに立ち上げ、24 時間血糖測定を在宅で持続的に行い得るようになった。これは血糖管理不良の原因を見つけるとともに、インスリンポンプ療法の新規導入にとっても有益であり、適正なインスリン使用量を決定づけるために大きな助けとなりえる。実際新規インスリンポンプ療法導入者に CGN 施行してインスリン使用量を変更した。

**2．病棟診療**

常勤医の新規加入により糖尿病教育入院のみならず通常および緊急治療のための入院を曜日の制約を受けずに行えるようになった。入院業績は大幅に改善した。また従来から行っていた糖尿病教育入院を継続した。他科入院中の患者の代謝あるいは内分泌内科的疾患のコンサルテーションをうけ併診として診断、治療方針の作成および治療効果の判定、評価を行い、退院後の外来診療への継続指導を行った。

**3．教育・研究**

初期研修医１名の受け入れを行い、１型糖尿病や Basedow 病などの精査加療の概念および技術指導を行った。定例の糖尿病症例検討連絡会で症例検討を看護師、栄養士、薬剤師および理学療養士と行った。糖尿病療養指導士が“つくばポンプの会”を立ち上げ、当院の看護師と栄養士らが筑波大学附属病院内分泌代謝・糖尿病内科の看護師と栄養士らと共にインスリン持続皮下注入療法について検討会を定期的に行うこととなった。筑波大学附属病院内分泌代謝・糖尿病内科のメーリングリストに加わり、論文などが不定期にメールで送られているようになった。また同科の症例検討カンファレンスに不定期に参加している。

**4．次年度目標**

代謝内科的疾患のみならず内分泌疾患の精査加療のための入院症例を増やしていくとともに、研修医の指導も併せて行っていくことによって基幹病院としての筑波記念病院の役割を果たす一助となる。また症例報告および研究業績を発表していくことによって日々進歩する医学にわずかながら貢献していく。

［文責：藤原　淳］

【人事】

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 藤田　利枝 | | 常（HP） |
| 清水　郁子 | | 常（HP） |
| 藤原　　淳 | 代謝内科医長 | 常（HP） |
| 勝又　紀子 | | 常（HP） |
| 山下亀次郎 | | 非（CL） |
| 松島　照彦 | | 非（CL） |
| 竹越　一博 | | 非（CL） |
| 千勝　典子 | | 非（CL） |
| 石垣　直美 | | 非（CL） |
| 岡田　純代 | | 非（HP） |
| 松田ひとみ | | 非（CL） |
| 小林　鈴子 | | 非（CL） |

【科別 MDC 件数】

| MDC | 症　例　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 100070　２型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。） | 33 | 11.9 |
| 100140　甲状腺機能亢進症 | 6 | 12.5 |
| 040080　肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎 | 5 | 14.6 |
| 100060　１型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。） | 3 | 17.7 |
| 080011　急性膿皮症 | 2 | 19.5 |

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

| 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1,174 | 1,113 | 1,127 | 1,301 | 1,223 | 1,175 | 1,396 | 1,104 | 1,256 | 1,281 | 1,198 | 1,180 | 14,528 |

# 呼　吸　器　内　科



**【総括】**

**1．2015 年度の実績報告**

呼吸器内科は、2014 年度までは筑波大学呼吸器内科からの非常勤医師 3 名でクリニック外来診療のみを行っていたが、2015 年 4 月から常勤医師 3 名による入院診療を開始した。筑波大学呼吸器内科関連病院として筑波大学と連携しつつ、肺炎・気管支炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、肺癌、間質性肺炎などの入院および外来診療を行った。本年度は、肥田、山田、折居医師、大塚が入院診療を、松野、渡邉、肥田、山田医師、大塚が外来診療を担当した。

開設当初の 4 月は入院患者数が少なかったが、5 月からは連携医療機関からのご紹介、当科外来や救急外来受診等により増加し、年間延べ 223 名の患者が入院した。病院・クリニックにおける外来受診者は 5,177 名であり、外来受診数も徐々に増加傾向となった。

気管支内視鏡検査や胸腔鏡検査は呼吸器外科医師の協力を得て行った。気管支内視鏡検査は 23 件、胸腔鏡検査は 3 件であった。

第 40 回茨城肺癌研究会において、山田医師が発表を行った。

**2．2016 年度の課題・目標**

本度新設された診療科でマンパワーが十分でないため、特に基礎疾患を有する肺炎や誤嚥性肺炎の患者等については当該診療科で入院診療をご担当頂く場合もあり、各診療科のご協力を得て 1 年間業務を遂行することが可能であった。2016 年度は常勤医師の異動等はあるものの 1 名増員になるため、2015 年度よりも多くの患者を担当できるよう努力したい。また、当院は日本呼吸器学会の認定施設や関連施設に登録されておらず、呼吸器疾患の診療や教育に支障をきたす可能性があるため、要件が整い次第、施設登録の申請を行う予定である。

［文責：大塚盛男］

【人事】

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 大塚　盛男 | 呼吸器センター長 | 常（HP） |
| 折居　美波 | | 常（HP） |
| 肥田　憲人 | | 常（HP） |
| 山田　　豊 | | 常（HP） |
| 松野　洋輔 | | 非（CL） |
| 渡邉　裕子 | | 非（CL） |

【科別 MDC 件数】

| MDC | 症例数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 040080　肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎 | 59 | 16.0 |
| 040040　肺の悪性腫瘍 | 36 | 12.3 |
| 040100　喘息 | 23 | 10.3 |
| 040081　誤嚥性肺炎 | 18 | 21.8 |
| 040110　間質性肺炎 | 16 | 26.3 |

【外来件数】

| 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 373 | 364 | 424 | 438 | 394 | 403 | 461 | 419 | 430 | 480 | 456 | 535 | 5,177 |

# 消　化　器　外　科

**【総括】**

**1．概要**

地域のニーズに幅広く応えるべく、救急を含めた腹部消化器疾患に対する外科手術を担当している。消化管穿孔（胃・十二指腸・小腸・大腸）、急性虫垂炎、絞扼性腸閉塞、ヘルニア嵌頓（鼠径／大腿／閉鎖孔）など、外傷による腹腔内臓器損傷などに対しては緊急手術にて対応し、悪性疾患（胃癌・大腸・肝臓癌・胆道癌）や良性疾患である胆石症、ヘルニアなどに対しては待機的に予定手術にて対応している。

**2．診療方針**

地域から信頼される外科診療の確立を基本方針としており、幸い直接受診される患者さんに加え、近隣の開業医の先生方から多くの紹介を頂いている。

また、院内の消化器内科・放射線科などの各科との密な連携を図り、手術治療のみならず、患者さんの病状に即した幅広い治療の選択を心掛けている。

**3．外来診療**

1年間の延べ外来患者総数は、昨年度に比し減少したが、紹介初診患者数に大きな変化はみられなかった。

**4．手術件数**

近年、早期の胃癌・大腸癌に対する内視鏡的治療が確実に進歩していることから、この領域において手術適応となる件数は減少傾向にある。

一方で、1年間の手術総数は467件であり、昨年度とほぼ変化なく、救急を含めた紹介による手術症例数が確保されている。

**5．学術活動**

2015年度は、学会発表1題に留まった。

**6．次年度に向けて**

標準手術を確実に施行することを継続すると共に、腹腔鏡下手術については、安全性に充分な配慮を置きつつ、可能な範囲で適応を拡大する。

［文責：坂本俊樹］

【人事】

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 齋藤　　節 | 大腸外科センター長 | 常（HP） |
| 坂本　俊樹 | 副院長 | 常（HP） |
| 松井　　聡 | 副医局長・消化器外科部長 | 常（HP） |
| 佐々木量矢 | 消化器外科医長 | 常（HP） |
| 太田　恵介 | | 常（HP） |
| 小田　竜也 | | 非（CL） |

【手術件数】

| 分　　類 | 件　数 |
|---|---|
| 胃切除術（悪性腫瘍手術） | 37 |
| 結腸切除術（悪性腫瘍手術） | 38 |
| 直腸切除（悪性腫瘍手術） | 18 |
| 肝切除（悪性腫瘍手術） | 1 |
| 腹腔鏡下胆嚢摘出 | 52 |
| 胆嚢摘出術 | 48 |
| 虫垂切除術 | 36 |
| ヘルニア手術（鼠径、大腿など） | 105 |
| その他の手術を含めた総数 | 467 |

【科別 MDC 件数】

| MDC | 症　例　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 060020　胃の悪性腫瘍 | 80 | 18.6 |
| 060035　結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍 | 114 | 15.6 |
| 060040　直腸肛門（直腸Ｓ状部から肛門）の悪性腫瘍 | 59 | 16.6 |
| 060050　肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。） | 7 | 14.6 |
| 060060　胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍 | 12 | 16.7 |
| 060330　胆嚢疾患（胆嚢結石など） | 19 | 9.2 |
| 060335　胆嚢水腫、胆嚢炎等 | 61 | 11.7 |
| 060102　穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患 | 25 | 11.8 |
| 060150　虫垂炎 | 46 | 10.6 |
| 060160　鼠径ヘルニア | 80 | 5.7 |
| 060210　ヘルニアの記載のない腸閉塞 | 58 | 22.6 |

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

| 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 970 | 922 | 1,032 | 1,030 | 1,035 | 929 | 1,027 | 889 | 956 | 893 | 892 | 983 | 11,558 |

# 呼　吸　器　外　科

**【総括】**

**1．実績報告**

2015 年度の呼吸器外科の総手術件数は 70 例で、2014 年度の 65 例より増加した。そのうち当科の中心的な診療疾患である肺癌の手術件数は、開胸・胸腔鏡下を合わせて 20 例と前年度より若干減少したものの、過去数年の期間で見るとほぼ同程度であった。

気管支鏡検査件数は呼吸器外科としては 40 例で、前年度の 51 例と比較し減少した。

**2．次年度目標**

2015 年度の当科にとって最も大きな変化は、呼吸器内科の常勤の先生が 3 人着任されたことである。呼吸器内科の先生方とはこの 1 年間､呼吸器グループとして朝夕の回診や気管支鏡検査･診断胸腔鏡なども協力して行ってきたが、診断・治療の迅速化や診療の質の向上・安全管理などの面で有益な点が多かったと考えている。次年度は手術件数の増加にもつながればと期待している。

［文責：木村正樹］

【人事】

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 神山　幸一 | 副院長・医局長・手術室長 | 常（HP） |
| 木村　正樹 | 呼吸器外科部長 | 常（HP） |
| 佐々木啓太 | | 常（HP） |
| 川島　光明 | | 非（HP） |
| 北澤　伸祐 | | 非（CL） |

【手術件数】

| 分　　類 | 件　数 |
|---|---|
| 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 | 13 |
| 肺悪性腫瘍手術 | 7 |
| 胸腔鏡下肺切除術 | 10 |
| 肺切除術（肺葉切除） | 1 |
| 肺切除術（楔状部分切除） | 1 |
| 縦隔悪性腫瘍手術（広汎摘出） | 2 |
| 縦隔腫瘍、胸腺摘出術 | 1 |
| 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術 | 3 |
| 胸腔鏡下試験切除術 | 2 |
| 胸腔鏡下膿胸腔掻爬術 | 2 |
| 胸腔鏡下胸管結紮術（乳糜胸手） | 1 |
| 乳腺悪性腫瘍手術　乳房切除 | 2 |
| 乳腺悪性腫瘍手術　乳房部分 | 1 |
| リンパ節生検 | 10 |
| 抗悪性腫瘍剤動脈内持続注入用植込型カテーテル設置 | 4 |
| 気管切開術 | 3 |
| 頚部食道異物摘出術 | 1 |
| 腋窩リンパ節買郭清術 | 1 |
| 結腸切除術 | 1 |
| Ｓ状結腸ポリープ切除 | 1 |
| 皮膚・皮下腫瘍切除 | 2 |
| 感染哆開創再縫合 | 1 |
| 総手術件数 | 70 |

【科別 MDC 件数】

| MDC | 症　例　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 040040　肺の悪性腫瘍 | 96 | 11.4 |
| 040080　肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎 | 23 | 19.5 |
| 040200　気胸 | 22 | 9.0 |
| 160400　胸郭・横隔膜損傷 | 9 | 10.2 |
| 160450　肺・胸部気管・気管支損傷 | 8 | 14.1 |
| 040150　肺・縦隔の感染、膿瘍形成 | 6 | 32.2 |
| 090010　乳房の悪性腫瘍 | 3 | 7.7 |
| 040010　縦隔悪性腫瘍 | 2 | 12.5 |
| 040020　縦隔の良性腫瘍 | 2 | 9.5 |
| 040030　呼吸器系の良性腫瘍 | 2 | 2.0 |
| 040050　胸壁腫瘍、胸膜腫瘍 | 2 | 23.0 |
| 040140　気道出血 | 1 | 9.0 |
| 040190　胸水、胸膜の疾患 | 1 | 27.0 |
| 060035　結腸の悪性腫瘍 | 1 | 21.0 |

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

| 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 407 | 433 | 461 | 485 | 413 | 433 | 472 | 380 | 418 | 425 | 369 | 418 | 5,114 |

# 心　臓　血　管　外　科

**【総括】**

当院心臓血管外科は2008年1月より診療を開始し、心臓血管外科基幹病院として年々症例数は増加傾向にある。特に本年は、手術総数は更に増加し茨城県トップクラスとなった。①無駄のない正確かつスピーディーな低侵襲手術および最先端の心筋保護法導入、②INVOS、術中リアルタイム三次元経食道エコーの導入、③ファーストトラックに向けた麻酔戦略、④心臓血管外科コーディネーターの導入、⑤心臓リハビリテーションの積極介入など様々な新しい取り組みを行っている。また不整脈に対する新しい治療も2014年より開始した。今後も24時間365日緊急手術に迅速に対応する体制をとり、循環器内科とともに北関東の心臓血管治療の拠点として地域の患者様に貢献していけるように診療を継続していく。

［文責：末松義弘］



**【人事】**

| 氏　名 | 役　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 末松　義弘 | 統括診療部長・心臓血管外科部長 | 常（HP） |
| 森住　誠 | 心臓血管外科科長・集中治療部科長 | 常（HP） |
| 藤﨑　正之 | | 常（HP） |
| 吉本　明浩 | | 常（HP） |
| 井上　堯文 | | 常（HP） |
| 吉竹　修一 | | 非（HP） |
| 有馬　大輔 | | 非（HP） |
| 岡村　賢一 | | 非（HP） |
| 寺川　勝也 | | 非（HP） |

**【手術件数】**

| 分　類 | 件　数 |
|---|---|
| 下肢静脈瘤手術（抜去切除術） | 130 |
| 大動脈瘤切除 | 32 |
| 弁置換・形成術 | 30 |
| ステントグラフト内挿術 | 25 |
| 心房内血栓除去術 | 20 |
| 冠動脈、大動脈バイパス移植 | 17 |
| 総手術件数 | 341 |

**【科別MDC件数】**

| MDC | 症　例　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 050180　静脈・リンパ管疾患 | 119 | 3.0 |
| 050070　頻脈性不整脈 | 51 | 6.5 |
| 050163　非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 | 45 | 12.5 |
| 050080　弁膜症（連合弁膜症を含む。） | 43 | 17.0 |
| 050161　解離性大動脈瘤 | 23 | 20.4 |

**【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】**

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 278 | 286 | 286 | 344 | 261 | 324 | 376 | 341 | 341 | 381 | 383 | 466 | 4,067 |

# 脳　神　経　外　科

**【総括】**

4月から渡部と中村が着任し、新しい体制で始まった。まずは渡部が8月の脳神経外科学会専門医試験に合格し、通常業務が可能となった。クリニックの外来と、常時80名程度の入院患者と手術を3人体制で診療している。マンパワーが絶対的に不足しているが、初期対応をしてくれる先生方のご協力もあり、順調に症例を増やしてきた。コンサルトしやすい体制と受け入れ体制を整備し、リハビリテーションやソーシャルワーカー、看護師等の協力もあり、急性期からリハビリテーション、療養から入所までと自己完結型の医療が行えている。回復期病棟に余裕のある時は、自宅退院のできそうな症例に限り、他院からの回復期リハビリテーション目的の転院も受け入れている。

救急外来と血管造影室、手術室の協力をいただいて、血管内治療、特に急性期血栓回収療法が施行可能となった。本年度は、18件の脳血管内治療と8件の急性期血栓回収療法を行った。2月には中村が脳神経血管内治療学会専門医試験に合格し、脳血管内治療症例数も増加しつつある。

手術は、血管障害の手術を中心に、脳腫瘍や外傷、脊椎、微小血管減圧術まで、専門性の高い悪性脳腫瘍と脳下垂体、小児脳神経以外のほぼ全種類の手術を行っている。特に、脳動脈瘤に対するクリッピング術や頚動脈内膜剥離術（CEA）、血管吻合（バイパス）術の質と件数は、かなり高いレベルにあると自負している。総手術件数も141件（昨年度63件）で、1月以降も増加傾向にあり、現在の診療レベルを維持すれば手術件数も徐々に増加し、派遣される人員も増えていくと考えている。

［文責：中村和弘］

**【人事】**

| 氏　名 | 役　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 小林　栄喜 | 筑波総合クリニック名誉院長 | 常（CL） |
| 谷中　清之 | 脳卒中センター長 | 常（HP） |
| 中村　和弘 | 脳神経外科部長 | 常（HP） |
| 渡部　大輔 | | 常（HP） |
| 三原　忠紘 | | 非（CL） |
| 鯨岡　裕司 | | 非（HP） |
| 佐藤　博明 | | 非（CL） |
| 滝川　知司 | | 非（CL） |

**【手術件数】**

| 分　類 | 件　数 |
|---|---|
| 脳腫瘍摘出術 | 9 |
| 脳動脈瘤クリッピング術 | 35 |
| 頚動脈内膜剥離術（CEA） | 9 |
| 血管吻合（バイパス）術 | 4 |
| 穿頭血腫ドレナージ術（CSDH） | 33 |
| 水頭症手術（VPシャント） | 13 |
| 脊髄・脊椎手術 | 6 |
| 微小血管減圧術（MVD） | 3 |
| 脳動脈瘤コイル塞栓術 | 5 |
| 頚動脈ステント術（CAS） | 3 |
| 急性期血栓回収療法 | 8 |
| 総手術件数 | 141 |

**【科別MDC件数】**

| MDC | 症　例　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 010060　脳梗塞 | 130 | 22.5 |
| 010030　未破裂脳動脈瘤 | 39 | 10.8 |
| 010040　非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外） | 36 | 16.4 |
| 160100　頭蓋・頭蓋内損傷 | 31 | 14.9 |
| 010050　非外傷性硬膜下血腫 | 29 | 12.8 |

**【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】**

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1,756 | 1,531 | 1,764 | 1,748 | 1,592 | 1,626 | 1,627 | 1,549 | 1,722 | 1,592 | 1,583 | 1,856 | 19,946 |

# 整　形　外　科

**【総括】**

今年度は、病棟の引越しにより入院患者数は一時的に減少したが、最終的には昨年度と同水準で推移した。筑波総合クリニックからの待機手術の患者数は増加したが、外傷による緊急手術の患者数は軽度減少した。高齢者の脊椎椎体骨折・化膿性脊椎炎の患者数は相変わらず多く、平均在院日数を減少させるのに苦労している。

待機手術を毎月安定して行えているため、年末年始を除いて病棟利用率は90％前後で推移したが、手術件数の増加に伴い医師及び看護師の疲労が嵩み、病棟の雰囲気が悪くなる時期もあった。このような状況では入院患者への対応が悪化し、ミスが増えることが予想されるため、このような状況に陥らないようスタッフの状態を考慮した病棟運営を心掛けたいと思う。

外来は、予約制にしたことで患者数が軽度減少したが、以前に比べて１人１人の患者さんに満足いただけるような診療ができるようになった印象がある。しかし、日によっては医師１人あたりの外来予約が60人を超えることもあり、朝から夕方までかかることに変わりはない。

手術に関しては、昨年度同様に筑波大学整形外科の三島講師（股関節）・金森講師（膝関節）が週２・３日非常勤講師として外来及び手術に来て下さったため、今年度は人工股関節全置換術（人工骨頭置換術を含む）が147件／年（昨年度125件）、人工膝関節全置換術が71件／年（昨年度70件）、膝関節鏡視下手術が79件／年（昨年度97件）と引き続き県内トップレベルの件数を達成した。

脊椎手術も、今年度は145件／年（昨年度140件）と微増し、県内の他施設では行われていない多椎間の脊椎矯正固定術等の長時間の手術が増加した。病院の評判や口コミにより、このような手術を希望する遠方からの患者さんが増えたことはありがたいが、脊椎の手術をしている相野谷･箱岩医師の手が空かず、外傷等の緊急手術が夜中になったり、外傷の紹介をお断りすることもあるのが現状である。このような状況でも、かかりつけ患者さんの受け入れは断らないよう、皆で協力してがんばっていきたいと考える。

［文責：相野谷武士］

【人事】

| 氏　名 | 役　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 生芝　幸夫 | 整形外科部長（～ 2015/4/30） | 常（HP） |
| 相野谷武士 | 整形外科部長（2015/8/1 ～） | 常（HP） |
| 箱岩　篤生 | 整形外科科長 | 常（HP） |
| 吉沢　知宏 | | 常（HP） |
| 兵頭康次郎 | | 常（HP） |
| 竹橋　広倫 | | 常（HP） |
| 大山　和生 | | 常（HP） |
| 大西　美緒 | | 常（HP） |
| 向井　直樹 | | 非（CL） |
| 三島　初 | | 非（CL） |
| 金森　章浩 | | 非（CL） |
| 和田　大志 | | 非（CL） |
| 谷口　悠 | | 非（CL） |

【手術件数】

| 分　類 | 件　数 |
|---|---|
| 人工股関節置換術（人工骨頭も含む） | 147 |
| 脊椎（頸椎、胸椎、腰椎）手術 | 145 |
| 四肢骨折接合術 | 90 |
| 膝関節鏡視下手術 | 79 |
| 人工膝関節置換術 | 71 |
| 総手術件数 | 791 |

【科別 MDC 件数】

| MDC | 入院件数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 07040x　股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。） | 124 | 24.39516129 |
| 160620　肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む。） | 95 | 9.484210526 |
| 070230　膝関節症（変形性を含む。） | 76 | 22.47368421 |
| 160800　股関節大腿近位骨折 | 73 | 29.34246575 |
| 160690　胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。） | 61 | 23.27868852 |
| 070343　脊柱管狭窄（脊椎症を含む。）　腰部骨盤、不安定椎 | 46 | 29.2826087 |
| 070341　脊柱管狭窄（脊椎症を含む。）　頸部 | 31 | 21.16129032 |
| 070350　椎間板変性、ヘルニア | 21 | 21.04761905 |

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

| 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2,510 | 2,256 | 2,631 | 2,585 | 2,485 | 2,281 | 2,372 | 2,246 | 2,261 | 2,244 | 2,282 | 2,576 | 28,729 |

# 婦　人　科

**【総括】**

今年度はクリニック外来が微増、手術件数が減少となった。外来については医師１名の増員に伴って診療枠が増えたが、患者数としては前年比 6.5% 増にとどまった。診療枠が定着するのに一定時間を要するということと思うが、今年に入って再びほぼ増員前と同程度の診療枠数に戻っているため、やはり現行程度の患者数がいろいろな意味で max ということになるかもしれない。

手術数減については原因ははっきりしないが、ここ数年の 60 ～ 80 件／年というペースとほぼ同程度であることを考えると、前年度の件数が突出していたということかもしれない。

次年度も勤務体制に大きな変化があるわけではないため、消極的な意味合いでない現状維持をめざしたいと考えている。

［文責：佐藤有希］

【人事】

| 氏　名 | 役　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 小松あかね | 婦人科科長 | 常（HP） |
| 佐藤　有希 | 婦人科部長 | 常（HP） |
| 小關　剛 | 副院長 | 常（HP） |
| 小貫麻美子 | | 非（HP） |
| 中村　優子 | | 非（HP） |
| 志鎌あゆみ | | 非（HP） |

【手術件数】

| 分　類 | 件　数 |
|---|---|
| 子宮全摘術 | 35 |
| 子宮附属器腫瘍摘出術（両側） | 13 |
| 子宮頸部（腟部）切除術 | 17 |
| 子宮筋腫核出術　腹式 | 2 |
| 子宮脱手術　膣壁形成手術及び子宮全摘術（膣式） | 2 |
| 流産手術 | 1 |
| 膣閉鎖術 | 1 |
| バルトリン腺嚢胞腫瘍摘出術 | 1 |
| 子宮内膜掻爬術 | 4 |
| 総手術件数 | 76 |

【科別 MDC 件数】

| MDC | 症　例　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 120060　子宮の良性腫瘍 | 31 | 9 |
| 12002x　子宮頸・体部の悪性腫瘍 | 16 | 2 |
| 120070　卵巣の良性腫瘍 | 16 | 8 |
| 120250　生殖・月経周期に関連する病態 | 6 | 5 |
| 120110　子宮・子宮附属器の炎症性疾患 | 4 | 5 |

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

| 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 816 | 773 | 929 | 843 | 749 | 886 | 993 | 794 | 907 | 754 | 846 | 861 | 10,151 |

# 眼　　科

**【総括】**

**① 2015 年度の実績報告**

**1．クリニック外来に関して**

昨年度は非常勤医師が１名数か月間休診となり外来患者総数は昨年度よりわずかに低めの水準となった。休診中は筑波大学から代診医師を派遣していただいた。

また、昨年より小児眼科・斜視専門外来を設立した。週に 4-7 名の紹介患者に対応できるようにしたことで、予約外来の患者様の待ち時間を減らすことができるようになった。視能訓練士が１名非常勤勤務で増員となり、検査待時間の短縮となった。

**2．手術に関して**

総手術件数は斜視手術件数が増加したため、昨年より大幅に増加した※。斜視手術については麻酔科および病棟との連携で週に 4-5 名の眼科全身麻酔の手術もスムーズに施行できている。

新病棟が手術室から近くなったことで、術後早い時点で患者の診察が可能となり、特に小児患者の術後から退院できるまでの時間が相当短縮できている。

※）昨年の年報と統計方法が異なる

**② 2016 年度の課題・目標**

臨床では、中長期計画に掲げている、白内障手術の多焦点眼内レンズの導入に向けて準備を行う。具体的には光学式眼軸帳測定器の機種を決定する。

研究では、放射線科との連携をもとに３DMRI での強度近視に伴う斜視患者の外眼筋の評価を引き続き行っていく予定で、６月に開催される斜視・弱視学会で第一弾を報告する予定である。

［文責：長井恭子］

## 【人事】

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 森田（佐藤）由香 | | 常（HP） |
| 長井　恭子 | 眼科科長 | 常（CL） |
| 本村　幸子 | | 非（CL） |
| 品川　樹美 | | 非（CL） |
| 坂田　千穂 | | 非（HP） |
| 長谷川優実 | | |
| 星　　崇仁 | | |
| 木住野源一郎 | | |
| 井上　友輔 | | |
| 萩原　希望 | | |
| 森　　悠大 | | 非（CL） |
| 湯川　知恵 | | 非（CL） |
| 坂田　典繁 | | 非（HP） |

## 【手術件数】

| 分　　類 | 件　数 |
|---|---|
| 水晶体再建術 | 239 |
| 斜視手術 | 142 |
| 眼瞼内反症手術 | 30 |
| 眼瞼下垂症手術 | 10 |
| 翼状片手術 | 7 |
| 霰粒腫摘出術 | 3 |
| 先天性鼻涙管閉塞開放術 | 1 |
| 結膜縫合術 | 1 |
| 結膜下異物除去術 | 1 |
| 結膜嚢形成手術 | 1 |
| 角膜・強膜縫合術 | 1 |
| 総手術件数 | 436 |

## 【科別 MDC 件数】

| MDC | 症　例　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 020150　斜視（外傷性・癒着性を除く。） | 137 | 2.0 |
| 020110　白内障、水晶体の疾患 | 107 | 3.9 |
| 020320　眼瞼、涙器、眼窩の疾患 | 13 | 2.1 |
| 140100　眼の先天異常 | 3 | 2.0 |
| 020230　眼瞼下垂 | 2 | 2.5 |
| 020250　結膜の障害 | 2 | 3.0 |
| 020220　緑内障 | 1 | 2.0 |
| 020340　虹彩毛様体炎、虹彩・毛様体の障害 | 1 | 3.0 |
| 140090　先天性鼻涙管閉塞 | 1 | 2.0 |

## 【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

| 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1,179 | 1,065 | 1,349 | 1,292 | 935 | 1,185 | 1,292 | 1,070 | 1,146 | 1,189 | 1,173 | 1,370 | 14,245 |

# 耳　鼻　咽　喉　科

**【総括】**

**1．病棟診療**

2015 年度の入院患者数（転科加療を含む）は 191 例、入院手術症例は 115 例であった。2014 年度はそれぞれ 117 例、66 例であったのでそれぞれ 63.2%、74.2%増加である。2013 年度は各々 95 例 55 例であったことから考えると入院症例数・手術症例数ともにこの 2 年で約 2 倍に増えたこととなる。これらの平均在院日数は 6.2 日であり、前年度の 5.9 日と比して増加を認めた。これは入院症例数の増加に伴い口蓋扁桃摘出術 9 日間や鼻・副鼻腔手術 6 日間などとクリニカルパス上の入院日数が多い症例数が増えたことと、高齢者の入院者数が増え退院調整などに時間がかかるケースがあったためと考えられる。

**2．外来診療**

つくば総合クリニック・筑波記念病院合わせての外来患者数は 11,863 例と前年度の 12,904 例と比して 8%の減少であった。一昨年頃から近隣にて相次いで耳鼻咽喉科クリニック開業がありその影響と考えられるが、紹介入院数などは増えており、総合病院と開業医との役割分担が明確になってきていると推察する。

外来手術症例数は 106 例（前年度 193 例）であった。入院手術症例数の増加と比して、かなりの減少を認めており、これは次年度の課題としたい。

**3．2016 年度に向けて**

2015 年度は入院患者数・手術症例数を増やすことが出来た。2016 年度も引き続き積極的に入院症例・手術症例に対応していきたい。

外来診療では常勤医 2 名で対応できる症例数に限りがあるため、今後は地域支援病院としての役割もふまえて当科で精査加療を行った後に経過が落ち着いた症例については積極的に逆紹介を行い、近隣かかりつけ医と連携をとって対応していきたい。

［文責：及川慶子］

【人事】

| 氏　名 | 役　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 中森　暁子 | | 常（HP） |
| 及川　慶子 | 耳鼻咽喉科科長 | 常（HP） |

【手術件数】

| 分　類 | 件　数 |
|---|---|
| 口蓋扁桃手術 | 42 |
| 鼻・副鼻腔手術 | 27 |
| 扁桃周囲膿瘍切開術 | 5 |
| 声帯ポリープ切除術 | 5 |
| 喉頭腫瘍摘出術 | 5 |
| 総手術件数 | 115 |

【科別 MDC 件数】

| MDC | 症例数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 030240　扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎 | 41 | 7.4 |
| 030400　前庭機能障害 | 38 | 4.6 |
| 030428　突発性難聴 | 11 | 6.7 |
| 030350　慢性副鼻腔炎 | 8 | 9.1 |
| 030390　顔面神経障害 | 8 | 7.8 |

【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】

| 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1,017 | 945 | 1,098 | 1,153 | 864 | 941 | 1,023 | 1,000 | 936 | 809 | 999 | 1,078 | 11,863 |

# 皮　膚　科

**【総括】**

**1．診療内容**

月曜日から金曜日まではクリニック外来にて一般皮膚科診療をおこなうとともに、病院における入院患者の皮膚病変に関するコンサルテーションを診療各科から受けている。火曜日午後には病院手術室にて手術をおこなっている。また、水曜日を除く月曜日から金曜日の午後には病院外来にて美容皮膚科診療をおこなっている。さらに、病院内に設置された褥瘡委員会の活動を通して病院入院患者の褥瘡リスク評価、予防および治療に携わっている。

**2．診療実績**

年間のべ 6,393 人の一般皮膚科外来患者を診察し、29 件の手術を施行した。

**3．診療科の特色**

今日の長寿社会においては、皮膚癌の予防と早期の発見・治療の必要性が増している。そこで、当科の一般皮膚科外来では患者本人や家族が気にしている「ほくろ」や「できもの」の診断と治療に、また、美容皮膚科外来では肌の美容上の相談を通して皮膚の老化や癌化の予防のお手伝いに力を入れている。後者の一環として、2014 年度から 2015 年度にかけて試験的におこなった顔のシミに対する美容診療が好評であったため、2015 年 12 月には自由診療の美容皮膚科外来として病院 S 棟での診療を開始した。2016 年度には肌の健康と若返りのための治療メニューを拡充して、美と健康に高い関心を持つ方々に提供していきたい。

［文責：照沼　篤］

**【人事】**

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 照沼　　篤 | 皮膚科部長 | 常（HP） |
| 住大　京香 | | 非（CL） |
| 石井亜希子 | | 非（CL） |

**【手術件数】**

| 分　　類 | 件　数 |
|---|---|
| 皮膚、皮下腫瘍摘出術 | 29 |

**【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】**

| 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 496 | 540 | 633 | 599 | 555 | 537 | 578 | 474 | 505 | 477 | 476 | 526 | 6,396 |

# 小　児　科

**【総括】**

一般小児科外来を筑波総合クリニックで、行っている。主要な領域として、小児感染症、アレルギー疾患、小児神経疾患、発達障害などについての受診件数が多い。さらに、クリニックでは、専門外来として、小児神経疾患および予防接種の外来を予約制で行っている。

病院のリハビリテーション部では、小児外来リハビリテーションを行っている。2015 年度の実績は、延べ実施回数は 5,656 回、実施対象者数は 432 名であった。ことに、発達障害のある子どもや言語発達遅滞の子どもたちに対するリハビリテーションは、専門スタッフ不足のため、近隣医療施設では実施できないことが多く、当院へのリハビリテーション依頼がたいへん多い。

リハビリテーション活動の一環として、医療、教育、福祉行政の代表が会する「茨城における小児の発達を支える地域リハビリテーションを考える会」の事務局が当院リハビリテーション部におかれている。小児科の右田がこの会の世話人代表を務めている。

対外業務として、右田は、茨城小児科学会理事、茨城県小児科医会理事、茨城県医師会乳幼児保健委員会副委員長などを務めている。

2014 年 10 月より、岩松雅子医師が着任し、一般小児科外来の診療とともに、小児外来リハビリテーション分野を担当している。

今後も、少子高齢化という時代背景のなかで、どのように小児医療を充実させ、発展させていくかを課題に、積極的な取り組みを継続的に行っていく。

［文責：右田琢生］

**【人事】**

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 右田　琢生 | 副院長・小児科部長・地域医療連携部部長 | 常（HP） |
| 岩松　雅子 | | 常（HP） |
| 堀米　ゆみ | | 非（CL） |
| 野中美喜子 | | 非（HP） |
| 竹田　一則 | | 非（CL） |
| 宮川恵美子 | | 非（CL） |

**【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】**

| 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 668 | 660 | 710 | 703 | 722 | 695 | 751 | 739 | 790 | 739 | 774 | 777 | 8,728 |

# 精　神　科

**【総括】**

2014年4月より精神科リハビリテーション部門は廃止となり、常勤医師2名と非常勤医師1名（月1～2回、土曜日半日、再診のみの診療）の診療部門のみの体制で、病院では再診患者は週6日、他院からの紹介状持参の初診患者は毎週月曜日午後に診療を行い、筑波総合クリニックでは紹介状のない初診患者を週2～3日沼倉医師が担当している。他に病院では専門外来として山里医師が高次脳機能外来を週1日担当している。

業務実績としては、病院の外来患者数（初診・紹介患者）が前年度に比べ2割の増加、再診は3%減の若干の減少、筑波総合クリニックの初診患者は前年度に比べ1割強の増加、高次脳機能外来の患者数は1割の減少、他科から依頼の精神科コンサルタントの件数は前年度に比べ1割の増加であった。他の部門の併任として、沼倉医師が月1～2回つくばケアセンターで利用者の精神科コンサルタントを行っており、山里医師は筑波総合クリニックで週1回もの忘れ外来の診療を担当している。教育・研究では、2015年8月に2年目の臨床研修医1名の精神科研修を沼倉医師が1ヶ月間指導した。また沼倉医師が中心となり他科の医師2名と臨床心理士1名とでDSM-5（原本）の抄読会を毎週1～2回行っておりその中で事例の検討も行っている。

2015年度の目標として、精神科チーム医療の構築を掲げたが、年度途中からのベテラン臨床心理士1名の産休と入職間もない臨床心理士1名の長期病休により心理部門の弱体化で心理検査の実施が困難となり臨床場面での事例検討も行えず、精神保健福祉士の協力もほとんど得られず外来看護師も不在のため目標達成は不可能であった。次年度の目標としては、幸いにも初診・紹介の患者数が増加傾向にあるので、一例一例に丁寧に向き合い当科への地域からの信頼をより高める事とする。

［文責：沼倉泰二］

【人事】

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 沼倉　泰二 | | 常（HP） |
| 山里　道彦 | 精神科科長 | 常（HP） |
| 佐藤　晋爾 | | 非（HP） |

【外来患者数（筑波記念病院）】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 初診 | 13 | 5 | 14 | 7 | 7 | 4 | 7 | 6 | 5 | 9 | 11 | 10 | 98 |
| 紹介 | 16 | 6 | 15 | 10 | 8 | 6 | 12 | 9 | 12 | 13 | 17 | 18 | 142 |
| 再診 | 550 | 505 | 572 | 551 | 586 | 568 | 579 | 516 | 590 | 516 | 501 | 590 | 6624 |

【外来患者数（高次脳機能外来：山里医師担当）】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 初診 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 16 |
| 再診 | 1 | 2 | 4 | 5 | 4 | 4 | 5 | 4 | 3 | 3 | 5 | 4 | 44 |

【外来患者数（筑波総合クリニック：沼倉医師担当 紹介状不要）】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 新患 | 10 | 19 | 17 | 16 | 17 | 14 | 20 | 14 | 17 | 16 | 14 | 17 | 191 |

【精神科コンサルテーション（他科依頼）】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 精神科コンサルト | 5 | 4 | 13 | 7 | 3 | 6 | 6 | 4 | 4 | 15 | 7 | 10 | 84 |

# 麻　酔　科

**【総括】**

常勤医３名と、非常勤医２名、筑波大学からの非常勤で手術麻酔を行っている。24 時間、緊急手術に対応できるよう毎日オンコール体制をとっている。

**2015 年度**

**１．入院診療**

麻酔管理実績：心臓外科手術をはじめとしたすべての全身麻酔管理と、一部の局所麻酔管理を行っている。前年度より全手術件数で 49 件、全身麻酔件数で 120 件増加した（詳細は別項参照）。

集中治療管理：集中治療室の管理運営に関与している。

**２．外来診療**

麻酔科術前外来：手術安全の向上を目的に、予定手術患者を対象に行っており、全身麻酔症例の 26.7 % であった（症例数は別項参照）。また高リスク患者のコンサルトも兼ねている。

ペインクリニック外来：入院中の患者と退院後の患者に限り、診察やブロック注射を行っている。

**３．術後鎮痛**

硬膜外麻酔、末梢神経ブロック、自己調節鎮痛法などを用い、積極的に術後鎮痛を行っている。全身麻酔の危険性が高い患者では、末梢神経ブロックのみによる麻酔管理を行うこともある。

**４．自己評価**

全ての麻酔科管理を安全に実施できた。麻酔科術前外来により術前管理を向上させ、手術室での安全で質の高い麻酔を提供することに貢献した。集中治療室の管理運営に貢献した。

**５．2016 度の課題と目標**

周術期の安全性を再確認し､確実な麻酔管理を行う。よりよい術後鎮痛を提供できるよう様々な方法を追求する。麻酔科術前外来の利用率の向上を図るとともに、各科の協力を得ながら効率の良い手術室運営を目指す。重症患者に対して、先進的な医療も行う。

全身麻酔症例や重症症例が増加しており、長期的な麻酔科医の増員を目指す。

定期的なペインクリニック外来の開設を目指す。

［文責：田島啓一］

【人事】

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 田島　啓一 | 副院長・麻酔科部長 | 常（HP） |
| 髙瀬　　肇 | 麻酔科科長 | 常（HP） |
| 富田　絵美 | 麻酔科医長 | 常（HP） |
| 高橋　　宏 | | 非（HP） |
| 石丸美都彦 | | 非（HP） |

【麻酔科外来件数】

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 25 | 25 | 33 | 36 | 27 | 32 | 28 | 32 | 31 | 37 | 32 | 51 | 389 |

【麻酔管理料件数】

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 84 | 65 | 88 | 94 | 94 | 75 | 85 | 84 | 92 | 94 | 94 | 107 | 1,056 |

【麻酔手技内訳（ＯＲ分）】

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全身麻酔 | 2014年度 | 106 | 95 | 111 | 119 | 115 | 108 | 124 | 105 | 128 | 115 | 105 | 106 | 1,337 |
| | 2015年度 | 116 | 94 | 128 | 130 | 128 | 105 | 111 | 121 | 131 | 129 | 130 | 134 | 1,457 |
| 腰椎麻酔 | 2014年度 | 5 | 13 | 2 | 3 | 6 | 4 | 9 | 6 | 3 | 4 | 2 | 1 | 58 |
| | 2015年度 | 5 | 11 | 6 | 4 | 5 | 3 | 3 | 6 | 5 | 2 | 2 | 5 | 57 |
| その他 | 2014年度 | 34 | 42 | 35 | 36 | 22 | 35 | 41 | 35 | 28 | 24 | 24 | 49 | 405 |
| | 2015年度 | 27 | 24 | 27 | 22 | 14 | 21 | 32 | 27 | 32 | 33 | 29 | 47 | 335 |
| 総手術件数 | 2014年度 | 145 | 150 | 148 | 158 | 143 | 147 | 174 | 146 | 159 | 143 | 131 | 156 | 1,800 |
| | 2015年度 | 148 | 129 | 161 | 156 | 147 | 129 | 146 | 154 | 168 | 164 | 161 | 186 | 1,849 |

# 放　射　線　科

**【総括】**

**1．2015 年度の実績報告**

2015 年度は常勤の放射線診断専門医 3 名、非常勤診断専門医 1 名の体制で CT、MR、核医学、単純写真の読影診断業務と超音波および IVR（画像下治療）を行った。CT、MRI および核医学検査の専門医による年間の読影率は 98.7% と昨年度と同様の読影率、また翌日までの読影レポート完成率は 97% でありいずれも目標としていた 90% を保つことができた。地域連携関連病院・医院の先生方からのご依頼による CT、MRI、超音波、核医学の検査数は、2014 年度 336 件今年度は 367 件と 1 か月あたり 2 例ほど増加した。

初期研修医 3 名がそれぞれ 2-3 か月間の研修を行った。画像診断の基本である単純写真の読影、救急診療で頻度の高い疾患の CT、MRI の読影を中心に、各研修医の進路の希望に基づいて、超音波検査や造影検査の研修などを加えたプログラムで行った。

4 月から脳外科医師、放射線科医師、診療放射線科技師、週 1 回リハビリのセラピストが参加し、脳外科入院症例の画像カンファレンス（毎朝）が行われている。情報の共有が次の検査に活かされ、有用な画像の提供が可能になってきている。

9 月には地域医療支援病院公開講座で、筑波大学臨床医学系神経内科学教授　玉岡　晃先生をお招きしてレビー小体認知症：診断と治療の最前線に関してご講演をいただいた。その後地域連携病院の先生方に、当院で行われる、核医学検査、MRI 検査を用いた認知症の画像診断についてお話した。

**2．2016 年度の課題・目標**

翌日までの読影レポート完成率を保てるようにする。地域連携病院の先生方には、各画像診断モダリティ別のトピックスを定期的にお話できる機会を設ける。

部署内での技師の教育（マンモグラフィ認定技師、超音波検査士の育成等）を引き続き行う。

［文責：鯨岡結賀］

【人事】

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 鯨岡　結賀 | 副院長・放射線科部長 | 常（HP） |
| 髙橋　信幸 | 放射線科科長 | 常（HP） |
| 岩田　　賢 | 放射線科医長 | 常（HP） |
| 小竹　文雄 | | 非（HP） |
| 楊川　哲代 | | 非（HP） |
| 髙橋　宏彰 | | 非（HP） |

【読影数】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| CT | 781 | 751 | 867 | 896 | 804 | 818 | 899 | 832 | 859 | 878 | 951 | 948 | 10284 |
| MRI | 232 | 304 | 309 | 321 | 290 | 307 | 364 | 359 | 357 | 336 | 355 | 397 | 3931 |
| RI | 22 | 18 | 28 | 28 | 21 | 16 | 21 | 19 | 23 | 25 | 24 | 24 | 269 |
| 合計 | 1035 | 1073 | 1204 | 1245 | 1115 | 1141 | 1284 | 1210 | 1239 | 1239 | 1330 | 1369 | 14484 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 専門医による読影率 | 98.3% | 98.3% | 98.1% | 99.2% | 98.8% | 98.8% | 99.3% | 98.6% | 98.4% | 98.4% | 98.8% | 98.8% |
| 翌日までのレポート完成率 | 95.8% | 95.3% | 94.5% | 98.2% | 97.8% | 97.3% | 96.2% | 97.5% | 97.6% | 97.7% | 97.4% | 95.8% |

【紹介検査数】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2014年度 | 38 | 27 | 37 | 41 | 29 | 18 | 29 | 31 | 17 | 17 | 21 | 31 | 336 |
| 2015年度 | 23 | 18 | 24 | 21 | 37 | 34 | 39 | 31 | 36 | 31 | 37 | 36 | 367 |

# 病　理　診　断　科

**【総括】**

2015 年度は、筑波記念病院・筑波総合クリニックを合わせて病理組織診 3,442 件、細胞診 10,713 件、術中迅速組織診 27 件、病理解剖 3 件があり、CPC では前年度までのものを含め、以下の 2 例について症例検討を行った。

①全身性アミロイドーシスに急性胆嚢炎、不整脈を併発した症例（77 歳男性）
②腹部大動脈瘤術後経過観察中に強い腹満を発症した症例（76 歳男性）

症例①では全身性アミロイドーシスにより各臓器に AL アミロイドの沈着が高度にみられ、胆嚢では胆嚢壁内の血管周囲性のアミロイド沈着により、血流障害から急性慢性胆嚢炎を来したものと考えられた。心では心拡大・心肥大に加え、心筋の割面は肉眼的にもべったりとして硬く、血管周囲性のアミロイド沈着とそれによる虚血からの領域性を伴った線維化が不整脈および心機能低下の原因と考えられた。生前の検査からは形質細胞腫が疑われたが、全身状態の悪化により化学療法は開始後間もなく中断しているにも関わらず、骨髄に腫瘍成分が認められなかったことから、アミロイドーシスは形質細胞腫に伴うものではなく、原発性であったことが剖検によって判明した。症例②は腹部下行大動瘤 Y-graft 置換術後、冠動脈回旋枝金属製ステント留置後であり、激しい腹痛を主訴に来院し、急速な転帰をとったが、小腸から横行結腸にかけての広範な腸管壊死が認められ、上腸間膜動脈血栓症と考えらえた。腹部大動脈瘤術後、狭心症 PCI 治療後に加え、胸部下行大動脈瘤、左右内腸骨動脈瘤、さらに糖尿病性腎症（びまん性病変）がみられ、高血圧、脂質異常症などを合併した独居高齢者であったことなど、生前の十分な検査・診断が困難な状態ではあったが、血栓性微小血管障害症の像がみられなかったことなど、予防や早期診断が可能であれば、救命の可能性もあった症例として参加者から活発な意見交換がなされた。

［文責：臺　勇一］

【人事】

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 臺　　勇一 | 病理科部長 | 常（HP） |

【筑波記念病院】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 月平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 病理 | 227 | 192 | 234 | 252 | 247 | 227 | 306 | 248 | 309 | 273 | 280 | 294 | 3089 | 257 |
| 迅速病理 | 2 | 1 | 1 | 2 | 4 | 1 | 3 | 3 | 0 | 2 | 4 | 4 | 27 | 2 |
| 剖検 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | 0.3 |
| 細胞診 | 241 | 381 | 513 | 586 | 509 | 602 | 598 | 566 | 494 | 568 | 588 | 582 | 6228 | 519 |

【筑波総合クリニック】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 月平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 病理 | 28 | 25 | 25 | 33 | 33 | 31 | 35 | 28 | 25 | 25 | 34 | 31 | 353 | 29 |
| 細胞診 | 345 | 316 | 389 | 349 | 310 | 372 | 450 | 366 | 400 | 342 | 413 | 433 | 4485 | 374 |

【筑波記念病院・筑波総合クリニック】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 月平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 病理 | 255 | 217 | 259 | 285 | 280 | 258 | 341 | 276 | 334 | 298 | 314 | 325 | 3442 | 287 |
| 迅速病理 | 2 | 1 | 1 | 2 | 4 | 1 | 3 | 3 | 0 | 2 | 4 | 4 | 27 | 2 |
| 剖検 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | 0.3 |
| 細胞診 | 586 | 697 | 902 | 935 | 819 | 974 | 1048 | 932 | 894 | 910 | 1001 | 9698 | 10713 | 893 |

## リハビリテーション科

**【人事】**

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 関　　寛之 | | 常（HP） |
| 伊佐地　隆 | | 非（HP） |
| 大黒　春夏 | | 非（HP） |

**【外来患者数（筑波記念病院）】**

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11 | 10 | 6 | 14 | 8 | 8 | 5 | 5 | 7 | 3 | 2 | 4 | 83 |



## リウマチ・アレルギー科

**【人事】**

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 山根　一秀 | つくばトータルヘルスプラザマネージングディレクター | 常（HP） |
| 柏木平八郎 | 筑波記念会顧問 | 非（HP） |
| 近藤　裕也 | | 非（CL） |

**【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】**

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 326 | 318 | 344 | 324 | 357 | 319 | 355 | 314 | 327 | 332 | 299 | 379 | 3,994 |

## 形　成　外　科

**【人事】**

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 内田　彰子 | つくば体力医科学研究所　所長 | 常（HP） |
| 遠藤　隆志 | | 非（CL） |
| 畑　寿太郎 | | 非（CL） |
| 伊藤佐知子 | | 非（HP） |

**【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】**

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 60 | 67 | 67 | 104 | 81 | 66 | 107 | 75 | 89 | 69 | 68 | 63 | 916 |

## 血管専門外来

**【人事】**

| 氏　名 | 役　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 岩井　武尚 | | 非（CL） |

**【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】**

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 26 | 27 | 33 | 27 | 38 | 37 | 31 | 29 | 34 | 30 | 31 | 32 | 375 |

## 腎臓内科

**【人事】**

| 氏　名 | 役　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 戸村　成男 | | 非（CL） |
| 樋渡　　昭 | | 非（CL） |
| 永井　　恵 | | 非（CL） |

**【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】**

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 131 | 138 | 128 | 151 | 133 | 116 | 133 | 105 | 130 | 123 | 113 | 151 | 1,552 |

## 乳腺甲状腺外科

**【人事】**

| 氏　名 | 役　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 相吉　悠治 | | 非（CL） |
| 原　　尚人 | | 非（CL） |
| 岩淵　　裕 | | 非（HP） |
| 市岡恵美香 | | 非（HP） |
| 岡崎　　舞 | | 非（HP） |

**【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】**

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 482 | 354 | 505 | 548 | 451 | 436 | 569 | 532 | 608 | 501 | 507 | 611 | 6,104 |

## 泌　尿　器　科

**【人事】**

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 和久　夏衣 | | 非（CL） |
| 権藤　立男 | | 非（CL） |
| 石塚竜太郎 | | 非（CL） |

**【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】**

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 164 | 139 | 181 | 178 | 175 | 189 | 289 | 313 | 346 | 266 | 288 | 299 | 2,827 |



## もの忘れ診療科

**【人事】**

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 吉井與志彦 | もの忘れ診療センター長 | 常（CL） |

## 緩　和　ケ　ア

**【人事】**

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 長岡　広香 | | 非（HP） |

## 内　　科

**【人事】**

| 氏　　名 | 役　　職 | 勤　務 |
|---|---|---|
| 東田　俊彦 | 顧問 | 非（CL） |
| 立川　法正 | | 非（HP） |

**【外来患者数（筑波記念病院・筑波総合クリニック）】**

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 200 | 279 | 204 | 269 | 237 | 239 | 252 | 157 | 176 | 192 | 233 | 213 | 2,651 |

# 筑波記念病院　研修医

## 初期研修医

| 年次 | 氏　名 | 管理病院 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 沼田るり子 | 筑波記念病院 | | | | | | | 小児 | 心外 | | | | 放射線 |
| 2 | 圓山　晶子 | 筑波記念病院 | | | | | 精神 | 放射線 | | | | | | |
| 2 | 瀧澤竜太郎 | 筑波記念病院 | 放射線 | | | | | 麻酔 | | | 眼 | | | |
| 2 | 堂本　　優 | 筑波大学附属病院 | | | | | | | | 消外 | | 整外 | | 心外 |
| 2 | 池田　麗美 | 筑波大学附属病院 | | | | | | | 整外 | | | | | |
| 2 | 大野　　崇 | 日本医大付属病院 | | | | | | | | | 消外 | | | |
| 2 | 秋元　　耕 | 日本医大付属病院 | | | | | | | 消内 | | | | | |
| 2 | 井関　陽平 | 日本医大付属病院 | | | | 心外 | | | | | | | | |
| 1 | 赤星　　南 | 筑波記念病院 | 循内 | | 血内 | | 消内 | | 消外 | | 救急 | | 麻酔 | |
| | | | | | | | | | | | 脳外 | 脳外 | | |
| 1 | 倉橋　果南 | 筑波記念病院 | 消内 | | 循内 | | 血内 | | 救急 | | 麻酔 | | 消外 | |
| | | | | | | | | | 心外 | 心外 | | | | |
| 1 | 黒坂　徳子 | 筑波記念病院 | 血内 | | 消内 | | 循内 | | 麻酔 | | 消外 | | 救急 | |
| | | | | | | | | | | | | | 整外 | 整外 |
| 1 | 神野　和志 | 筑波記念病院 | 消外 | | 救急 | | 麻酔 | | 循内 | | 血内 | | 消内 | |
| | | | | | 整外 | 整外 | | | | | | | | |
| 1 | 岩元　博史 | 筑波記念病院 | 消外 | | 麻酔 | | 救急 | | 消内 | | 循内 | | 血内 | |
| | | | | | | | 脳外 | 脳外 | | | | | | |
| 1 | 柴田　靖美 | 筑波記念病院 | 麻酔 | | 消外 | | 救急 | | 血内 | | 消内 | | 循内 | |
| | | | | | | | 整外 | 整外 | | | | | | |
| 1 | 馬場　祥伍 | 東京大学附属病院 | 消内 | | 循内 | | 血内 | | 救急 | | | 呼外 | 消外 | |
| | | | | | | | | | 代内 | 脳外 | 心外 | | | |
| 1 | 長島さやか | 筑波大学附属病院 | 血内 | | 消内 | | 循内 | | | | | | | |
| 1 | 内田　直宏 | 筑波大学附属病院 | 循内 | | 血内 | | 消内 | | | | | | | |

## 後期研修医

| 年次 | 氏　名 | 管理病院 | 所　　属 | 期　　間 |
|---|---|---|---|---|
| 6 | 肥田　憲人 | 筑波大学附属病院 | 呼吸器内科 | 2015.4.1 ～ 2015.9.30 |
| 6 | 山田　　豊 | 筑波大学附属病院 | 呼吸器内科 | 2015.10.1 ～ 2016.3.31 |
| 5 | 田島　大樹 | 筑波大学附属病院 | 消化器内科 | 2015.4.1 ～ 2016.3.31 |
| 4 | 大山　和生 | 筑波大学附属病院 | 整形外科 | 2015.4.1 ～ 2016.3.31 |
| 4 | 菅沼　大輔 | 筑波大学附属病院 | 消化器内科 | 2015.10.1 ～ 2016.3.31 |
| 4 | 太田　恵介 | 日本医大付属病院 | 消化器外科 | 2015.4.1 ～ 2016.3.31 |
| 3 | 新里　悠輔 | 筑波大学附属病院 | 消化器内科 | 2015.4.1 ～ 2015.9.30 |
| 3 | 大西　美緒 | 筑波大学附属病院 | 整形外科 | 2015.10.1 ～ 2016.3.31 |
| 3 | 佐々木啓太 | 筑波大学附属病院 | 呼吸器外科、心臓血管外科 | 2015.10.1 ～ 2015.12.1・2016.1.1 ～ 2016.3.31 |

# 業　績　集

## 【書籍・論文等】

### 消化器内科（論文）

| 著　　者 | 論文タイトル | 誌　　名 | 巻(号) | ページ | 発行年月 |
|---|---|---|---|---|---|
| 池澤和人、佐藤巳喜夫、兵頭一之介 | 「若手育成のための地域密着型・小規模内視鏡ライブセミナーの効果」 | 消化器内視鏡 | 27巻6号 | 1053-1055 | 2015.6 |
| Mariko Kobayashi, Shinji Endo, Yukako Hamano, Mamiko Imanishi, Daisuke Akutsu, Akinori Sugaya, Daisuke Ochi, Toshikazu Moriwaki, Ichinosuke Hyodo | Successful treatment with modified FOLFOX6 and panitumumab in a cecal cancer patient undergoing hemodialysis: a case report. | Internal Medicine | 55(2) | 127-130 | 2016.1（Epub） |

### 神経内科（論文）

| 著　　者 | 論文タイトル | 誌　　名 | 巻(号) | ページ | 発行年月 |
|---|---|---|---|---|---|
| 白岩伸子、榎本強志、長澤俊郎 | 細菌性髄膜炎の診療ガイドラインに基づいた院内クリニカルパスの試み | 神経内科 | 83(6) | 508-513 | 2015.12 |
| 白岩伸子、玉岡　晃 | 高齢てんかん患者の現状 | 老年医学 | 53(4) | 375-377 | 2015.4 |
| 白岩伸子、大越教夫、田中直樹 | リウマチ性多発筋痛症の臨床経過 | 老年医学 | 53(4) | 379-381 | 2015.4 |
| 白岩伸子、小松恒彦、長澤俊郎 | 骨髄異形成症候群に悪性貧血、亜急性連合性脊髄変性症を合併し、可逆性の MRI 病変を認めた高齢者の一例 | 老年医学 | 53(4) | 383-385 | 2015.4 |

### 心臓血管外科（論文）

| 著　　者 | 論文タイトル | 誌　　名 | 巻(号) | ページ | 発行年月 |
|---|---|---|---|---|---|
| Tomita E | Efficacy of Recombinant Activated Factor VII for Intractable Bleeding after Cardiovascular Surgery | Kyobu Geka | 68(9) | 735-9 | 2015 |
| Shima S | Combined Open and Endovascular Repair of Multiple Aortic Aneurysms due to Syphilitic Aortitis | Kyobu Geka | 68(6) | 426-30 | 2015 |
| Numata R | Debakey type 2 Aortic Dissection Failed to Diagnose by Enhanced Computed Tomography;Report of a Case | Kyobu Geka | 68(5) | 375-8 | 2015 |
| Okamura K | Hybrid stenting therapy for dysphagia aortica with Rokitansky's diverticulum concomitant with thoracic aortic aneurysm | Eur J Cardiothorac Surg | 47(5) | e229-31 | 2015 |
| Shima S | Vacuum-assisted Closure（VAC）Treatment for Sternal Infection in a Patient after Cardiovascular Surgery; Report of a case | Kyobu Geka | 68(3) | 225-8 | 2015 |
| 島正太郎 | 慢性非弁膜性心房細動、心原性脳梗塞に対して低侵襲外科的左心耳切除術を施行した１例 | 心臓 | 47(7) | 829-834 | 2015 |
| Yoshimoto A | Efficasy of Vacuum-Assisted Closure Therapy on Rehabilitation during the Treatment for Surgical Site Infection after Cardiovascular Surgery | General thoracic and cardiovascular surgery | under review | under review | |
| Inoue T | Symptomatic Middle Aortic Syndrome（MAS）Treated Using an Extra-anatomical Bypass | Interactive Cardiovascular Surgery | under review | under review | |

### 麻酔科（論文）

| 著　　者 | 論文タイトル | 誌　　名 | 巻(号) | ページ | 発行年月 |
|---|---|---|---|---|---|
| 富田絵美、高瀬　肇、田島啓一、末松義弘 | 心臓血管手術後出血におけるリコンビナント活性型第Ⅶ因子製剤の有効性 | 胸部外科 | 68 | 735-739 | 2015.8 |

### 病理診断科（論文）

| 著　　者 | 論文タイトル | 誌　　名 | 巻(号) | ページ | 発行年月 |
|---|---|---|---|---|---|
| 渡辺基信、石橋　敦、前田正光、近藤　匡、渡邊宗章、臺　勇一、大河内信弘 | Gemcitabine+Paclitaxel 療法が奏効した乳癌術後胃結腸転移の１例 | 癌と化学療法 | 42巻<br>8号 | 893-902 | 2015.8 |

### 眼科（論文）

| 著　　者 | 書籍名 | 監修・編集 | 担当項目 | 出版社 | ページ | 発行年月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Yuka Sato Morita, MD, Shinichi Fukuda, MD, Takahiro Hiraoka, MD, and Tetsuro Oshika, MD | Noninvasive Assessment of Extraocular Muscle Insertion Using 3-Dimentional Anterior Segment Optical Coherence Tomography before Strabismus Reoperation | ISA Transactions Book（in press） | | | | |

### 放射線科（書籍）

| 著　　者 | 書籍名 | 監修・編集 | 担当項目 | 出版社 | ページ | 発行年月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 日本乳癌検診学会総合判定委員会［編集］ | マンモグラフィと超音波検査の総合判定マニュアル | 日本乳癌検診学会総合判定委員会［編集］ | 第４章　総合判定の実際 | 篠原出版新社 | 51-92 | 2015.9 |

## 【学会・講演・セミナー等】

### 循環器内科

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開催地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 我妻賢司 | 最新の心臓カテーテル治療と外来管理上の諸問題 | きぬ医師会学術講演会 | 常総市 | 2015.7 |
| 我妻賢司 | Biodegradable polymer DES | 第47回CVIT関東甲信越地方会サテライトシンポジウム | 東京 | 2015. 10 |
| 新居秀郎、我妻賢司、内田靖人 | LCX高度屈曲病変に対し経橈骨動脈アプローチでGuide Liner使用から4 in 6 システムへ変更することにより血行再建し得た1例 | 第117回日本シネアンジオ研究会 | 東京 | 2015. 6 |
| 新居秀郎、我妻賢司、内田靖人 | CTO及び高度屈曲病変に対し経橈骨動脈アプローチで種々のテクニックを駆使し血行再建し得た1例 | 第29回茨城県PCI研究会 | つくば | 2015. 7 |
| 新居秀郎、我妻賢司、内田靖人 | CTO及び高度屈曲病変に対し経橈骨動脈アプローチで種々のテクニックを駆使し血行再建し得た1例 | 第62回六甲カルディアックセミナー | 神戸 | 2015. 8 |
| 新居秀郎、我妻賢司、内田靖人 | CKD重症度分類2012は薬物溶出ステントを留置した慢性腎臓病患者の慢性期心脳事故発生の予測に有用か？ | 第63回日本心臓病学会学術集会 | 横浜 | 2015. 9 |
| 新居秀郎、我妻賢司、内田靖人 | CKDの重症度分類2012は薬物溶出ステントを留置した慢性腎臓病患者の慢性期脳心事故発生の予測に有用か？ | 第29回日本冠疾患学会学術集会 | 札幌 | 2015.11 |
| 内田靖人、我妻賢司、新居秀郎 | 左前下行枝入口部の慢性完全閉塞を含む，左主幹部遠位部True-Bifurcation lesionに対しRetrograde approach及びCulotte Stentingにて治療しえた1例 | 第3回つくばハートカンファレンス | つくば | 2015. 10 |
| Kenji Wagatsuma | (Discussant) CTO Live 2015 CTO Live Case Session II | Cardiovascular Summit TCTAP2015 | Seoul Korea | 2015.4 |
| Kenji Wagatsuma | (Panelist) Morning Roundtable Forum: Meet the Experts over Breakfast: Left Main Disease | Cardiovascular Summit TCTAP 2015 | Seoul Korea | 2015.4 |
| Kenji Wagatsuma | (Lecturer) Is Transradial Safe for LM PCI? | Cardiovascular Summit TCTAP 2015 | Seoul Korea | 2015.4 |
| Kenji Wagatsuma | (Panelist) Satelite Symposium Session Ⅱ : Advances in Cardiovascular Interventions | 13th Gwangju Interventional Cardiology Symposium (GICS2015) | Gwangju, South Korea | 2015.6 |
| Kenji Wagatsuma | (Lecturer) Transradial Retrograde Recanalization for Complex CTO Lesions | 13th Gwangju Interventional Cardiology Symposium (GICS2015) | Gwangju, South Korea | 2015.6 |
| Kenji Wagatsuma | (Lecturer) Scientific Symposia Left Main and Bifurcations Part I: Techniques and Strategies for the Treatment of Bifurcation Lesions Session II: Technical Considerations<br>Mini-Crush Technique Is the Best Way for True Bifurcated LM Lesions. | CIT2016 China Interventional Therapeutics in Partnership with TCT | Beijing, China | 2016.3 |
| Kenji Wagatsuma | (Lecturer) Scientific Symposia TRI Club Part I Session IIII Transradial Retrograde Recanalization for Complex CTO: My Experience inChina. | CIT2016 China Interventional Therapeutics in Partnership with TCT | Beijing, China | 2016.3 |
| Kenji Wagatsuma | (Special Lecturer) Mini-Crush Technique is the Best way for<br>True Bifurcated LM Lesions | China-Japan Union Hospital of Jilin University Morning Conference | Changchun, China | 2016.3 |
| Hideo Nii, Kenji Wagatsuma, Yasuto Uchida | Is the 2012 classification of CKD useful in predicting the onset oflate cardiac events in CKD patients who received DES? (Poster) | CCT2015 (Complex Cardiovascular Therapeutics 2015) | Kobe, Japan | 2015. 10 |

## 消化器内科

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開催地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 沼田るり子、添田敦子、小林真理子、越智大介、杉山弘明、中原　朗、本橋歩、池澤和人、山本祥之、兵頭一之介 | 腹膜播種により経口摂取不能となった切除不能進行胃癌に対してSOX療法が奏功した1例 | 第334回日本消化器病学会関東支部例会 | 東京 | 2015.5 |
| 添田敦子、金子　剛、杉山弘明、越智大介、小林真理子、設楽佐代子、本橋　歩、池澤和人、中原　朗 | シングルバルーン内視鏡と細径内視鏡の併用による深部腸管狭窄病変への治療アプローチ | 第89回日本消化器内視鏡学会総会 | 名古屋 | 2015.5 |
| 添田敦子、越智大介、杉山弘明、小林真理子、本橋　歩、設楽佐代子、池澤和人、中原　朗 | 傍十二指腸乳頭憩室出血の3例 | 第89回日本消化器内視鏡学会総会 | 名古屋 | 2015.5 |
| 池澤和人、小林真理子、越智大介、杉山弘明、添田敦子、設楽佐代子、中原　朗、兵頭一之介 | H. pylori 2次治療における除菌成績に寄与するリスク分析の検討 | 第101回日本消化器病学会総会 | 仙台 | 2015.5 |
| 池澤和人、杉山弘明、谷中昭典 | 医療従事者におけるHP成人感染について（1年間のフォローアップ報告） | 第21回日本ヘリコバクター学会 | 神戸 | 2015.6 |
| 池澤和人、垣内祥宏、金森毅繁、小關　剛、小關　迪 | オーダリングシステム更新に関連した『院内プロセス』での経験 | 第17回医療マネジメント学会学術集会 | 大阪 | 2015.6 |
| 川嶋慎也、元木萌依子、高野翔子、池澤和人、長澤俊郎、小關　迪 | 退院後2週間以内の『退院サマリー』完成率向上への取り組み | 第17回医療マネジメント学会学術集会 | 大阪 | 2015.6 |
| 島田久美子、高野美穂、久保田静子、阿久津功、池澤和人、垣内祥宏 | プラスチックアンプル頚部の消毒程度の検証と職員伝達の重要性 | 第17回医療マネジメント学会学術集会 | 大阪 | 2015.6 |
| 馬場祥伍、添田敦子、新里悠輔、田島大樹、越智大介、杉山弘明、中原　朗、池澤和人、田岡謙一、長澤俊郎 | 発熱と汎血球減少にて発症した伝染性単核球症の一例 | 第335回日本消化器病学会関東支部例会 | 東京 | 2015.7 |
| 新里悠輔、添田敦子、田島大樹、越智大介、杉山弘明、中原　朗、池澤和人、兵頭一之介 | 肺癌分子標的薬投与中に偽膜性腸炎を発症した一例 | 第335回日本消化器病学会関東支部例会 | 東京 | 2015.7 |
| 小林真理子、越智大介、杉山弘明、添田敦子、池澤和人、中原　朗 | Trastuzumab beyond progressionを施行したHER2陽性進行胃癌2症例の経験 | 第13回日本臨床腫瘍学会学術集会 | 博多 | 2015.7 |
| 別所早美、瀬能直子、池澤和人、長岡広香、小關　剛、小關　迪 | 当院における緩和ケアラウンドの現状と課題 | 第16回日本医療マネジメント学会茨城県支部学術集会 | つくば | 2015.9 |
| 西野喜美子、池澤和人、阿部真由美、金森毅繁、小關　剛、長澤俊郎、小關　迪 | 当院における嚥下内視鏡検査（VE）の導入と課題 | 第16回日本医療マネジメント学会茨城県支部学術集会 | つくば | 2015.9 |
| 神馬美姫、海老原幸恵、飯島洋子、池澤和人、小關　剛、小關　迪 | 腸管洗浄剤変更に伴う検査説明用紙改訂後の運用と評価 | 第16回日本医療マネジメント学会茨城県支部学術集会 | つくば | 2015.9 |
| 田島大樹、石毛和紀、小玉夏美、瀬山侑亮、今西真実子、江南ちあき、遠藤壮登、寺崎正彦、山田武史、山本祥之、長谷川直之、遠藤慎治、金子　剛、奈良坂俊明、福田邦明、森脇俊和、安部井誠人、溝上裕士、兵頭一之介 | 術後再建腸管例に生じた胆膵疾患に対するShort type DBE（Double Balloon Endoscopy）を用いたIVRの有用性についての検討 | DDW-JAPAN | 東京 | 2015.10 |
| 菅沼大輔、永瀬雅臣、高木薫子、俣野大介、岩井健太郎、江南ちあき、長谷川直之、石毛和紀、福田邦明、安部井誠人、兵頭一之介 | 保存的加療にて軽快した特発性腸間膜血腫の1例 | 第337回日本消化器病学会関東支部例会 | 東京 | 2015.12 |

## 血液内科

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開催地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 倉橋果南 | 髄膜浸潤をきたした多発性骨髄腫 | 第 617 回　日本内科学会関東地方会 | 東京 | 2015.9 |
| 佐藤祐二 | 自然寛解をきたした急性骨髄性白血病成人ダウン症例 | 第 3 回　日本血液学会関東甲信越地方会 | つくば | 2015.7 |

## 神経内科

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開催地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| Nobuko Shiraiwa,　Sachiko Hoshino, Toshiro Nagasawa | Case reports of drug-induced parkinsonism | 第 56 回日本神経学会学術大会 | 新潟 | 2015.5 |

## 代謝内科

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会･会合名 | 開催地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 藤原　淳 | 糖尿病と共に生きる人生を如何に支援していくべきか | 明日から役立つ糖尿病治療 | つくば国際会議場 | 2015.10.23 |
| 藤原　淳 | 近頃の糖尿病治療の進歩 | 筑医会 | アーバンホテルつくば | 2016.1.29 |
| 藤原　淳 | 糖尿病患者におけるインスリン治療の実際 | 第38回つくば糖尿病塾 | つくば研究支援センター | 2016.3.18 |

## 消化器外科

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開催地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 佐々木量矢、坂本俊樹、松井聡 | 脾原発悪性リンパ腫に対して用手補助腹腔鏡下（HALS）脾臓摘出術を施行した一例 | 第 40 回日本外科系連合学会学術集会 | 東京 | 2015.6 |
| 坂本俊樹 | 紹介症例の報告・検討 | つくば筑七会 | つくば | 2015.12 |

## 呼吸器外科

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開催地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 神山幸一、木村正樹、臺　勇一 | 心タンポナーデ、肺動脈血栓症、糖尿病を合併し重篤な状態から救命し得たⅣ期肺腺癌の 1 例 | 第 32 回日本呼吸器外科学会総会 | 香川県高松市 | 2015.5.14 |
| 木村正樹、神山幸一、臺　勇一 | 小細胞肺癌との鑑別が困難であった外陰部軟部組織原発 Ewing 肉腫肺転移の 1 例 | 第 39 回茨城肺癌研究会 | 筑波大学 | 2015.10.3 |
| 木村正樹、神山幸一、臺　勇一 | 再発時に上大静脈から両側腕頭静脈、内頚静脈、鎖骨下静脈に拡がる広範な静脈血栓を合併した肺癌の 1 例 | 第 56 回日本肺癌学会 | パシフィコ横浜 | 2015.11.27 |

## 心臓血管外科

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開催地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 井上堯文 | NIPRO-LVAD から HeartMate Ⅱ への bridge to bridge の後、ドライブライン感染のため更に Jarvik2000 への Conversion を要した拡張型心筋症の一例 | 第 29 会心臓血管外科ウィンターセミナー | 北海道 | 2015.1.29 |
| 井上堯文 | 若年男性の重症大動脈弁閉鎖不全症に対する大動脈弁形成術の 1 例 | 第 2 回東京心臓外科クリニカルカンファレンス | | 2015.6.26 |
| 井上堯文 | A case of aortic root pseudoaneurysm due to rupture of left coronary artery re-construction after modified-Bentall procedure with Piehler method | 第 20 回冠動脈外科学会総会 | 京都 | 2015.7.9 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 井上堯文 | 心不全、腎不全を来した middle aortic syndrome に対し、腋窩－大腿動脈バイパスで軽快した一例 | 第 237 回日本循環器学会関東甲信越地方会 | 東京 | 2015.9.26 |
| 井上堯文 | 下行大動脈狭窄（middle aortic syndrome）により心不全、腎不全を来した症例に対し、腋窩動脈－大腿動脈バイパスを施行した一例 | 第 24 回東京胸部外科懇話会 | 東京 | 2015.7.18 |
| 井上堯文 | 呼吸不全を有する 82 歳男性の腹部大動脈瘤、両総腸骨動脈瘤に対し、3 期的血管内治療を施行した一例 | 第 81 回茨城心臓血管研究会 | つくば | 2015.10.10 |
| 井上堯文 | 急性大動脈解離術後慢性期の小腸穿孔に対し、至適時期の開腹手術により救命した一例 | 第 239 回茨城外科学会 | 水戸 | 2015.10.18 |
| 井上堯文 | 腹部大動脈瘤破裂に対する緊急手術時に、遺伝子組換え活性型血液凝固第Ⅶ因子製剤投与を行って救命し得た 3 例の報告 | 第 56 回日本脈管学会総会 | 東京 | 2015.10.30 |
| 井上堯文 | A cace of intestinal rupture occurred in chronic phase after the operation for acute aortic dissection | Complex Cardiovascular | | 2015.10.30 |
| 井上堯文 | 胸腹部大動脈人工血管置換術後のグラフトにまで及ぶ創部感染に対し、持続陰圧吸引療法により改善を得た一例 | 第 169 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 | | 2015.11.7 |
| 井上堯文 | 完全胸腔鏡下左心耳切除術の経験 | 第 22 回茨城県鏡視下手術研究会 | | 2015.11.7 |
| 井上堯文 | 若年者への大動脈弁形成術 | 第 23 回茨城循環器研究会 | | 2015.11.14 |
| 井上堯文 | 心筋逸脱酵素から見た、CABG 末梢吻合時における心筋保護法の検討 | 第 29 回日本冠疾患学会学術集会 | 北海道 | 2015.11.20 |
| 井上堯文 | 当科における最近の大動脈－グラフト吻合の工夫－特に急性大動脈解離症例の末梢側吻合について | 第 77 日本臨床外科学会総会 | 福岡 | 2015.11.26 |
| 井上堯文 | 心原性塞栓を繰り返した左心耳内血栓に対し内科的加療の後に胸腔鏡下左心耳切除を施行した 2 例 | 第 238 回日本循環器学会関東甲信越地方会 | 東京 | 2015.12.5 |
| 藤﨑正之 | 小児期に診断されなかった部分肺静脈還流異常症 | 第 17 回成人先天性心疾患学会 | 東京 | 2015.1.18 |
| 藤﨑正之 | 腹部大動脈瘤（juxtarenal type） 切迫破裂に対し surgeon-modified fenestrated EVAR にて救命しえた症例 | 函館医師会循環器研究会 | 北海道 | 2015.6.30 |
| 藤﨑正之 | Surgeon-modified fenestrated endovascular aortic aneurysm repair －現況と課題－ | 第 14 回津軽海峡循環器カンファレンス | 北海道 | 2015.7.18 |
| 藤﨑正之 | Zenith Flex の優位性について | Z conference The 6th Hokkaido Proctor Meeting | 北海道 | 2015.9.12 |
| 藤﨑正之 | Acute Aortic Syndrome（AAS）に対する緊急 TEVAR の成績と問題点 | 第 56 回日本脈管学会総会 | 東京 | 2015.10.29 |
| 吉本明浩 | 術後理学療法の観点から検討した心臓大血管手術後手術部位感染に対する陰圧閉鎖療法の有用性 | 第 68 回日本胸部外科学会定期学術集会 | 神戸 | 2015.10.19 |
| 吉本明浩 | 大動脈弁疾患に合併した上行大動脈拡張に対する大動脈縫縮術の有用性の検討 | 第 56 回日本脈管学会総会 | 東京 | 2015.10.29 |
| 吉本明浩 | 人工物を使用しない僧帽弁形成術の検討 | 第 53 回日本人工臓器学会大会 | 東京 | 2015.11.21 |
| 倉橋果南 | 急性大動脈解離術後慢性期の小腸穿孔に対し、至適時期の開腹手術により救命した一例 | 第 11 回つくば研修医学術集会 | つくば | 2015.12.5 |
| 井関陽平 | PCI 後の乳頭筋断裂・急性心不全に対し緊急手術におより救命し得た一例 | 第 23 回茨城循環器研究会 | つくば | 2015.11.14 |

## 脳神経外科

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開催地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 中村和弘 | 脳卒中の外科治療－急性期脳梗塞に対する血栓溶解療法と血栓回収療法について－ | 第 1 回筑波記念病院地域医療連携公開講座 | つくば | 2015.5 |
| 中村和弘 | Tandem occlusion に対する急性期血栓回収療法の治療戦略 | 一般社団法人日本脳神経外科学会第 74 回学術総会 | 札幌 | 2015.10 |
| 渡部大輔 | 初診時診断に苦慮した両側内頚動脈瘤を有するくも膜下出血の 1 例 | 第 94 回茨城県脳神経外科集談会 | 水戸 | 2015.10 |
| 中村和弘 | 脳卒中の外科治療－急性期脳梗塞に対する血栓溶解療法と血栓回収療法について－ | ブリストルマイヤーズ社内勉強会 | つくば | 2015.10 |
| 中村和弘 | 脳卒中の外科治療－急性期脳梗塞に対する血栓溶解療法と血栓回収療法について－ | バイエル社内勉強会 | つくば | 2015.11 |
| 渡部大輔 | 未破裂大型内頚動脈瘤に対する瘤内塞栓術の治療成績 | 第 31 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術集会（JSNET） | 岡山 | 2015.11 |
| 中村和弘 | 動脈硬化性脳主幹動脈 tandem occlusion に対する急性期血栓回収療法の治療戦略 | 第 31 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術集会（JSNET） | 岡山 | 2015.11 |
| 中村和弘 | 頚部内頚動脈狭窄症に対する頚動脈ステント留置術後に造影剤脳症を呈した 1 例 | 第 128 回一般社団法人日本脳神経外科学会関東支部会学術集会 | 東京 | 2015.12 |
| 渡部大輔 | 未破裂大型内頚動脈瘤に対する瘤内塞栓術の治療成績 | 第 16 回茨城脳神経血管内治療カンファレンス | つくば | 2015.12 |
| 赤星　南 | 出血を繰り返し増大した intraparenchymal epidermoid cyst の 1 例 | 第 34 回筑波脳神経外科研究会学術集会 | つくば | 2016.2 |
| 渡部大輔 | 当施設における急性期脳梗塞治療の現状と課題 | 第 34 回筑波脳神経外科研究会学術集会 | つくば | 2016.2 |
| 渡部大輔 | 硬膜外生食持続注入法が奏功した脳脊髄液漏出症による低髄液圧症の 3 例 | 第 95 回茨城県脳神経外科集談会 | 水戸 | 2016.3 |

## 整形外科

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会･会合名 | 開催地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 竹橋広倫 | 救急集中治療部医師との連携による大腿骨近位部骨折の周術期管理とその短期予後 | 第3回FFN日本分科会 | 富山市民プラザホール | 2015.4 |
| 吉沢知宏 | 大腿骨近位部骨折患者の手術、リハビリテーション、骨粗鬆症治療の実態～回復期病棟を持つ当院での治療実績～ | 第3回FFN Fragility Fracture Network 日本分科会 | 富山市民プラザホール | 2015.4 |
| 相野谷武士 | 腰椎椎体間固定術後 Cage 脱転における risk factor の検討 | 日本脊椎脊髄病学会 | 福岡国際会議場 | 2015.4 |
| 吉沢知宏 | Course Of Hip Fracture Patients Post-Surgery: Clinical Results In An Acute-Care Hospital With The Kaifukuki（Convalescent）Rehabilitation Ward | 16th EFFORT Congress | Prague,Czecho Republic | 2015.5 |
| 大山和生 | 高エネルギー外傷による膝蓋骨粉砕骨折に対してひまわり法を用いた 1 症例 | 茨城県整形外科集談会 | 東京医大茨城医療センター | 2015.6 |
| 大山和生 | 腓骨筋腱脱臼に対する Juggeknot ソフトアンカーを用いた腓骨筋支帯修復術 | 第40回日本足の外科学会･学術集会 | ヒルトン東京ベイ | 2015.10 |
| 竹橋広倫 | Dorr C の大腿骨における SUMMIT と SYNERGY SELECT の Stress shielding | 第42回日本股関節学会 | グランフロント大坂 | 2015.10 |
| 竹橋広倫 | ANTHOLOGY 人工骨頭システムの治療成績 | 茨城県整形外科集談会 | 茨城県医師会館 | 2015.10 |

## 精神科

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開催地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 山里道彦 | 就労に至った抗 NMDA 受容体脳炎 2 例 | 第 52 回日本リハビリテーション医学会 | 新潟 | 2015.5 |
| 山里道彦 | 症状が進行し重度認知症に至った外傷性脳損傷 1 例 | 第 39 回日本高次脳機能障害学会 | 東京 | 2015.12 |
| 山里道彦 | 抗 NMDA 受容体脳炎で生じる認知障害の予後について | 第 111 回日本精神神経学会 | 大阪 | 2015.6 |
| 山里道彦 | 外傷性くも膜下出血後、認知症に移行した症例 | 第 34 回日本認知症学会 | 青森 | 2015.10 |

## 麻酔科

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開催地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 富田絵美、田島啓一、高瀬肇 | 蘇生後脳症後の有痛性痙縮に対し、超音波ガイド下星状神経節ブロックが有効であった一例 | 日本麻酔科学会関東甲信越東京支部・55 回合同学術集会 | 横浜 | 2015.9 |

## 放射線科

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開催地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 鯨岡結賀 | 線維腺腫の造影超音波所見－組織学的亜型による違いの検討－ | 第 34 回乳腺甲状腺超音波医学会 | 東京 | 2015.5 |
| 鯨岡結賀 | パネルディスカッション乳がん検診における総合判定方式ってなに？ | 第 35 回乳腺甲状腺超音波医学会 | 盛岡 | 2015.9 |
| 鯨岡結賀 | 総合判定講習会 | 乳癌検診学会主催 | つくば | 2015.11 |
| 鯨岡結賀 | 他の画像診断とのコラボ（MG、MRI、CT など） | 日本超音波医学会超音波診断講習会 | 京都 | 2016.1 |

## 病理診断科

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開催地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 臺　勇一 | 筑波記念病院胃 ESD 検体 病理所見 | 第 3 回つくば ESD ／病理カンファランス | つくば | 2015.6 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 臺　勇一 | 内視鏡ライブセミナー ESD 検体病理報告 | 第 4 回つくば ESD 病理カンファランス | つくば | 2016.1 |
| 臺　勇一 | 筑波記念病院胃 ESD 検体病理診断 | 第 98 回茨城県早期胃・大腸癌研究会 | つくば | 2016.2 |
| 臺　勇一、佐藤祐二 | 好酸球増多症と右肺腫瘤を認めた多発性脳梗塞の解剖例 | 第 41 回茨城病院病理医の会 | 水戸 | 2016.2 |

## 呼吸器内科

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開催地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 松野洋輔、中澤健介、際本拓未、本間晋介、川口未央、森島祐子、坂本　透、大塚盛男、檜澤伸之 | Notch シグナルによる IL6/STAT3 を介した細胞濃度依存性アポトーシスの制御 | 第 55 回日本呼吸器学会学術講演会 | 東京 | 2015.4 |
| 原田直之、茂木　充、佐藤麻里、相澤智弘、折居美波、上野　学、清水雄至、塚越正章、中川純一、内田　恵、鈴木雅文、川口公一、増渕裕朗、原　健一郎、前野敏孝、須賀達夫 | 集学的治療による寛解導入後に血液悪性疾患を併発した縦隔悪性胚細胞腫瘍の 2 例 | 第 55 回日本呼吸器学会学術講演会 | 東京 | 2015.4 |
| 高瀬亮太、清水雄至、原田直之、佐藤麻里、相澤智弘、折居美波、上野　学、茂木　充、鈴木雅文、増渕裕朗、原　健一郎、前野敏孝、須賀達夫、倉林正彦 | 栄養療法を重視した COPD 地域連携パスの導入とその意義 | 第 55 回日本呼吸器学会学術講演会 | 東京 | 2015.4 |
| 石川大介、茂木　充、相澤智弘、原田直之、佐藤麻里、折居美波、上野　学、清水雄至、中川純一、塚越正章、増渕裕朗、原健一郎、前野敏孝、須賀達夫、倉林正彦 | ステロイド治療中に発症したニューモシスチス肺炎（PCP）の臨床的検討 | 第 55 回日本呼吸器学会学術講演会 | 東京 | 2015.4 |
| 肥田憲人、藤田一喬、角田義弥、中澤健介、際本拓未、小川良子、松野洋輔、本間晋介、川口未央、森島祐子、坂本　透、上田　翔、小林尚寛、矢野陽子、南　優子、大塚盛男、檜澤伸之、佐藤幸夫、野口雅之 | 両肺多発結節影で見つかった肉芽腫を形成する Pneumocystis jiroveci の 1 例 | 第 214 回日本呼吸器学会関東地方会 | 東京 | 2015.5 |
| 木村正樹、神山幸一、肥田憲人、折居美波、大塚盛男、臺　勇一 | 小細胞肺癌との鑑別が困難であった外陰部軟部組織原発 Ewing 肉腫肺転移の 1 例 | 第 39 回茨城肺癌研究会 | つくば | 2015.1 |
| 山田豊、笠井　尚、鏑木孝之、杉山智英、神山由香理、森清志 | 未治療進行扁平上皮癌に対するネダプラチン＋パクリタキセル併用療法の第Ⅱ相試験 | 第 56 回日本肺癌学会学術集会 | 横浜 | 2015.11 |
| 山田豊、折居美波、大塚盛男、佐々木啓太、木村正樹、神山幸一、臺　勇一 | 局所麻酔下胸腔鏡検査で診断がつかず腫瘍摘出術にて診断確定した石灰化を伴う sarcomatoid mesothelioma の 1 例 | 第 40 回茨城肺癌研究会 | 茨城 | 2016.2 |

## 眼科

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開催地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| Yuka Sato Morita, MD, Takahiro Hiraoka, MD, and Tetsuro Oshika, MD | Influence of strabismus surgery on general health-related quality of life in children and their parents | Asia Association for Research in Vision and Ophthalmology | パシフィコ横浜　会議センター | 2015.2 |

# 診療支援部門

## 看　護　部

**【総括】**

2015年度の最大の課題は、全ての部署にとってＳ棟の開設であった。記念病院33年間の歴史が新しいシンボルとなるＳ棟を完成させ、それまでに培った力は、次世代の管理者達をリーダーにして、スムーズな移設作業をすすめてくれたと思う。

看護部の目標は、１．安全・安心で質の高い看護を提供する。２．病院経営に積極的に参画する。３.一人ひとりが職責を自覚し、いきいきと働き続けられる職場を作る。としてきた。資格取得では、キャリア開発により今年度も多くの人財が形成された。看護管理セカンドレベル１名、ファーストレベル４名、感染管理認定看護師１名、看護教員養成講習会１名、臨床指導者講習会２名、介護教員講習会１名、その他自己研鑽により介護支援専門員・糖尿病療養指導士の取得など、有資格者は増えて“質の高い看護”の提供につなげてきた。

感染管理認定看護師の誕生は、「感染防止対策加算１、地域連携加算」の基準取得につながり、“経営参画”という側面でも評価され、院内感染対策も充実してきた。認定看護師会は立ち上げ２年目となり、救急、感染、糖尿病、摂食・嚥下と４分野の認定看護師の活動を通して、その認知度も高まり業務内容も充実・拡大され、後輩が認定取得を目指すモデルにもなってきた事はキャリア開発の成果である。

また、介護教員コースの履修は、介護の現任教育体系づくりの準備ができたと言え、次年度の課題となった。看護の現任教育は歴史も実績もあるが、ラダー別の新体系による研修は４年目を終了し、リクルートにもつながる手応えを感じている。看護学校の講師依頼のコマ数が増えたことや、筑波大学医学群看護学類臨床教授等の称号を受けられた事は、日頃の学生教育が評価された事としてうれしく思い、今後の励みとしたい。専門職として後輩の育成は大切な役割で、当院の実習指導の丁寧さには定評を得ているのも自慢できる。

［文責：矢中豊子］

【業務実績】
資格取得状況

| 認定資格等 | 人　数 | 前年度増減 |
|---|---|---|
| 看護教員養成講習会 | 11 | |
| 筑波大学医学群看護学類臨床教授等 | 14 | 14 |
| 認定看護管理者：セカンドレベル | 3 | 1 |
| 認定看護管理者：ファーストレベル | 34 | 3 |
| 認定看護師（摂食・嚥下障害看護） | 1 | |
| 認定看護師（糖尿病） | 1 | |
| 認定看護師（救急看護） | 1 | |
| 認定看護師（感染管理） | 1 | 1 |
| 介護支援専門員 | 26 | 3 |
| 消化器内視鏡技師 | 8 | 1 |
| 糖尿病療養指導士 | 5 | 1 |
| 呼吸療法指導士 | 2 | -1 |
| 医療安全管理者等研修修了者 | 4 | 1 |
| 臨床指導者講習会修了者 | 48 | 2 |
| 人工心臓管理技術認定士 | 1 | 1 |
| 介護教員講習会 | 1 | 1 |

2016 年 4 月現在

実習受け入れ実績

| 月 | 学　校　名 | 人　数 | 実　習　領　域 |
|---|---|---|---|
| 4 | 茨城県きぬ看護専門学校 | 2 | 在宅看護論実習 |
| 5 | 茨城県きぬ看護専門学校 | 2 | 在宅看護論実習 |
| | アール医療福祉専門学校　看護学科 | 5 | 成人看護学実習Ⅱ（急性期） |
| 6 | 茨城県立岩瀬高等学校　専攻科 | 22 | 看護の統合と実践 |
| | 茨城県きぬ看護専門学校 | 4 | 在宅看護論実習 |
| | つくば国際大学医療保健学部看護学科 | 6 | 在宅看護論実習 |
| 7 | 茨城県立岩瀬高等学校　専攻科 | 10 | 看護の統合と実践 |
| | 東京衛生学園専門学校看護学科（通信制） | 5 | 成人看護学 |
| | 筑波大学医学群看護学類 | 2 | 総合実習 |
| | アール医療福祉専門学校　看護学科 | 5 | 成人看護学実習Ⅱ（急性期） |
| | つくば国際大学医療保健学部看護学科 | 6 | 在宅看護論実習 |
| 8 | つくば国際大学医療保健学部看護学科 | 6 | 在宅看護論実習 |
| 9 | つくば国際大学医療保健学部看護学科 | 34 | 総合実習 |
| | 東京衛生学園専門学校看護学科（通信制） | 5 | 在宅看護論実習 |
| | 国際メディカルテクノロジー専門学校看護学科通信課程 | 6 | 基礎看護学実習 |
| | 筑波大学医学群看護学類 | 73 | 高齢者看護学実習Ⅰ |
| 10 | つくば国際大学医療保健学部看護学科 | 6 | 成人看護学実習Ⅰ |
| | 筑波大学医学群看護学類 | 36 | 高齢者看護学実習Ⅱ |
| | 茨城県きぬ看護専門学校 | 2 | 在宅看護論実習 |
| | 東京衛生学園専門学校看護学科（通信制） | 5 | 老年看護学実習 |
| | 東京衛生学園専門学校看護学科（通信制） | 5 | 統合実習 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 11 | 国際メディカルテクノロジー専門学校看護学科通信課程 | 6 | 成人看護学実習 |
| | 筑波大学医学群看護学類 | 37 | 高齢者看護学実習Ⅱ |
| | 茨城県きぬ看護専門学校 | 2 | 在宅看護論実習 |
| | 東京衛生学園専門学校看護学科（通信制） | 5 | 基礎看護学実習 |
| | つくば国際大学医療保健学部看護学科 | 6 | 成人看護学実習Ⅰ |
| | アール医療福祉専門学校　看護学科 | 4 | 老年看護学実習 |
| 12 | アール医療福祉専門学校　看護学科 | 30 | 基礎看護学実習Ⅰ・B |
| | 東京衛生学園専門学校看護学科（通信制） | 2 | 基礎看護学実習 |
| | 茨城県きぬ看護専門学校 | 42 | 基礎看護学実習 |
| 1 | 茨城県立岩瀬高等学校　専攻科 | 17 | 成人看護学 |
| | アール医療福祉専門学校　看護学科 | 5 | 成人看護学（回復期） |
| | 筑波大学大学院 フロンティア医科学専攻 | 4 | 認知症高齢者ケアリング学持論 |
| 2 | 茨城県立岩瀬高等学校　専攻科 | 17 | 成人看護学 |
| | 茨城県立岩瀬高等学校　専攻科 | 16 | 老年看護学 |
| | アール医療福祉専門学校　看護学科 | 5 | 成人看護学（回復期） |
| 3 | 国際ﾒﾃﾞｨｶﾙﾃｸﾉﾛｼﾞｰ専門学校看護学科通信課程 | 6 | 老年看護学実習 |
| | 実習受入れ合計数 | 451 | |

## 非常勤講師派遣

| 講　師 | 内　　容 | 依　　頼　　元 | 開催年月 |
|---|---|---|---|
| 矢中豊子 | 看護管理 | 茨城県立岩瀬高等学校 | 2015.4 ～ 5 |
| 星　豪人 | 国際看護 | 同上 | 2015.6 ～ 7 |
| 久保田静子 | 医療安全 | 同上 | 2015.6 ～ 7 |
| 藤森早苗 | 在宅看護論 | 同上 | 2015.9 ～ 12 |
| 山下　彩 | 災害看護 | 同上 | 2015.11 ～ 12 |
| 矢中豊子 | 看護管理 | 土浦看護専門学校（２年課程） | 2015.8 ～ 10 |
| 矢中豊子 | 看護管理 | 同上　　（３年課程） | 2015.10 ～ 11 |
| 小林千恵 | 耳鼻咽喉疾患 | 土浦医師会准看護学院 | 2015.10 |
| 萩谷久枝 | アレルギー・膠原病疾患 | 同上 | 2015.11 |
| 千葉真奈美 | 循環器疾患 | 同上 | 2015.12 ～ 2016.1 |
| 猪瀬里美 | 脳神経疾患 | 同上 | 2015.12 ～ 2016.1 |
| 野口里美 | 血液・造血器疾患 | 同上 | 2016.1 ～ 2 |
| 木内亮子 | 内分泌・代謝疾患 | 同上 | 2016.1 |
| 星　典子 | 感染予防技術 | 結城看護専門学校 | 2015.4 ～ 5 |
| 宮澤久美子 | 血液造血器 | 同上 | 2015.9 ～ 10 |
| 星　典子 | 感染予防技術 | 同上 | 2015.4 ～ 5 |
| 萩谷久枝 | アレルギー免疫障害 | 同上 | 2015.11 |
| 菊池由香 | 看護専任教員 | 同上 | 2015.4 ～ 2016.3 |
| 益子美幸 | 看護専任教員 | 温知会（仁愛看護専門学校） | 2015.4 ～ 2015.5 |
| 中根登志子 | 看護専任教員 | 温知会（仁愛高等学校） | 2015.4 ～ 2016.3 |
| 西田香織 | 臨床指導者：成人看護 | 神村学園高等部看護学科４年生 | 2015.11 |
| 久保田静子 | 地域看護職員再就業支援事業「医療安全」 | 公益社団法人茨城県看護協会 | 2015.8 |
| 阿部真由美 | 地域看護職員再就業支援事業「経管栄養と栄養管理」 | 同上 | 2015.8 |
| 阿部真由美 | 地域看護職員再就業支援事業「摂食・嚥下障害」 | 同上 | 2015.8 |
| 阿部真由美 | 地域看護職員再就業支援事業「摂食・嚥下障害」 | 同上 | 2015.10.1 |
| 木内亮子 | 第３回つくば３Ｃ研究会　カーボカウントお弁当編 | つくば３Ｃ研究会 | 2015.7 |
| 木内亮子 | 平成 27 年度糖尿病透析予防支援　質向上のための研修 | 日本糖尿病教育・看護学会 | 2015.11 |
| 櫻井江利子 | 第１回 JA とりで ICLS ワークショップ | JA とりで総合医療センター | 2015.5 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 櫻井江利子 | 第 14 回きぬ外傷セミナー | つくば・常総地区メディカルコントロール協議会 | 2015.7 |
| 櫻井江利子 | 第 3 回つくば・常総地区 ISLS コース | 同上 | 2015.7 |
| 櫻井江利子 | 第 18 回つくば・常総ＩＣＬＳコース | 同上 | 2015.8 |
| 櫻井江利子 | 第 16 回霞ヶ浦外傷セミナー | 稲敷地区メディカルコントロール協議会 | 2015.9 |
| 櫻井江利子 | 第 37 回稲敷 MC ICLS コース | 同上 | 2015.10.11 |
| 櫻井江利子 | 第 1 回 ICLS 若竹講習会ワークショップ | 社会医療法人若竹会　つくばセントラル病院 | 2015.10.25 |
| 櫻井江利子 | 第 19 回つくば・常総ＩＣＬＳコース | つくば・常総地区メディカルコントロール協議会 | 2015.12 |

**【学会・講演・セミナー等】**

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開　催　地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 山下　彩、吉田恵美子 | 課程の異なる各看護学校の実習受入体制の検討<br>～より良き実習受け入れ施設を目指して～ | 第 17 回日本医療マネジメント学会学術総会 | グランキューブ大阪（大阪国際会議場） | 2015.6 |
| 木内亮子 | 糖尿病療養相談外来立ち上げに向けての取り組み | 第 17 回日本医療マネジメント学会学術総会 | グランキューブ大阪（大阪国際会議場） | 2015.6 |
| 富田浩美、星典子 | エボラウィルス感染症対応への取り組み－シミュレーション訓練からの学び－ | 第 17 回日本医療マネジメント学会学術総会 | グランキューブ大阪（大阪国際会議場） | 2015.6 |
| 矢中豊子 | 座長：一般演題「看護・労働環境」 | 第 16 回日本医療マネジメント学会茨城県支部学術集会 | つくば国際会議場 | 2015.9 |
| 相馬　悟、吉田奈美、大澤恵理子、山中俊輔、小關　剛、小關　迪 | より良い手術室看護を目指して～患者体験を通しての学び～ | 第 16 回日本医療マネジメント学会茨城県支部学術集会 | つくば国際会議場 | 2015.9 |
| 森　純子、太田和子 | 回復期リハビリテーション病棟における看護必要度評価システムの現状 | 第 16 回日本医療マネジメント学会茨城県支部学術集会 | つくば国際会議場 | 2015.9 |
| 星　典子、富田浩美、佐藤裕二 | アルコール手指消毒剤によるグラム陰性桿菌検出への効果（ポスター） | 第 31 回日本環境感染学会総会・学術総会 | 国立京都国際会館 | 2016.2 |
| 森　純子、太田和子 | 回復期リハビリテーション病棟における看護必要度監査体制とその実際（ポスター） | 回復期リハビリテーション病棟協会研究大会 in 沖縄 | 沖縄コンベンションセンター | 2016.3 |
| 太田和子 | 座長：院内連携 | 回復期リハビリテーション病棟協会研究大会 in 沖縄 | 沖縄コンベンションセンター | 2016.3 |

**【書籍】**

| 著　者 | 書　籍　名 | 担当項目 | 出　版　社 | 発行年月 |
|---|---|---|---|---|
| 山下　彩 | 看護のチカラ | 看護教育は看護学生のときから始まっている<br>「実習指導室設置後の受け入れ体制の強化と成果」<br>－看護教員養成講習会修了者を専属で配置して－ | 産労総合研究所 | 2015.9.15 |

# 薬　剤　部

**【総括】**

**・2015 年度の実績報告**

1）薬剤業務実施加算を含めて、薬剤部の保険収入を 4500 万円以上とする
　⇒ 2014 年度の 4243 万円から 4594 万円と 8.3％増加し、目標を達成できた

2）医薬品情報業務の充実
　⇒医薬品情報室主任の配置により、院内 LAN を利用した迅速な医薬品情報の伝達が可能となり、業務の充実が図られた。

3）機能評価係数Ⅱにおける後発医薬品係数の獲得
　⇒後発医薬品への切り替えをさらに進めて、数量ベースで 70％以上を達成し、機能評価係数をさらに上げることができた。

4）新棟完成後、調剤室等を２号棟２階に移動しレイアウトを見直す
　⇒不要物品の整理、調剤と注射スペースの分離、書籍等の収納スペースの確保等を実施した結果、これまでに比して広く、動線のよい調剤室となった

**・2016 年度の課題・目標**

1）薬剤管理指導件数は 750 件／月を目指す（Ⅰ、Ⅱの合計）

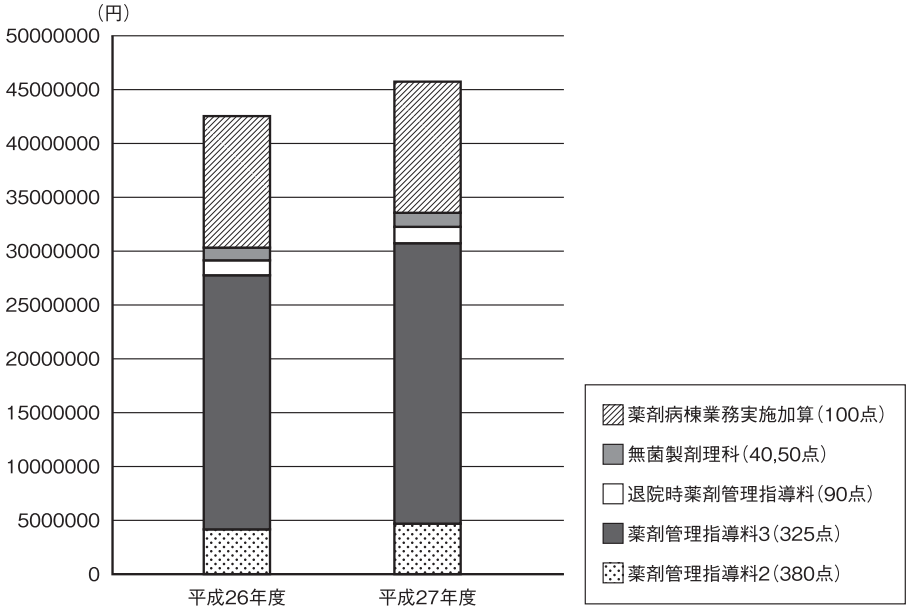
2）薬剤業務実施加算Ⅱを維持し、さらに加算Ⅰを取るべく２人の薬剤師増を目指す

3）自動アンプル払出し装置を導入し、夜間運転させることにより、注射薬供給業務の効率化をはかる

［文責：垣内祥宏］

## 【業務実績】

| | 入院処方箋枚数 | 薬剤管理指導料件数（380 点） | 薬剤管理指導料件数（325 点） | 抗癌剤無菌調製件数（外来） | 抗癌剤無菌調製件数（入院） | 退院時薬剤管理指導件数（90 点） | 無菌製剤処理料件数（40、50 点） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2014 年度 | 53673 | 1100 | 7234 | 962 | 1779 | 1657 | 2773 |
| 2015 年度 | 48513 | 1255 | 7948 | 1043 | 1787 | 1843 | 2945 |




## 【学会・講演・セミナー等】

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開　催　地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 島田久美子、高野美穂、池澤和人、垣内祥宏 | プラスチックアンプル頚部の消毒程度の検証と職員伝達の重要性 | 第 17 回 日本医療マネジメント学会 学術 大阪総会 | 大阪 | 2015.6 |
| 島田久美子、高野美穂、渥美弘美、垣内祥宏 | 通常の清拭操作におけるプラスチックアンプル頚部の消毒程度の検証<br>−検証結果を職員に伝達することの重要性も含めて− | 日本病院薬剤師会関東ブロック 第 45 回学術大会 | つくば市 | 2015.8 |

# 放　射　線　部

**【総括】**

**1．実績**

4月に診療放射線技師1名の入職で、診療放射線技師24名、臨床検査技師2名で、CT、MRI、超音波、消化管造影、血管造影、心臓カテーテル、単純X線、マンモグラフィ、核医学、出張検診（胸部、胃部）の画像検査を行った。

ERCPの術者の被ばく線量軽減のため、内視鏡用のフラットパネル透視装置の選定、アンダーチューブでの使用、鉛エプロン設置等を行い術者の被ばく線量が約1／4に減少した。

THPの優良総合健診施設認定更新にあたり、検査室、検査機器、精度管理等の条件をクリアしたが、修正点の改善・見直し行い更なる努力をしていきたい。

サーバー増設に伴い、3D解析システムVINCENTを医局2台、全手術室、外来に設置し、高精細モニターを病棟に設置し、放射線読影室以外の画像環境の向上を行った。

**2．医療安全**

造影剤使用時における急変時の対応として、副作用に対するシュミレーショントレーニングを定期的に行った。（5月、11月）

患者誤認防止の取りくみを行い、患者受付表を導入し患者誤認のヒヤリハット件数は0になった。

**3．勉強会**

院内勉強会は、MR対応ペースメーカー、痴ほう症診断薬ダットスキャン・MIBG等行い、技師による勉強会を積極的に開催し、昨年度同数20回行った。

**4．教育実習生受入実績**

茨城県立医療大学　放射線技術科臨床実習生　4名

茨城県立医療大学　放射線技術科早期臨床体験教育に係る施設見学　3名

**5．認定取得**

検診マンモグラフィ撮影認定　1名資格取得

超音波検査士（消化器領域）　2名資格取得

超音波検査士（表在領域）　1名資格取得

**6．2016年度の目標**

・病院機能評価の更新受審にあたり画像診断機能・マニュアル等をみなおし、前回以上の評価でクリアしていきたい。

・ERCPの術者の被ばく線量軽減のため、透視時間の短縮、適正な照射野を心がけて検査を行う。

・資格取得の教育環境を見直し、本年度以上の資格取得に取り組んでいきたい。（検診マンモグラフィ撮影認定技師、超音波検査士）

・検診部門では昨年同様、乳がん検診の需要増加による検診マンモグラフィ予約待ちの改善（予約枠の増加、修正）、人間ドックの腹部エコーの待ち時間の改善として、技師教育の見直し、特に女性技師の増員をしていきたい。

［文責：星野建仁］

【業務実績】

筑波記念病院（2015.4 ～ 2016.3）

| | CT | MRI | 上部消化管造影 | 注腸 | 超音波 | 血管造影 | 心臓カテーテル | 単純 X 線撮影 | マンモグラフィー | 核医学 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2014 年度 | 9,410 | 3,683 | 49 | 85 | 4,006 | 37 | 507 | 39,956 | 4,945 | 177 |
| 2015 年度 | 10,284 | 3,931 | 43 | 50 | 4,047 | 90 | 516 | 41,782 | 4,950 | 269 |

筑波総合クリニック（2015.4 ～ 2016.3）

| | CT | MRI | 単純 X 線撮影 | 骨密度 |
|---|---|---|---|---|
| 2014 年度 | 5,780 | 3,172 | 20,096 | 523 |
| 2015 年度 | 5,812 | 3,838 | 19,010 | 822 |

つくばトータルヘルスプラザ（2015.4 ～ 2016.3）

| | 施設内での健診 | | 出張検診 | |
|---|---|---|---|---|
| | 胸部 | 胃部 | 胸部 | 胃部 |
| 2014 年度 | 21,859 | 13,859 | 11,304 | 2,199 |
| 2015 年度 | 22,178 | 13,423 | 12,589 | 2,616 |

【学会・講演・セミナー等】

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開　催　地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 藤嵜　政人 | AIDR3D を用いた逐次近似再構成画像の検討 | つくば放友会 | 筑波メディカルセンター | 2015.5.26 |

# リハビリテーション部

**【総括】**

リハビリテーション（以下、リハ）部では新入職員 16 名（理学療法士 12 名、作業療法士 2 名、言語聴覚士 2 名）を迎え、常勤リハ専門職 209 名（理学療法士 132 名、作業療法士 50 名、言語聴覚士 27 名）、非常勤リハ専門職 6 名（理学療法士 3 名、作業療法士 3 名）の計 214 名で、役職者として部長 1 名、科長 4 名、主任 9 名、副主任 20 名の体制でスタートした。常勤リハ専門職 159 名（理学療法士 101 名、作業療法 36 名、言語聴覚士 22 名）を病院の入院部門および外来部門に配置した。茨城県立健康プラザへ介護予防体操講習会講師として 14 年目の理学療法士 1 名の出向を昨年に引き続き継続した。2015 年度の退職者は常勤 28 名（理学療法士 17 名、作業療法士 8 名、言語聴覚士 3 名）、非常勤 2 名（理学療法士 1 名、作業療法士 1 名）であった。2015 年度は常勤 23 名（理学療法士 15 名、作業療法士 5 名、言語聴覚士 3 名）が入職見込みである。

リハ実施患者の延べ件数は前年度より入院は 6.7％増、外来は 1.0％増であった。リハ新規指示患者件数は前年度より入院は 15.6％増、外来は 9.4％増であった。リハ実施単位数は入院、外来及び訪問の合計において前年度より 2.7％減であった。診療点数に換算すると 2.1％減であった。勤務するリハ専門職の職員数は前年度より 11 名減少し、業務に従事したリハ専門職の延べ出勤日数は前年度より 4.0％減であった。今年度も昨年度に引き続き医療の質を維持しつつ診療実績の向上を図ることに努め、セラピスト 1 人あたりの 1 日あたりの診療実施単位数を前年度より 1.5％増となり、業務効率の向上について成果を上げることができた。

その他に 2015 年度も前年度に引き続き、リハ専門職による医療サービスの質の向上を図るため、人材育成のための臨床教育体制の再構築に取り組んだ。部内での人材育成方針に則り組織したプロジェクトチームの活動を推進し、部門研修、課題別研修、職種別研修を企画し、実践した。従来、リハ専門職の卒後 5 年の人材育成の一環として実施していたジョブローテーションを教育効果や教育目標の達成状況、業務効率などの観点から見直し、2016 年 3 月から新体制のジョブローテーションを開始した。

2016 年度の課題は前年度に引き続き医療サービスの質の向上及び業務効率の向上である。医療サービスの質の向上のために各種研修（課題別研修、職種別研修、部門研修）を企画・実践し、その効果を検証することに取り組んでいく。また臨床の質の向上のために臨床研究を推進していく。業務効率の向上については、医療サービスの質を担保しつつ、業務改善を図り、セラピスト 1 人あたりの 1 日あたりの診療実施単位数の当面の目標を 14 単位／日／人とし、15 単位／日／人を目指していく。より質の高い十分なリハ医療サービスを多くの患者へ提供するために、職員にとって魅力ある職場となることを念頭におきつつ、業務のシステムの見直し及び人材育成のための教育・研修体制の充実を図っていく。

［文責：金森毅繁］

【業務実績】　※（　　）内の数値は 2014 年度の実績

### リハビリテーション実施患者延べ件数（件）

| | |
|---|---|
| 入院 | 107,031（100,357） |
| 外来 | 14,425（14,278） |
| 訪問 | 269（289） |

### リハビリテーション新規指示患者件数（件）

| | | |
|---|---|---|
| 入院 | リハビリテーション | 3,135（2,711） |
| | 内、理学療法 | 2,874（2,442） |
| | 内、作業療法 | 1,549（1,110） |
| | 内、言語聴覚療法 | 832（661） |
| 外来 | リハビリテーション | 313（286） |
| | 内、理学療法 | 182（158） |
| | 内、作業療法 | 115（125） |
| | 内、言語聴覚療法 | 90（93） |

### リハビリテーション実施単位数（単位）

| | | |
|---|---|---|
| 入院 | 一般病棟 | 230,928（228,297） |
| | 回復期リハ病棟 | 134,511（143,160） |
| | 医療療養病棟 | 69,359（75,683） |
| 外来 | | 43,359（44,197） |
| 訪問 | | 628（700） |
| 計 | | 478,785（492,037） |

### スタッフ年間延べ出勤日数（人）

| | | |
|---|---|---|
| 入院 | 一般病棟 | 17,188（17,661） |
| | 回復期リハ病棟 | 9,284（10,009） |
| | 医療療養病棟 | 4,954（5,330） |
| 外来 | | 4,104（4,006） |
| 計 | | 35,529（37,006） |

### 患者 1 人あたりのリハビリテーション実施単位数（単位 / 人）

| | | |
|---|---|---|
| 入院 | 一般病棟 | 4.0（4.5） |
| | 回復期リハ病棟 | 7.4（7.6） |
| | 医療療養病棟 | 3.3（3.5） |
| 外来 | | 3.0（3.1） |
| 訪問 | | 2.3（2.4） |
| 計 | | 4.3（4.7） |

### その他の業務実績（件）

| | |
|---|---|
| 嚥下造影検査 | 77（46） |
| 嚥下内視鏡検査 | 22（0） |
| 聴力検査 | 67（56） |
| リハビリテーション総合実施計画書<br>入院<br>外来 | <br>4,600（4,508）<br>2,338（2,347） |
| 退院前訪問指導 | 247（264） |
| 退院時リハ指導 | 1,553（1,459） |

## 支援

| 内　　容 | 支　援　先 | 場　所 | 実　績 |
|---|---|---|---|
| セラピスト学校訪問事業 | 伊奈特別支援学校 | 伊奈 | 年 6 回 |
| | つくば特別支援学校 | つくば | 年 28 回 |
| | 土浦特別支援学校 | 土浦 | 年 3 回 |
| 心身障害児を対象とした機能訓練事業 | 常総市児童デイサービスセンター | 常総市 | 年 23 回 |

## 【論文】

| 著　者 | 論文タイトル | 誌　名 | 巻（号） | ページ | 発行年月 |
|---|---|---|---|---|---|
| 後藤亮平 | Factors associated with recovery of activities of daily living in elderly pnenmonia patients（原著論文） | General medicine | 16 巻 2 号 | 68-75 | 2015.2 |
| 山倉敏之 | 第 5 回臨床実習指導者の立場から－身体障害領域（回復期）（総説） | 作業療法ジャーナル | 50 巻 2 号 | 174-181 | 2016.2 |

## 【書籍】

| 著　者 | 書　籍　名 | 監修・編集 | 担当項目 | 出　版　社 | ページ | 発行年月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 田中直樹 | 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス　筋緊張に挑む | 斉藤秀之，加藤浩 | 超音波療法 | 文光堂 | 225-227 | 2015.6 |

## 学会発表

| 発表者 | 演　題　名 | 学　会　名 | 開　催　地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 大津孝博 | 左利き者であり右半球損傷により失語症、高次脳機能障害を呈した症例に対する言語聴覚療法 | 茨城県言語聴覚士会 | 水戸市 | 2015.4 |
| 渡邉大貴 | recovery of walking ability using a hybrid assistive limb in persons with subacute stroke: a randomized controled pilot study | WCPT congress 2015 singapore | singapore | 2015.5 |
| 田中直樹 | Analysis of Lower Extremity Muscle in Healthy Volunteers Walking on a Footpad Type Locomotion Interface | WCPT congress 2015 singapore | singapore | 2015.5 |
| 後藤亮平 | Factors associated with independence in activities of daily living in elderly people with disuse syndrome | WCPT congress 2015 singapore | singapore | 2015.5 |
| 内藤幾愛 | 理学療法士によるインシデント分析－公益財団法人日本医療機能評価機構医療事故情報収集等事業の報告から－ | 第 50 回日本理学療法学術大会 | 東京 | 2015.6 |
| 田中直樹 | 歩行感覚提示装置を用いた歩行トレーニングの有用性の検討～体重免荷トレッドミルトレーニングと比較して～ | 第 50 回日本理学療法学術大会 | 東京 | 2015.6 |
| 後藤亮平 | 急性感染症で入院した高齢患者の ADL 回復に関連する要因 | 第 6 回日本プライマリケア連合学会学術大会 | つくば市 | 2015.6 |
| 金森毅繁 | 指導者に対する目標提示方法の違いが新人療法士の診療実績に与える影響 | 第 17 回日本医療マネジメント学会学術総会 | 大阪府 | 2015.6 |
| 上原智彦 | 自宅退院後に転倒による骨折で再入院した症例に関する一考察 | 日本医療マネジメント学会 | 大阪市 | 2015.6 |
| 松本慎也 | 両側片麻痺を呈した終末期の急性骨髄性白血病患者への理学療法士としての関わり | 第 20 回日本緩和医療学会学術大会 | 横浜市 | 2015.6 |
| 渡部菜津美 | 乳癌・乳癌骨転移を発症した利用者に対する訪問リハビリテーションを経験して | 第 58 回つくば地域リハ・セミナー・第 21 回症例検討会 | つくば市 | 2015.8 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 三浦　祥 | 入院経験者のインタビューを通して学んだこと | 第58回つくば地域リハ・セミナー・第21回症例検討会 | つくば市 | 2015.8 |
| 平澤亮介 | 脳幹梗塞後に不安定狭心症を発症した一症例～リスク管理と患者教育に着目して～ | 第58回つくば地域リハ・セミナー・第21回症例検討会 | つくば市 | 2015.8 |
| 田中直樹 | 理学療法の研究方法論（EBPTを含む） | 第15回新人教育研修プログラム研修会 | 阿見町 | 2015.8 |
| 髙島竜史 | 下垂足を呈した症例に対する理学療法を経験して | 第58回つくば地域リハ・セミナー・第21回症例検討会 | つくば市 | 2015.8 |
| 薄　雅也 | 既往に裂脳症のある腰部脊柱管狭窄症を呈した症例の経験 | 第58回つくば地域リハ・セミナー・第21回症例検討会 | つくば市 | 2015.8 |
| 佐々木千裕 | 多発性脳梗塞患者に対する理学療法 | 第58回つくば地域リハ・セミナー・第21回症例検討会 | つくば市 | 2015.8 |
| 犬田和成 | 脳出血後遺症の利用者に対する訪問リハビリテーションを経験して～自宅での歩行自立を目指して～ | 第58回つくば地域リハ・セミナー・第21回症例検討会 | つくば市 | 2015.8 |
| 足立健太 | 脳梗塞を呈した利用者の家事・調理動作能力の獲得を経験して | 第58回つくば地域リハ・セミナー・第21回症例検討会 | つくば市 | 2015.8 |
| 西野喜美子 | 当院における嚥下内視鏡検査（VE）の導入と課題 | 第16回日本医療マネジメント学会　茨城県支部学術集会 | つくば市 | 2015.9 |
| 金子奈央 | 非代償性肝硬変により廃用症候群を呈していた恥骨骨折患者の理学療法を経験して | 関東ブロック理学療法学会 | 甲府市 | 2015.9 |
| 内藤幾愛 | いま求められる患者安全～リハビリテーション中のインシデントの実際 | 第178回保健・医療・福祉に関する勉強会 | つくば市 | 2015.10 |
| 大原裕子 | 失語症患者の介護者の介護負担感に対するコーピングについて | リハビリテーション・ケア合同研究大会 | 神戸市 | 2015.10 |
| 秋山泰蔵 | 茨城県「シルバーリハビリ体操指導士養成事業」におけるリハビリ専門職の関わり－ボランティアに対する講義経験の報告－ | リハビリテーション・ケア合同研究大会神戸2015 | 神戸市 | 2015.10 |
| 秋山泰蔵 | 茨城県「シルバーリハビリ体操指導士養成事業」におけるシステムの特徴－住民ボランティア組織の分析－ | リハビリテーション・ケア合同研究大会神戸2015 | 神戸市 | 2015.10 |
| 米原千晴 | 「こんなにできるんだ」～自己の能力に気づき自信を取り戻した症例 | 第8回茨城県作業療法士学会、第1回北関東甲信越ブロック学会 | 土浦市 | 2015.11 |
| 松永徳子 | 髪をお団子にまとめられるようになりたい～機能回復に固執しない関わりとは～ | 第8回茨城県作業療法士学会、第1回北関東甲信越ブロック学会 | 土浦市 | 2015.11 |
| 長塚侑香 | ひ孫のために何かしたい！～症例の思いを取り入れた介入を実施して～ | 第8回茨城県作業療法士学会、第1回北関東甲信越ブロック学会 | 土浦市 | 2015.11 |
| 椎名真希 | 疼痛の自己管理に着目して～生きがいである畑仕事と役割である家事能力の再獲得に至った症例～ | 第8回茨城県作業療法士学会、第1回北関東甲信越ブロック学会 | 土浦市 | 2015.11 |
| 公地伸行 | 生活意欲が低下した患者に対する塗り絵を用いた作業療法 | 第8回茨城県作業療法士学会、第1回北関東甲信越ブロック学会 | 土浦市 | 2015.11 |
| 大塚玲奈 | 脳梗塞を発症した全盲の症例に対する排泄動作へのアプローチ | 第8回茨城県作業療法士学会、第1回北関東甲信越ブロック学会 | 土浦市 | 2015.11 |
| 稲葉篤志 | 馴染みのある作業活動がせん妄症状の高齢認知症患者にもたらす効果 | 第8回茨城県作業療法士学会、第1回北関東甲信越ブロック学会 | 土浦市 | 2015.11 |
| 飯島由佳 | 症例の望むあり方での動作獲得に向けて～そば打ちを通して～ | 第8回茨城県作業療法士学会、第1回北関東甲信越ブロック学会 | 土浦市 | 2015.11 |
| 飯塚　陽 | 当院回復期リハビリテーション病棟における退院患者へのフォローアップの現状報告 | 第19回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会 | 水戸市 | 2015.12 |
| 藤原祐介 | 肩関節周囲炎により関節可動域制限を呈した症例に対してレッドコード・ニューラックとPNFを併用した一症例 | 日本レッドコード研究会学術大会 | 東京 | 2016.2 |
| 三浦　祥 | 自宅退院困難と思われた心不全患者を経験して～循環器作業療法の役割を考える～ | 第59回つくば地域リハ・セミナー・第22回症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 平塚隼太 | TKA 術後に強い疼痛賀生じた症例を経験して | 茨城県理学療法士会第 3 回つくばブロック症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 塗師なつみ | 姿勢に着目し、T 字杖歩行自立となった変形後側湾症の一症例 | 茨城県理学療法士会第 3 回つくばブロック症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 直井里冴 | 関節リウマチによる伸筋腱突発性断裂術後の症例を経験して | 第 59 回つくば地域リハ・セミナー・第 22 回症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 内藤幾愛 | 急性骨髄性白血病再発による臍帯血移植後患者の緩和的リハビリテーションにおける理学療法の実際 | 第 38 回日本造血幹細胞移植学会 | 名古屋市 | 2016.3 |
| 友常真弥 | 呼吸法が定着せずプログラムに難渋した肺炎を合併した COPD 患者の経験 | 茨城県理学療法士会第 3 回つくばブロック症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 富田実穂 | 頸椎椎弓形成術後に C5 レベルの麻痺を呈した症例～筋力向上に難渋した症例～ | 第 59 回つくば地域リハ・セミナー・第 22 回症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 手塚泰輔 | 再転倒により荷重制限が残存した症例<br>－不安の強い家族との関わり－ | 茨城県理学療法士会第 3 回つくばブロック症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 角田　顕 | 両足関節に可動域制限を呈した右変形性膝関節症に対し、TKA を施行した症例を経験して | 茨城県理学療法士会第 3 回つくばブロック症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 辻　南美 | 既往に左大腿神経麻痺を呈した右側人工膝関節全置換術後患者の理学療法を経験して | 茨城県理学療法士会第 3 回つくばブロック症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 建石陽大 | 廃用症候群を呈した左片麻痺患者に対して電気刺激療法と起立・歩行練習を併用した症例 | 茨城県理学療法士会第 3 回つくばブロック症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 瀧澤春奈 | せん妄を呈した患者の周術期理学療法を経験して | 茨城県理学療法士会第 3 回つくばブロック症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 髙橋　徹 | 慢性硬膜下血腫により ADL が低下したハンチントン舞踏病患者への退院支援 | 第 59 回つくば地域リハ・セミナー・第 22 回症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 髙島竜史 | 予期せぬ下肢の筋力低下を呈した患者に対して移乗動作の介助量の軽減を図った一症例 | 第 59 回つくば地域リハ・セミナー・第 22 回症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 篠田　翼 | 生活習慣を自主トレーニングにしたことで日中の活動量が向上した症例について | 茨城県理学療法士会第 3 回つくばブロック症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 篠崎圭佑 | 左片麻痺を呈した症例が自己吸引動作の再獲得に至るまで | 第 59 回つくば地域リハ・セミナー・第 22 回症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 坂口美佳 | 肺炎を併発した骨髄畏敬性症候群患者の緩和的段階における理学療法の効果 | 茨城県理学療法士会第 3 回つくばブロック症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 斎賀智美 | 脳卒中患者の農業復帰に向けた理学療法を経験して | 茨城県理学療法士会第 3 回つくばブロック症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 小林弘幸 | 脳梗塞発症後、上肢機能障害にに対し末梢神経電気刺激療法実施した一症例 | 第 59 回つくば地域リハ・セミナー・第 22 回症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 風見啓太 | 疼痛により離床に難渋した人工股関節全置換術後の症例を経験して | 第 59 回つくば地域リハ・セミナー・第 22 回症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 生方健一 | 高次脳機能障害を有する方の就労準備性獲得に向けた関わりを経験して | 第 59 回つくば地域リハ・セミナー・第 22 回症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 飯塚　陽 | 自宅退院した患者への電話によるフォローアップの試み | 回復期リハビリテーーション病棟協会第 27 回研究大会 in 沖縄 | 沖縄県 | 2016.3 |
| 秋元安澄 | 認知症により不穏症状が出現した症例を経験して～能動性・活動量に着目した介入～ | 第 59 回つくば地域リハ・セミナー・第 22 回症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |
| 会沢まどか | 終末期がんのリハビリテーションにおける理学療法の関わり～びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫患者に対する理学療法を経験して～ | 茨城県理学療法士会第 3 回つくばブロック症例検討会 | つくば市 | 2016.3 |

## 座長・パネリスト

| 座長・パネリスト名 | セッション名 | 学　会　名 | 開　催　地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 大沢　誠 | 運動器理学療法１ | 第 19 回茨城県理学療法士学会 | 土浦市 | 2015.7 |
| 内藤幾愛 | IADL・APDL ３ | リハビリテーション・ケア合同研究大会 2015 | 神戸市 | 2015.10 |
| 下田美由紀 | IADL・APDL １ | リハビリテーション・ケア合同研究大会 2015 | 神戸市 | 2015.10 |
| 武井千織 | 通所サービス | リハビリテーション・ケア合同研究大会 2015 | 神戸市 | 2015.10 |
| 山口可奈 | 通所サービス２ | リハビリテーション・ケア合同研究大会 2015 | 神戸市 | 2015.10 |
| 山倉敏之 | 認知症（口述発表） | 第８回茨城県作業療法士学会、第１回北関東甲信越ブロック学会 | 土浦市 | 2015.11 |

## 講師

| 講師名 | テーマ | 講演会名 | 開　催　地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 金森毅繁 | 臨床実習指導者の視点からみた学生とは | 臨床実習指導者Ⅰ特別講義（つくば国際大学主催） | 土浦市 | 2015.7 |
| 田中直樹 | 理学療法の研究方法論（EBPT を含む） | 第 15 回新人研修プログラム研修会（茨城県理学療法士会主催） | 阿見町 | 2015.8 |
| 内藤幾愛 | いま求められる患者安全～リハビリテーション中のインシデントの実際 | 第 178 回保健・医療・福祉に関する勉強会（日本プライマリ・ケア連合学会主催） | つくば市 | 2015.10 |
| 西野喜美子 | 当院における嚥下内視鏡検査（VE）の現状 | 第７回地域連携 PEG の会 | つくば市 | 2015.10 |
| 金森毅繁 | ケアプランに活かすリハビリテーションの視点 | つくば市介護支援専門職員連絡会定例会（つくば市主催） | つくば市 | 2015.11 |
| 金森毅繁 | 臨床実習指導者の視点からみた実習に臨む学生の心構えについて | 臨床実習指導者Ⅱ特別講義（つくば国際大学主催） | 土浦市 | 2015.11 |
| 西川浩子 | 小児の訪問リハビリテーション | 訪問看護専門分野研修（小児・重症心身障害児）（茨城県看護協会主催） | 水戸 | 2015.12 |
| 山倉敏之 | 第４回作業療法士のための職場マネジメント講座ー若年ビギナー職場リーダーはどう行動するべきか～ OT 職場リーダーの成長、組織論、人材育成について～ | 東京都作業療法士基礎研修（東京都作業療法士会主催） | 東京 | 2016.1 |

# 臨 床 検 査 科

**【総括】**

臨床検査科は、生理検査部門、病理・細胞診検査部門、検体検査部門の３部門に分かれる。新棟の増築と旧棟の解体により、病院の生理検査室、病理・細胞診室、解剖室の移転があった。

**１．人員構成及び人事**

臨床検査技師の人員構成は、各々、26 名（非常勤５名を含む）、３名、１１名である。但し、検体検査部門は委託しているため、当院の人員には含まれない。

4 月、主任２名が係長に任命された。新卒者２名が入職、11 月に非常勤１名が入職、12 月に常勤１名退職した。委託業者の人員は、２名がメンバー交代した。

**２．生理検査部門**

脳神経外科や整形外科による術中ＭＥＰ（運動誘発電位）の依頼が増加し、業務が軌道に乗った。11 月より、糖尿病指導の一環として、ＣＧＭ（持続血糖測定）の機器管理･解析を担当することになった。以上の業務を含め、生理検査件数に関しては、全体的に増加傾向にある。また、採血室では、医療安全管理室とともに採血デバイスの見直しを行い、セイフティ機構の付いた翼状針が導入された。

**３．病理・細胞診部門**

病理検査は外部委託しているが、必要があれば担当医に報告している。常勤病理医と連携し、迅速病理検査、病理解剖は施設内で実施している。臨床医からの検査結果問い合わせや報告書・標本の管理も行っている。細胞診検査は、全て院内実施（健診分も含む）し、増加傾向が継続している。

また、骨髄穿刺時の標本作成、染色、結果の管理などにも関与している。

**４．検体検査部門**

９月にＵＢＴ（尿素呼気試験）を院内実施し、外来患者は検査後結果を当日確認できるようになった。その他の検査項目に増減は無い。

インフルエンザ迅速検査は、今シーズンから、富士フィルムの検査機器を導入し、より迅速な報告が可能になった。

**５．認定資格の新規取得実績**

超音波検査士（腹部）　　１名

**６．2016 年度の目標**

＊血管診療技師、超音波検査士、細胞検査士の更なる取得を目指す。

＊術中 MEP に関わる人員の増員および教育を促進する。

＊ＣＧＭを含めた、糖尿病指導に関わり糖尿病指導士の資格取得を目指す。

＊院内勉強会の充実や、学会発表なども積極的に行っていく。

＊検体検査委託業者と伴に、新規検査項目の検討、実施を目指す。

［文責：大森美恵子］

【業務実績】

生理検査件数（筑波記念病院、筑波総合クリニック）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合　計 | 月平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 外来 ECG | 875 | 762 | 923 | 859 | 826 | 752 | 870 | 787 | 769 | 793 | 810 | 945 | 9,971 | 831 |
| 病棟 ECG | 156 | 141 | 191 | 174 | 143 | 160 | 191 | 198 | 178 | 210 | 195 | 246 | 2183 | 182 |
| 24ECG | 81 | 80 | 108 | 79 | 81 | 78 | 112 | 105 | 97 | 102 | 88 | 117 | 1,128 | 94 |
| TET | 8 | 13 | 10 | 14 | 13 | 10 | 15 | 13 | 6 | 15 | 13 | 19 | 149 | 12 |
| UCG | 346 | 344 | 413 | 408 | 326 | 372 | 407 | 382 | 404 | 414 | 410 | 446 | 4,672 | 389 |
| 下肢エコー | 23 | 32 | 49 | 49 | 34 | 34 | 39 | 38 | 34 | 35 | 30 | 47 | 444 | 37 |
| ABI | 56 | 43 | 48 | 64 | 56 | 67 | 78 | 69 | 61 | 76 | 84 | 97 | 799 | 67 |
| 肺活量 | 146 | 134 | 162 | 176 | 178 | 150 | 187 | 180 | 183 | 179 | 205 | 175 | 2,055 | 171 |
| 脳波※ | 56 | 68 | 89 | 89 | 68 | 79 | 74 | 77 | 76 | 70 | 72 | 80 | 898 | 75 |
| 伝速 | 5 | 5 | 4 | 10 | 5 | 2 | 5 | 1 | 9 | 7 | 5 | 7 | 65 | 5 |
| ＭＥＰ | 4 | 3 | 4 | 3 | 3 | 2 | 4 | 3 | 4 | 3 | 3 | 5 | 41 | 3 |
| SAS | 4 | 4 | 5 | 4 | 3 | 6 | 4 | 17 | 10 | 15 | 3 | 9 | 84 | 7 |
| UBT | 57 | 57 | 86 | 58 | 54 | 69 | 70 | 60 | 51 | 83 | 59 | 67 | 771 | 65 |
| CGM | − | − | − | − | − | − | − | 2 | 4 | 3 | 2 | 4 | 15 | 3 |

※つくばトータルヘルスプラザのドック件数を含む

病理・細胞診検査件数（筑波記念病院、筑波総合クリニック）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合　計 | 月平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 病理 | 255 | 217 | 259 | 285 | 280 | 258 | 341 | 276 | 334 | 298 | 314 | 325 | 3442 | 287 |
| 細胞診※ | 586 | 697 | 902 | 935 | 819 | 974 | 1048 | 932 | 894 | 910 | 1001 | 9698 | 10713 | 893 |
| 骨髄穿刺 | 27 | 21 | 15 | 24 | 17 | 23 | 24 | 22 | 22 | 21 | 30 | 20 | 266 | 22 |

※つくばトータルヘルスプラザのドック・健診件数を含む

【学会・講演・セミナー等】

| 発表者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開　催　地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 和田　英明 | 下肢機能と下肢静脈瘤（CVT として静脈疾患へのアプローチ | 地域医療連携公開講座 | 筑波記念病院 | 2015.10 |

# 臨 床 工 学 科

**【総括】**

技術提供における自己血回収業務、アブレーション業務は近年顕著に増加している。心臓カテーテル業務の治療（ＰＣＩ）では件数は減っているが、昨年が急増した為比較すると目立つがここ数年増加傾向にある。

生命維持管理装置管理においては補助循環法の一種であるＩＡＢＰ（大動脈バルーンパンピング法）は昨年に比較し減少している。また、人工呼吸器の使用頻度は近年減少傾向にある。

血液浄化業務は昨年が例年になく施行数が多かったので余計目立ってしまっているが、例年になく少なかった。

医療機器点検では明記した機器だけでなく、生命維持管理装置を含む多くの機器の点検を実施しているが、点検実施台数の多い機器を記載した。

勉強会はＳ棟完成に伴い病棟における診療体制の変更で今まで人工呼吸器管理が該当しなかった病棟も今後対応することになり、主に人工呼吸器についての内容が主体となった。今後もその時々に最も関心を持たれる医療機器に中心に全職種を対象とした勉強会を開催することを目標にしていく。

［文責：島田卓郎］



**【業務実績】**

**技術提供**

| | 2014 年 | 2015 年 |
|---|---|---|
| 開心術 | 64 件 | 60 件 |
| 人工心肺 | 52 件 | 58 件 |
| 自己血回収 | 196 件 | 254 件 |
| 心臓カテーテル検査 | 569 件 | 562 件 |
| 緊急心カテ※1 | 77 件 | 51 件 |
| PCI※2 | 228 件 | 184 件 |
| 緊急 PCI※1 | 49 件 | 28 件 |
| アブレーション | 64 件 | 73 件 |
| ペースメーカ植込み | 36 件 | 35 件 |
| ICD 植込み | 7 件 | 8 件 |
| CRT 植込み | 6 件 | 1 件 |

※１（緊急）は上位項目に含む
※２ PCI は心臓カテーテル検査に含む

**血液浄化施行実績**

| | 2014 年 | 2015 年 |
|---|---|---|
| 血液透析（HD） | 61 件 | 45 件 |
| 持続緩徐式血液濾過透析 | 111 件 | 47 件 |
| 血液浄化 | 48 件 | 32 件 |
| 合計 | 220 件 | 124 件 |

**生命維持管理装置管理実績**

| | 2014 年 | 2015 年 |
|---|---|---|
| VAD | 1 件 /21 日 | 0 件 /0 日 |
| IABP | 26 件 /99 日 | 16 件 /46 日 |
| PCPS | 9 件 /63 日 | 7 件 /10 日 |
| 人工呼吸器 | 1157 日 | 554 日 |
| ペースメーカ | 440 件 | 450 日 |
| ICD | 113 件 | 115 件 |
| CRT | 56 件 | 48 件 |

**医療機器点検**

| | 2014 年 | 2015 年 |
|---|---|---|
| シリンジポンプ | 256 台 | 192 台 |
| 輸液ポンプ | 329 台 | 296 台 |
| 除細動装置 | 3388 台 | 3798 台 |
| 人工透析装置 | 512 台 | 554 台 |
| 患者監視装置 | －台 | 3966 台 |

### 勉強会

| 開催日 | 項目 | 対象 | 講師 | 内容 |
|---|---|---|---|---|
| 1 月 | 患者監視装置 | 病棟 | 臨床工学科 | DS-7680　取扱説明 |
| 2 月 | CARTO3 システム | ME | J & J | CARTO3　取扱説明 |
| 4 月 | 患者監視装置 | 病棟 | 臨床工学科 | DS-7680 等　取扱説明 |
| 5 月 | 人工呼吸器 | 病棟 | 臨床工学科 | Servo i、V60　取扱説明 |
| 9 月　計 9 回 | 人工呼吸器 | 病棟 | 臨床工学科 | Servo i、V60　取扱説明 |

### 資格取得

| | |
|---|---|
| 体外循環技術認定士 | 2 名 |
| 人工心臓管理認定士 | 1 名 |
| 3 学会合同呼吸療法認定士 | 1 名 |
| 透析技術認定士 | 1 名 |

# 栄　養　科

**【総括】**

**1．2015 年度の実績報告**

管理栄養士が 4 月に新入職員として 4 名入職し、8 月に主任管理栄養士が退職、12 月に育児休暇の管理栄養士が復帰している。また 2.5 時間のパートとして管理栄養士が入職しており現在、9 名体制になっている。

栄養指導の実績件数が、前年度比 -3% と減少した。これは前年度末退職者がでたこと、新入職員の入職に伴い教育人員をさいた為と考えられる。

新規として行ったことは二つ、THP にて一部の人間ドック後の栄養指導を栄養科が受け持つこととなったことと、市販品だった嚥下食を手づくりにしコスト削減と患者の満足度向上につなげたことである。

栄養学教育への貢献として、栄養学臨地実習の受け入れを 11 月 2 名、2 月 2 名受け入れた。

**2．2016 年度の課題・目標**

2016 年度は 5 月に産休で休職する者 1 名いるが、8 月に育休から復帰する者 1 名もおり前年と変わらず 9 名体制となる。

今年度は診療報酬改定に伴い栄養指導の点数が新規 260 点、継続 200 点に増加することもあり件数の増加、また食事療養費の患者負担が 1 食につき 100 円増額になるが、病院の収益に変化はないため、提供する食事の満足度向上に努めたい。

栄養学教育への貢献は継続すると共に栄養科の質向上のため積極的に学会・セミナー等に参加、資格取得を目指す。

［文責：松浦史生］

**【業務実績】**

**栄養指導件数推移**

| | | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 |
|---|---|---|---|---|
| 病　　院 | 栄養指導（個人） | 297 | 381 | 415 |
| | 栄養指導（集団） | 0 | 6 | 9 |
| クリニック | 栄養指導（個人） | 528 | 863 | 790 |
| | 栄養指導（集団） | 38 | 62 | 58 |
| 栄養指導実施件数合計 | | 863 | 1312 | 1272 |
| T　H　P | ドック後の指導 | − | − | 269 |
| | 特定保健指導 | − | − | 37 |
| | スマートライフプログラム（集団） | − | − | 全 3 回×2 クール |

# 医療相談室

**【総括】**

2015年4月に1名退職し、2015年度は4名の社会福祉士を病棟毎に配置した。急性期2名、回復期1名、療養棟1名（療養棟担当者は急性期兼務）の体制で行った。前年度と比較すると2名減員となっており、1名にかかる患者数が増大したものの、MSW介入による退院者数は増加している。2015年度は新棟への移動に伴い、急性期の病床数が増加したことや、退院支援アセスメントにより早期に介入が必要な患者を抽出したことにより介入件数も増加したと考えられる。相談件数では、前年度同様退院調整が大半を占めているが、院外からの転院相談においても年々相談件数は増加している。前年度と比較して、医師を始めとする他職種の協力により転院受入れ人数が増加した。

また、2015年度は連携のある病院や施設へ定期的に訪問し、計15カ所の他機関の情報収集や顔の見える関係作りに努めた。MSW院内勉強会は年間10回開催し、成年後見制度、介護保険制度改正、ユマニチュード、相談援助職のコミュニケーションスキル、記録の書き方等、積極的に自己研鑽に取り組んだ。

2016年度の目標としては、退院支援加算1の算定を目指し、他職種と共同で3日以内のアセスメント、7日以内のカンファレンス開催に取り組み、退院支援が必要な患者を早期に抽出していくことに努めていく。また、介護支援連携指導料の算定増加を目指し、ケアマネージャーや介護保険サービス事業所との連携を深めていく。そのためには、前年度以上に地域の医療機関、施設への訪問や来訪の機会を作り、地域との関係を築くことで地域包括ケアシステムにおける当院の役割を示していきたいと考えている。

［文責：佐藤直子］

**【業務実績】**

**MSW介入による退院者数**

| | | |
|---|---|---|
| 総　数 | | 1095 |
| 内　訳 | 自　宅 | 704 |
| | 病　院 | 46 |
| | 施　設 | 163 |
| | 死　亡 | 182 |

**相談件数**

| | | |
|---|---|---|
| 総　数 | | 7828 |
| 内　訳 | 退院調整 | 6500 |
| | 転院相談 | 736 |
| | 医療費相談 | 43 |
| | 苦情 | 3 |
| | 外来・院外 | 443 |
| | 社会資源 | 103 |

**退院調整加算**

| | 診療点数 | 算定件数 |
|---|---|---|
| 急性期（～14日） | 340点 | 91 |
| 急性期（15～30日） | 150点 | 145 |
| 急性期（31日～） | 50点 | 135 |
| 慢性期（～30日） | 800点 | 1 |
| 慢性期（31～90日） | 600点 | 16 |
| 慢性期（91～120日） | 400点 | 7 |
| 慢性期（121日～） | 200点 | 27 |
| 介護支援連携指導料 | 300点 | 65 |

**入院依頼数**

| | | 総　数 | 受　入 | 断　り | キャンセル |
|---|---|---|---|---|---|
| 総　数 | | 327 | 80 | 119 | 128 |
| 内　訳 | 急性期 | 37 | 24 | 10 | 3 |
| | 回復期 | 231 | 50 | 89 | 92 |
| | 療養棟 | 59 | 6 | 20 | 33 |

# 臨　床　心　理

**【総括】**

臨床心理の業務内容については、これまで同様、心理検査業務・カウンセリング業務・メンタルヘルス業務が中心であった。2014年度末で1名が退職したため、4月に1名、5月に1名が入職し、計3名の常勤臨床心理士という新たな体制でのスタートとなった。しかしながら8月末から1名が数ヶ月の療養休暇、9月からは1名が出産・育児休暇に入ったため、9～12月までは実質1名での運営となった。結果として、全体の心理検査やカウンセリングの実施件数は昨年度に比べ減少することとなった。

心理検査については、小児科依頼の知能検査および発達検査の実施件数が増加している。またもの忘れ外来からの依頼による認知症検査ADASの実施も増えており、検査実施数の約60%とかなりの割合を占めている。認知症検査は今後特に依頼が増えていくものと思われるので、確実に対応できるようにしていきたいと考えている。一方精神科依頼の人格検査の実施数は減少しており、これについても依頼に応じられるような体制づくりを目指していきたい。

カウンセリング業務は、つくばトータルヘルスプラザでの実施のほか病棟からの依頼で実施したケースもあるが、双方とも新規ケースの数は昨年度と大差はないものの、継続してのかかわりは減少する結果となった。

メンタルヘルス業務については､相談対応数はかなり減少したが「こころの相談室だより」を見て申し込んだとか、上司に勧められて申し込んだといったケースもあり、メンタルヘルス業務の認知はより定着してきたように思われる。また、看護部・リハビリテーション部ともに引き続き研修の依頼があり、より現場職員のニーズに応じた内容にできるよう担当者と協議しながら工夫を重ねて行った。

すべての業務領域について拡充を図るという年度当初の目標 は、人的資源の不足もあり、残念ながら達成できたとは言いがたい状況となった。しかしながら新たな心理検査を実施できるようになったことや、また認知症検査の実施件数が増加したことなどはある程度評価できるものと思われる。2016年度は各科からの依頼に迅速に幅広く応じられるよう体制を整えるとともに、各自がスキルアップを図り、実績を上げていけるよう努めていきたい。

［文責：後藤麻紀］

【業務実績】

## 心理検査

| | | | |
|---|---|---|---|
| 病院・クリニック | 発達及び知能検査 | WAIS- Ⅲ成人知能検査 | 5 |
| | | WISC- Ⅲ知能検査 | 19 |
| | | 全訂版田中ビネー知能検査 | 3 |
| | | 新版 K 式発達検査 2001 | 4 |
| | | JART | 1 |
| | 人格検査 | ロールシャッハテスト | 5 |
| | | バウムテスト | 5 |
| | | SCT | 5 |
| | | Y-G 矢田部ギルフォード性格検査 | 0 |
| | 認知機能検査その他の心理検査 | ADAS | 234 |
| | | WMS-R | 2 |
| | | リバーミード行動記憶検査 | 0 |
| | | 改訂長谷川式簡易知能評価スケール | 31 |
| | | MMSE | 31 |
| | | かなひろいテスト | 26 |
| | | BADS 遂行機能障害症候群の行動評価 | 2 |
| | | 三宅式記銘力検査 | 1 |
| | 小計 | | 374 |
| 病棟 | 総合機能評価・二次評価 | | 0 |
| | 小計 | | 0 |
| THP | 神経心理検査 | | 593 |
| | 小計 | | 593 |
| 合計 | | | 967 |

## カウンセリング

| | | |
|---|---|---|
| THP | 初回 | 21 |
| | 継続 | 146 |
| | 小計 | 167 |
| 病棟 | 初回 | 3 |
| | 継続 | 5 |
| | 小計 | 8 |
| 合計 | | 175 |

## メンタルヘルス

| | | |
|---|---|---|
| 相談対応 | 初回 | 5 |
| | 継続 | 13 |
| | 小計 | 18 |
| その他 | 連携など | 9 |
| | こころの相談室だより発行 | 6 |
| | 小計 | 15 |
| 合計 | | 33 |

### 院内研修

| 種別 | 研修名 | 開催年月 |
|---|---|---|
| 看護部研修 | ストレスマネジメント研修１ | 2015.8.4 |
| | ストレスマネジメント研修２ | 2016.1.22 |
| 看護部ライン研修 | スタッフのメンタルヘルス不調のサインに気づくために | 2015.6.24 |
| リハビリテーション部研修 | 自己理解とコミュニケーションへの応用 | 2015.5.13、6.10 |
| | ラインケアの対応方法（具体的例をあげて） | 2015.6.17、7.8 |
| | メンタルヘルスケア概論 | 2015.7.17、7.24、8.5 |

# 地域医療連携部

**【総括】**

2015年度も前年度に引き続き、紹介率・逆紹介率を維持する為、地域医療機関からの紹介患者の受け入れと逆紹介患者をより増やすよう、医師や看護師など各部署に周知及び協力を行い、病院全体で取り組んだ。

公開講座や研修会等も、外部より多数参加されるような内容を考え定期的に開催した。また、公開講座や研修会等の開催案内を定期的に送ることで地域医療機関にも周知されるようになり、新たな外部参加者が増えている。

現在、来年度の医療費改定に向け医師、看護師、MSW、リハビリなど他部署と「地域連携患者サポートセンター」を立ち上げている。それにより今後は、紹介患者の受け入から治療、治療後は紹介元医療機関や施設へ紹介または在宅へ、再度急変時はスムーズに受け入れる体制をめざしている。

2015年度は登録医を9名増員。

来年度も紹介率・逆紹介率の維持、公開講座や研修会の充実、登録医の増員を積極的に取り組んで行きたい。

［文責：生井共和］



**【業務実績】**

**地域医療支援病院 紹介率（%）**

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 月平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 77.7 | 77.3 | 77.0 | 75.4 | 77.2 | 77.7 | 73.5 | 73.7 | 75.4 | 77.2 | 74.6 | 74.5 | 75.9 |

**地域医療支援病院 逆紹介率（%）**

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 月平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 41.7 | 56.8 | 55.6 | 48.4 | 40.4 | 44.7 | 44.9 | 53.5 | 64.9 | 53.5 | 42.3 | 59.3 | 50.5 |

**紹介患者数（筑波記念病院）**

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年合計 | 月平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 初診紹介数 | 100 | 91 | 106 | 102 | 106 | 103 | 130 | 107 | 100 | 122 | 148 | 135 | 1,350 | 113 |
| （外　来） | 68 | 53 | 75 | 72 | 76 | 67 | 86 | 66 | 64 | 68 | 92 | 95 | 882 | 74 |
| （入　院） | 32 | 38 | 31 | 30 | 30 | 36 | 44 | 41 | 36 | 54 | 56 | 40 | 468 | 39 |
| 再診紹介数 | 42 | 19 | 36 | 38 | 43 | 41 | 53 | 33 | 52 | 41 | 49 | 41 | 488 | 41 |
| （外　来） | 24 | 6 | 17 | 23 | 26 | 26 | 28 | 20 | 33 | 25 | 28 | 30 | 286 | 24 |
| （入　院） | 18 | 13 | 19 | 15 | 17 | 15 | 25 | 13 | 19 | 16 | 21 | 11 | 202 | 17 |
| 紹介状総数 | 142 | 110 | 142 | 140 | 149 | 144 | 183 | 140 | 152 | 163 | 197 | 176 | 1,838 | 153 |
| 初診割合（%） | 70.4 | 82.7 | 74.6 | 72.9 | 71.1 | 71.5 | 71.0 | 76.4 | 65.8 | 74.8 | 75.1 | 76.7 | | 74 |

**逆紹介算定数（筑波記念病院）**

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年合計 | 月平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 153 | 150 | 167 | 164 | 163 | 152 | 168 | 165 | 194 | 164 | 169 | 223 | 2,032 | 169.3 |

## 【当院登録医医療機関一覧】

### つくば市医師会（順不同）

| | | |
|---|---|---|
| あおやぎ医院 | 研究学園いいむら耳鼻咽喉科 | 中川医院 |
| あつしクリニック | 研究学園クリニック | 長沢眼科 |
| 天貝整形外科クリニック | こだま在宅クリニック | なかざわクリニック |
| ありま皮膚科クリニック | コミュニティクリニック・つくば | 成島クリニック |
| 飯岡医院 | 坂根Ｍクリニック | 二の宮越智クリニック |
| 飯田医院 | 酒寄医院 | 根本クリニック |
| 飯村医院 | さとうクリニック | のぐち内科クリニック |
| 池野医院 | 柴原医院 | のむら耳鼻咽喉科クリニック |
| いしかわ耳鼻咽喉科クリニック | 耳鼻咽喉科　学園の森クリニック | 花クリニック　南大通り |
| うえの整形外科 | 渋谷クリニック | 林医院 |
| 江原こどもクリニック | 清水こどもクリニック | ひがし外科内科医院 |
| 太田医院 | 仁愛内科医院 | ヒルトップクリニック |
| 大野医院 | 杉谷メディカルクリニック | 広瀬医院 |
| 大穂皮膚科クリニック | すぎやま内科皮フ科クリニック | 広瀬クリニック |
| 大見クリニック | 鈴木医院 | 北條医院 |
| 岡野産婦人科 | 高田眼科 | ホームオン・クリニックつくば |
| 岡野整形外科・内科クリニック | 高田整形外科 | ほりかわクリニック |
| 小倉医院 | 竹園ファミリークリニック | 緑クリニック医院 |
| 小田内科クリニック | つくば在宅クリニック | みなのクリニック内科呼吸器科 |
| 樫村内科消化器科クリニック | つくばシティアすえひろ眼科 | 南大通りクリニック |
| かつらぎクリニック | つくばシティア内科クリニック | 宮川内科・胃腸科医院 |
| 加納医院 | つくばシティアビル皮フ科 | 宮本内科クリニック |
| 川井クリニック | つくばセンタークリニック | みらい平クリニック |
| 菊池内科クリニック | つくばねむりとこころのクリニック | 山中医院 |
| 木村クリニック | 寺崎クリニック | 渡辺内科クリニック |
| 串田医院 | 東郷医院 | |
| 倉田内科クリニック | 東光台内科胃腸科クリニック | |

### 真壁医師会（順不同）

| | | |
|---|---|---|
| 明野中央医院 | 坂入医院 | 野中医院 |
| 阿部田医院 | 砂沼湖畔クリニック | 秀村医院 |
| 飯田医院 | 下條整形外科 | 古橋医院 |
| 大塚医院 | 田崎内科医院 | 古橋耳鼻咽喉科医院 |
| 落合医院 | つくし野クリニック | 松岡整形外科 |
| 介護老人保健施設マカベシルバートピア | とやまクリニック | 三津山クリニック |
| かくらいクリニック | 長倉内科・外科クリニック | 宮本医院 |
| 菊山医院 | なかはら整形外科医院 | 山口医院 |
| 菊山胃腸科外科医院 | 中山医院 | 横瀬医院 |
| 幸坂内科クリニック | 仁保内科医院 | 渡辺クリニック |
| ごとうクリニック | 根本医院 | |

### きぬ医師会（順不同）

| | | |
|---|---|---|
| 荒川医院 | しば医院 | 中島医科歯科クリニック |
| いとう内科胃腸科医院 | 耳鼻咽喉科染野クリニック | ふなやま内科クリニック |
| 大塚クリニック | 常総メディカル | みぞぐちクリニック |
| 岡本医院 | 須澤醫院 | 横瀬医院 |
| 桜橋クリニック | 鈴木内科整形外科医院 | |

（2016 年 3 月 31 日現在）

# 委　員　会

## 運営会議

### Ⅰ．目的及び機能

病院事業の施策、計画及び運営に関することについて協議、検討を行う。また、医療安全・感染対策・医師研修等の確保と推進を図ることを目的とし、それらに係わる委員会を統括する。

### Ⅱ．会議構成員

◎議長：長澤 俊郎

| 部　門 | 人　数 | 部　門 | 人　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 7 | 薬剤部 | 1 |
| 看護部 | 1 | リハビリ部 | 1 |
| 医療安全推進室 | 1 | クリニック | 3 |
| 感染管理室 | 1 | 本部・事務部 | 6 |

### Ⅲ．会議　開催回数

12 回

### Ⅳ．会議内容

・医療安全委員会、リスクマネージャー部会の報告
・感染対策委員会、感染症対策チーム部会の報告
・研修管理委員会、臨床研修委員会の報告
・診療情報等の検討

［文責：長澤俊郎］

## 診療協議会

### Ⅰ．目的及び機能

医事・地域医療連携に係る情報の共有、評価、分析を行うとともに、診療の質向上につながる取組に関して検討し実践することを目的とする。

## Ⅱ．会議構成員

◎議長：長澤 俊郎

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 19 | 臨床工学科 | 1 |
| 看護部 | 2 | 臨床検査科 | 1 |
| 医療安全管理者 | 1 | 栄養部 | 1 |
| 薬剤部 | 1 | クリニック | 3 |
| 放射線部 | 1 | 本部・事務部 | 8 |
| 地域医療連携部 | 1 | | |

## Ⅲ．会議　開催回数

12 回

## Ⅳ．協議事項

・医事報告

・地域医療連携報告

・診療に係わる問題の事例について検討

［文責：長澤俊郎］



# 倫　理　委　員　会

## Ⅰ．目的及び機能

筑波記念病院及びその職員が行う臨床研究及び職域内の規制等について、ヘルシンキ宣言の趣旨に沿って審議し、倫理的配慮を図ることを目的とする。

## Ⅱ．委員構成

◎委員長：柏木 平八郎

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 9※ | 薬剤部 | 1 |
| 看護部 | 1 | 本部・事務部 | 1 |

※医局からの委員に病院長が含まれるが、病院長は採決評議には参加できない。

## Ⅲ．開催回数（2015 年 8 月～ 2016 年 3 月）

6 回

## Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.8.25 | 1）　本邦における慢性完全閉塞に対する心血管インターベンションの実態調査 :Retrograde Summit General Registry |
| 2015.10.6 | 1）　慢性心房細動に対する先端外科治療としての完全内視鏡下左心耳切除術（Wolf-Ohtsuka Ⅱ法） |

| | |
|---|---|
| 2015.11.10 | 1） 大腸憩室出血に対する留置スネアを用いた内視鏡的止血術の有効性の研究実施計画書<br>2） 新人看護師支援体制がクリニカルラダー到達目標の達成度に及ぼす影響<br>－プリセプターシップとチーム支援型の併用を試みて－ |
| 2016.2.2 | 1） 全国肺癌登録調査：2010 年肺癌手術症例に対する登録研究<br>2） 虚血性心疾患における心室細動アブレーション後の心室頻拍化<br>3） Japan Atherosclerosis Society Cohort Study　脂質異常症を合併した一次予防患者における動脈硬化性疾患発症に関する観察研究 |
| 2016.3.1 | 1） 身体抑制に関する説明書・同意書<br>2） 終末期における医療についての説明書・意志決定書<br>3） 急変時の対応（延命処置行為）についての説明書・意志決定書 |
| 随時 | 委員長は看護師倫理教育について、随時看護部教育担当者と協議し、<br>日常の看護業務における実践的倫理感向上に留意している。 |

### Ⅴ．他活動内容

| | |
|---|---|
| 2015.4 | 新入職員対象講義（委員長）<br>講義『医療倫理―個人、組織、社会の問題を考える』 |

［文責：柏木平八郎］



## 治験審査委員会

### Ⅰ．目的及び機能

委員会は、審査の対象とされる治験が倫理的及び科学的に妥当であるか否か、その他当該治験を実施することが適当であるか否かを審査する。

実施中の治験においては、治験を継続して行うことの適否について審査する。

また、委員会は、GCP 省令及び答申 GCP の掲げる「治験の原則」を尊重し、すべての被験者の人権、安全及び福祉を保護し、社会的に弱い立場にあるものを被験者にする可能性のある治験の場合には、特に注意を払わなければならない。

### Ⅱ．委員構成

◎委員長：小林 栄喜

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 2 | 筑波総合クリニック | 1 |
| 看護部 | 1 | 本部・事務部 | 2 |
| 薬剤部 | 2 | 外部委員 | 2 |

### Ⅲ．開催回数

０回

### Ⅳ．協議事項

今年度、治験審査案件なしのため委員会開催なし

［文責：小林栄喜］

# 医療安全管理委員会

## Ⅰ．目的及び機能

筑波記念病院における、医療に係る医療安全管理体制の確保、及び推進を図るため、医療安全管理委員会を設置する。

## Ⅱ．委員構成

◎委員長：神山 幸一（平成 27 年 10 月～）

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医師 | 4 | 看護部 | 1 |
| 事務 | 1 | 臨床工学技士 | 1 |
| 薬剤師 | 1 | 医療安全推進室 | 1 |

## Ⅲ．開催回数

12 回

## Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| ４月22日 | 年間研修計画案審議承認　院内緊急ｃａｌｌ開始　看護師静注禁止薬剤表改訂承認 |
| ５月27日 | ６月全職員対象安全研修「医療事故調査制度」 アレルギー誤入力事例と改善策 |
| ６月24日 | 防護サック付き翼状針導入審議承認　Ｓ棟引っ越し後のリハビリ室救急体制案承認 |
| ７月29日 | 医療機器に係る安全管理業務手順書審議承認 |
| ８月26日 | セボフルラン吸入麻酔薬の破裂事故調査報告審議 |
| ９月30日 | 栄養部新配膳車による温冷蔵入れ間違い事故と改善報告 |
| 10月28日 | 医療事故防止マニュアル改訂計画。リハビリ室の救急対応エリア改善策案審議承認 |
| 11月25日 | 保健所立ち入り結果報告承認　後期医療安全管理研修報告審議承認 |
| 12月25日 | 転倒転落対策チーム立ち上げ案審議承認　小児リハビリ中の骨折事例報告と改善策審議承認 |
| １月27日 | 筑波記念病院における医療に起因する予期せぬ死亡事故発生時対応案審議承認 |
| ２月24日 | 医療安全ポケットマニュアル案審議承認　当院の「パニック値」報告案審議承認 |
| ３月30日 | 医療事故防止マニュアル改訂案承認　平成 28 年度医療安全研修計画案審議承認 |

## Ⅴ．主な活動内容

・医療事故防止対策、医療事故防止マニュアルの審議、整備
・医療事故の分析及び再発防止策の検討に関すること
・医療事故防止のために行う職員に対する指示、及び啓発、教育、広報に関すること
・医療事故防止のために行う院長等に対する提言に関すること
・医療訴訟に関すること

［文責：神山幸一］

# リスクマネージャー部会

## Ⅰ．目的及び機能

医療安全管理委員会規程に基づき、リスクマネージャー部会を設置し、医療安全管理委員会からの連絡や各部署で発生した問題事象の報告について、より実効性のある医療安全対策が実施できる体制を整備するために意見交換等を行い、事故防止対策を図る。

## Ⅱ．委員構成

◎委員長：神山 幸一

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 2 | 臨床工学科 | 1 |
| 薬剤部 | 1 | 放射線部 | 1 |
| 看護部 | 18 | 臨床検査科 | 2 |
| リハビリテーション部 | 2 | 栄養科 | 2 |
| 事務部 | 1 | | |

## Ⅲ．開催回数

12 回

## Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| ４月21日 | 年間研修計画案審議承認。院内緊急ｃａｌｌ開始。看護師静注禁止薬剤表改訂承認 |
| ５月26日 | ６月全職員対象安全研修「医療事故調査制度」。アレルギー誤入力事例と改善策 |
| ６月23日 | 防護サック付き翼状針の導入審議承認　Ｓ棟引っ越し後のリハビリ室救急体制案協議 |
| ７月28日 | 医療機器に係る安全管理業務手順書審議承認 |
| ８月25日 | セボフルラン吸入麻酔薬の破裂事故調査報告 |
| ９月15日 | 栄養部新配膳車による温冷蔵入れ間違い事例と改善報告審議承認 |
| 10月27日 | 医療事故防止マニュアル改訂計画　リハビリ室の救急対応エリアの改善策案報告 |
| 11月24日 | 保健所立ち入り結果報告承認　後期医療安全管理研修案報告 |
| 12月15日 | 転倒転落対策チーム立ち上げ案審議承認。小児リハビリ中の骨折事例報告と改善策協議承認 |
| １月26日 | 当院における医療に起因する予期せぬ死亡発生時対応案の検討と承認 |
| ２月23日 | 医療安全ポケットマニュアル案審議承認。当院の「パニック値」報告について協議 |
| ３月22日 | 医療事故防止マニュアル改訂報告承認　平成 28 年度医療安全研修計画案協議承認 |

## Ⅴ．主な活動内容

・インシデント・アクシデント報告。発生した事例報告の分析、対応策を討議
・日本医療機能評価機構ニュース　院内医療安全ニュース報告
・リスクマネージャーによる院内安全ラウンド
・職員対象医療安全研修の開催
・医療事故防止対策、医療事故防止マニュアルの検討と作成
・医療事故防止のための議題について医療安全管理委員会に提言すること

## Ⅵ. 実績

### ⅰ）医療安全研修開催

| 実　施　日 | 対　象 | 内　容 | 参加人数 |
|---|---|---|---|
| 3 月 31 日 | 新入職者 | 医療安全講話 | 69 名 |
| 5 月 18 日 | 新入職者　多職種 | 医療安全報告システムの紹介<br>実例に学ぶ針刺し事故防止対策 | 75 名 |
| 6 月 2 日・16 日 | 新入職看護師 | フォーリーカテーテルの基礎知識と適切な管理方法 | 41 名 |
| 6 月 1 日・4 日・8 日・15 日<br>（DVD）22・23・24・25・26 | 全職員 | 前期・医療安全管理研修 | 1049 名<br>受講率 95,7% |
| 7 月 13 日 | 新入職看護師 | 注射・輸血における<br>セーフティーマネジメント | 47 名 |
| 9 月 10 日 | 新入職者　多職種 | 医療廃棄物の分類方法<br>正しい検体採取と取扱い | 49 名 |
| 10 月 16 日 | 多職種 | 当院における医療安全への取組み<br>～ JCI 国際患者安全目標を中心として～ | 40 名 |
| 11 月 11 日 | 多職種 | 放射線の知識・医療機器の電気と安全 | 38 名 |
| 11 月 26 日 | 多職種 | 患者満足度向上とクレーム処理 | 28 名 |
| 11 月 30 日<br>12 月 3 日・7 日・10 日<br>（DVD）14・15・16・17・18 | 全職員 | 後期・医療安全管理研修 | 1046 名<br>受講率 99,7% |

### ⅱ）広報活動・医療安全ニュース発行　年 12 回発行

### ⅲ）院外講師

・茨城県立岩瀬高校専攻科衛生看護科　看護の統合と実践「医療安全」授業　6 月 11 日～ 7 月 9 日
　医療安全管理者　久保田静子

・茨城県看護教育財団　地域看護職員再就業支援事業 「医療安全」講義　8 月 19 日
　医療安全管理者　久保田静子

［文責：神山幸一］

# 感染対策委員会

## Ⅰ．目的及び機能

院内における病原性微生物の感染を防止するための活動の大綱を定め、院内感染管理の万全を期することを目的とする。

病院長の諮問機関として、病院長からの諮問事項、感染対策上の問題点、緊急的検討事項、疫学的集計結果などを検討する委員会で、病院として行うべき感染対策上の政策を病院長に答申する、感染対策に関する意思決定機関である。

## Ⅱ．委員構成

◎委員長：右田 琢生

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 病院長 | 1 | 薬剤部長 | 1 |
| 副院長 | 2 | 検査科長 | 1 |
| 看護部長 | 1 | 感染管理認定看護師 | 1 |
| 事務長 | 1 | | |

## Ⅲ．開催回数

12 回

## Ⅳ．協議事項

＊感染対策チーム会議の報告、および審議である

| | |
|---|---|
| 2015.4.22 | 感染対策加算１取得の報告<br>連携施設：大圃病院、筑西市民病院<br>結核発生時のマニュアル改訂、感染症法の一覧表の配布 |
| 2015.5.27 | Ｂ型ワクチン接種対象者の抽出、自己負担での接種決定 |
| 2015.6.24 | 感染防止対策加算に係る合同カンファレンスの報告<br>中東呼吸器症候群（MERS）に関する受け入れ体制について |
| 2015.7.29 | 入院患者からのO157迅速とベロ毒素陽性、培養陰性の報告（保健所報告対象外）<br>Ｂ型ワクチンを6月、7月、11月の3回接種で1クール実施<br>結核発生時の検査室からの報告体制フローシートの承認 |
| 2015.8.26 | 9月より感染防止対策地域連携加算の取得<br>連携施設：筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター、国立霞ヶ浦医療センター<br>BCP事業継続計画承認と院内LANへの掲載<br>エボラ出血熱、中東呼吸器症候群（MERS）に関するポスターの撤去 |
| 2015.9.30 | 10月より段ボール型感染性廃棄物容器の導入<br>ミラフィス環境培養の報告<br>保健所からのお知らせ：手足口病と梅毒報告数の増加 |
| 2015.10.28 | 富士フイルム社のインフルエンザ迅速キットの導入と配布<br>針刺し事故時の対応マニュアル改訂、承認 |
| 2015.11.26 | 地域連携加算における相互チェックの報告<br>針刺しサーベイランスの報告を医療安全から感染対策で行う。<br>エピネット日本版報告書の改訂の承認を得た<br>Ｂ型ワクチン接種の中止、インフルエンザワクチン接種の報告<br>インフルエンザ・ノロウイルス予防ポスターの配布<br>保健所立ち入りの報告：麻疹などの抗体価の把握が必要<br>吸引チューブの単回使用の承認を得た |

| | |
|---|---|
| 2015.12.25 | 手指衛生サーベイランスの提示<br>薬剤温度管理表の作成と配布<br>インフルエンザ・感染性胃腸炎報告書の改訂<br>来年度の職員健康診断にて流行性ウイルス疾患抗体価測定を行うことの承認を得た（費用は自己負担） |
| 2016.1.27 | 報告体制のマニュアル改訂と承認を得る<br>耐性菌検出時、起因菌の有無を確認し、報告書提出の承認を得る<br>抗菌薬感受性検査の見直し、追加薬剤の承認、アンチバイオグラムの作成を行う |
| 2016.2.24 | インフルエンザアウトブレイク報告 |
| 2016.3.30 | 病院における病原体分離菌集計グラフの提示<br>ジカウイルス感染症が４類感染症指定となり、情報提供行う<br>インフルエンザ流行指数が10以下となリ次第、面会制限の解除を行う<br>感染症委員会、感染対策チーム会、感染管理室運営規約の提示をした |

［文責：右田琢生］



# 感染対策チーム会

## Ⅰ．目的及び機能

病院運営上日常的な感染症に関わる業務を協議、担当する。感染対策チーム（以下 ICT）の活動内容は感染対策委員会（以下 ICC）に定期的に報告されるとともに、ICC は ICT の活動内容を担保する。

## Ⅱ．委員構成

◎委員長：右田 琢生

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 3 | 栄養科 | 1 |
| 看護部 | 19 | 臨床工学科 | 1 |
| 薬剤部 | 1 | 事務部 | 2 |
| 検査科 | 2 | 用度課 | 1 |
| リハビリテーション部 | 3 | 医療安全推進室 | 1 |
| 放射線科 | 1 | 清掃業者 | 1 |
| 医事課 | 1 | | |

## Ⅲ．開催回数

12 回

## Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.4.14 | MRSA17例と検出数の増加あり、注意喚起<br>ICTラウンド場所の追加：リハビリ室、クリニック、ケアセンター<br>4月より感染防止対策加算１取得の報告<br>結核発生時のマニュアル改訂<br>Ｂ型肝炎ワクチン対象者の抽出　約288名 |
| 2015.5.12 | インフルエンザ患者未だ発生あり<br>結核発生した場合の報告体制の見直し |

| | |
|---|---|
| 2015.6.9 | MRSA7例と減少しているが、CDトキシンが10例と増加している<br>感染防止対策加算２の施設との合同カンファレンスの報告<br>実習生への感染症検査の取り決め：IGRAは必須でなく、レントゲン検査を行う<br>第20回茨城感染対策研究会への座長およびパネラー参加の報告<br>Ｂ型ワクチン接種6月に1回目、7月に2回目、11月接種の決定<br>中東呼吸器症候群（MERS）の情報提供 |
| 2015.6.19<br>緊急会議 | 中東呼吸器症候群（MERS）の情報提供：6月18日つくば保健所での会議報告<br>韓国からの渡航者への対応について |
| 2015.7.14 | アシネトバクター属6例検出あり<br>食中毒の注意喚起<br>（入院患者に0157迅速とベロ毒素陽性、培養陰性検出あり、保健所報告対象外）<br>設置型アルコール消毒薬の使用期限の変更（3ヶ月→6ヶ月）<br>中東呼吸器症候群（MERS）のトリアージ、診察方法の提示<br>検査室からの結核報告体制の改訂 |
| 2015.8.11 | CDトキシン減少<br>8月はS棟への移転に伴いラウンドは中止とした<br>合同カンファレンスの報告<br>BCP事業継続計画作成、院内LANのファイル管理に掲載した<br>エボラ出血熱、中東呼吸器症候群関連のポスターの掲示終了とした |
| 2015.9.8 | 病原体サーベイランスは横ばい<br>筑波大学附属病院における合同カンファレンス出席の報告<br>（手足口病、梅毒の報告数の増加あるとの保健所からのお知らせあり）<br>HBV抗体陰性者の針刺し対応の情報提供、マニュアル修正<br>HIV陽性患者への対応<br>インフルエンザ迅速キットの導入（富士フイルム社） |
| 2015.10.13 | ICTラウンド：軟膏開封時に日付記載することを決定（期限は6ヶ月）<br>職員へのインフルエンザワクチン接種は自己負担が決定。Ｂ型ワクチンと同時接種予定<br>ミラフィス環境培養結果報告、清掃管理の報告<br>10月より段ボール型医療廃棄物容器の導入 |
| 2015.11.10 | MRSA、CDトキシンの減少<br>筑波大学付属病院による相互チェックの報告<br>（清潔不潔ゾーンの分類、麻疹等の抗体価測定の義務付け、点滴ワゴン下の感染性廃棄物の設置方法、などの指摘あり）<br>大圃病院、筑西市民病院との合同カンファレンス報告<br>針刺し事故時マニュアル改訂<br>11月のHBワクチン接種の中止（ワクチン入荷困難のため）<br>11月2・4・6日の3日間でインフルエンザワクチン接種の実施<br>インフルエンザとノロウイルス予防のポスター掲示<br>疥癬報告 |
| 2015.12.8 | MRSA増加<br>保健所立ち入り報告<br>筑波大学附属病院における合同カンファレンスへの参加報告<br>手指衛生サーベイランス報告：アルコール払出量の提示<br>針刺し報告書（エピネット日本版）の改訂と配布<br>薬剤管理表の作成、チェック用紙の配布<br>インフルエンザ・感染性胃腸炎報告書の改訂<br>流行性ウイルス疾患（麻疹・風疹等）の抗体価測定把握の提案 |
| 2016.1.12 | 筑波大学付属病院への相互チェックの報告<br>手指衛生サーベイランス：1患者あたりの使用量の提示<br>報告体制のマニュアル改訂配布<br>結核報告 |
| 2016.2.9 | インフルエンザアウトブレイク報告（筑波総合クリニック、筑波記念病院）<br>耐性菌報告時の主治医への起因菌の確認と報告書の改訂<br>ICTニュースの発行お知らせ |
| 2016.3.8 | 病院における分離菌の提示<br>インフルエンザ流行曲線の提示と報告<br>手指衛生サーベイランス<br>（病棟の払出量は増加しているが、事務職員やコメディカルの払い出しは少ない） |

## Ⅴ．他活動内容

1．感染防止対策加算に係る年４回の合同カンファレンスへオブザーバーとして参加

開催日　：6月4日（木）、9月3日（木）、12月3日（木）、3月3日（木）

参加施設：筑波大学付属病院、取手北相馬保険医療センター医師会病院、守谷慶友病院、筑波学園病院

参加者　：右田医師、佐藤医師、星感染管理担当者、富田看護師、渥美薬剤師、大森検査技師

2．感染防止対策加算１に係る感染防止対策加算２の施設との合同カンファレンス

開催日　：5月29日（金）、7月31日（金）、10月30日（金）、2月12日（金）

参加施設：大圃病院、筑西市民病院

参加者　：右田医師、佐藤医師、星感染管理担当者、富田看護師、渥美薬剤師、大森検査技師

3．感染防止対策加算地域連携加算に係る相互チェック

連携施設：筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、国立霞ヶ浦医療センターの三施設

今年度は筑波大学附属病院との相互チェック（ラウンド）の実施

開催日　：10 月 29 日（木）　筑波記念病院のラウンドと評価

12 月 18 日（金）　筑波大学附属病院へのラウンドと評価

4．院内ラウンド

１）２）の合計：ラウンド回数　42 回、ラウンド人数　207 名

１）週１回の ICT ラウンドの実施

全病棟、手術室、救急外来に加え、今年度よりリハビリ室、クリニック、ケアセンターへのラウンドを実施した。

ラウンド回数：40 回

ラウンド人数：174 名

２）看護部院内ラウンドの実施

ラウンド回数：２回

ラウンド人数：33 名

・７月　手指衛生ラウンド：ラウンド人数　17 名

・12 月　点滴処置台、医療廃棄物ラウンド：ラウンド人数　16 名

5．従業員に対する研修

| 実　施　日 | 対　象　者 | 内　　容 | 参加人数 |
|---|---|---|---|
| 2014.4.1 | 新入職員 | 感染症対策 | 71 名 |
| 2014.4.7 | 新入職員（看護師） | 感染予防　現場ですぐに実践するために | 48 名 |
| 2014.6.1、6.4、6.8、6.15 | 全職員 | 前期医療安全管理研修：感染部門<br>医療従事者のワクチン接種 | 1,049 名<br>（受講率 95.7%） |
| 2014.6.9 | 看護師ラダーⅤ | リーダーシップにおける感染管理活動 | 25 名 |
| 2014.7.23、7.24、7.31 | 看護師、介護士昇格者 | 感染対策と看護管理 | 8 名 |
| 2014.7.24 | 老人保健施設<br>看護師、介護士、リハビリ | 高齢者施設での感染対策 | 30 名 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 2014.9.10 | 全職員希望者 | 医療廃棄物の取り扱い、検体採取の方法 | 49 名 |
| 2014.10.6 | 看護師ラダーⅡ | 自分と患者を守る感染対策 | 21 名 |
| 2014.11.17 | 看護師ラダーⅣ | 患者を守る感染対策（医療器具関連） | 14 名 |
| 2014.11.30、12.3、12.7、12.10 | 全職員 | 後期医療安全管理研修：感染部門<br>ノロウイルスについて | 1,046 名<br>（受講率 99.7%） |
| 2015.3.3 | 看護師ラダーⅤ | キャリア開発 | 16 名 |

6．サーベイランスの実施

厚生労働省院内感染対策サーベイランス（JANIS）の全入院患者部門、手術部位感染（SSI）部門、集中治療室（ICU）部門に参加している。

7．感染症検出率

検出率＝感染症患者数／総入院患者数× 100

| | MRSA | MDRP | クロストリジウム・ディフィシル |
|---|---|---|---|
| 感染症患者数 | 132 件 | 4 件 | 66 件 |
| 検出率 | 1.42% | 0.04% | 0.71% |

8．学会発表

・平成 27 年 6 月 12 日、13 日　第 17 回日本医療マネジメント学会　大阪国際会議場
演題「エボラウイルス病患者対応への取り組み～シミュレーションからの学び～」
富田浩美　矢中豊子　松井　聡　小關　迪

・平成 28 年 2 月 19 日、20 日　第 31 回日本環境感染学会総会学術集会　国立京都国際会館
演題「アルコール消毒剤によるグラム陰性桿菌検出への効果」
星　典子　富田浩美　佐藤祐二

［文責：右田琢生］

## 医療の質向上委員会

### Ⅰ．目的及び機能

医療の質の要素である、診療の質（技術・能力）、設備・機器の質、付帯サービスの質（接遇・その他）、提供体制の質（制度・組織・運営）に関し、各担当から指標となる項目の報告をもらい、さらにこれらの改善に向けての院内での体制を整える。

### Ⅱ．委員構成

◎委員長：鯨岡 結賀

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 9 | 地域医療連携部 | 1 |
| 看護部 | 4 | 筑波総合クリニック | 1 |
| 薬剤部 | 1 | つくばトータルヘルスプラザ | 1 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| リハビリテーション部 | 1 | つくばケアセンター | 1 |
| 臨床検査科 | 1 | 訪問看護ステーション | 1 |
| 本部・事務部 | 6 | | |

### Ⅲ．開催回数

７回

### Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015. 4 | 2014 年度年報作成の経過報告。<br>年報の内容検討。 |
| 2015. 6 | 年報作成の進捗状況。<br>院内全職員対象の研修会の年間スケジュールについて。<br>臨床指数となる項目（クリニカルインディケーター）の洗い出し。 |
| 2015. 8 | 臨床指数となる項目の再検討。 |
| 2015. 10 | 臨床指数の項目一覧からデータ作成する担当者を決定。<br>データの抽出・作成方法についての検討。 |
| 2015. 12 | 作成された臨床指数のデータ内容の確認と分析。 |
| 2016. 2 | 臨床指数のデータ報告および内容の再検討。<br>臨床指数の表示方法（解説・定義・グラフ化）について協議。 |
| 2016. 3 | 臨床指数の訂正原稿について確認。<br>次年度の年報の原稿（原稿依頼、総括の書式）について。 |

［文責：鯨岡結賀］

## 臨床研修管理委員会

### Ⅰ．目的及び機能

研修医の管理及び採用、中断、修了の際の評価等、臨床研修の実施の統括を行う。研修修了に際しては、研修医の評価を行い管理者に対し当該研修医の評価を報告する。

### Ⅱ．委員構成

◎委員長：坂本 俊樹

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 6 | 筑波総合クリニック | 1 |
| つくばケアセンター | 1 | 筑波大学附属病院 | 1 |
| ＪＡとりで総合医療センター | 1 | 福島県立医科大学附属病院 | 1 |
| 日本医科大学付属病院 | 1 | 茨城県つくば保健所 | 1 |
| つくば在宅クリニック | 1 | 外部委員 | 1 |

### Ⅲ．開催回数

１回

## Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2016.3 | 平成 27 年度臨床研修活動報告<br>平成 27 年度修了予定者について<br>平成 28 年度研修医採用結果について<br>今後の研修プログラムについて |

［文責：坂本俊樹］

# 臨床研修管理院内委員会

## Ⅰ．目的及び機能

初期研修のプログラム、研修医の採用計画、研修過程の評価、研修医の服務など研修医の臨床研修に関する業務全般をつかさどる。

## Ⅱ．委員構成

◎委員長：坂本 俊樹

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 13 | 事務部 | 2 |

## Ⅲ．開催回数

13 回

## Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.4 | 4 月より脳外科・谷中先生に臨床研修管理院内委員会の委員になっていただく件について<br>研修医日当直について（連休中・連休明け）<br>28 年度の募集人数の確認（6 名でよいか）<br>研修医 2 年目のＥＰＯＣレポート提出状況について<br>研修医柴田先生の当直について<br>茨城県より高校生の病院見学会について協力依頼<br>茨城県の「シミュレーション機器巡回指導」について |
| 2015.5 | 6 月からの研修医診療科変更について<br>柴田先生の海外派遣について<br>茨城ＰＴＬＳ講習会への参加について<br>修学生病院見学について |
| 2015.6 | 本年度ハンガリー実習について<br>研修医講習会について<br>柴田先生について報告<br>病院説明会（東大・レジナビ）について<br>Ｈ 26 筑波大学学生実習における教育協力病院の指導体制と内容の評価について |
| 2015.7 | 柴田先生の海外派遣について<br>病院説明会（東大・レジナビ）について<br>ハンガリー医科大学卒業生の国試対策について<br>研修医 2 年目圓山晶子先生について<br>8 月からの研修医診療科変更について<br>平成 27 年度研修医採用試験について |

| | |
|---|---|
| 2015.8 | 国試対策について<br>筑波大の学生実習について<br>つくば研修医学術集会演題募集について<br>平成 27 年度研修医採用試験について<br>高校生病院見学について<br>土浦一高の病院見学について<br>東田先生より研修医募集について |
| 2015.9 | 国試対策について<br>Ｈ 28 年度初期研修医採用試験の判定会議について<br>筑波記念病院に対する筑波大学附属病院Ｈ 26 年度 1 年目・2 年目<br>研修医のＥＰＯＣ評価、アンケート結果について<br>10 月からの研修医診療科変更について |
| 2015.10 | マッチング結果について<br>県内高校生セミナー病院見学会について<br>堂本先生のローテについて<br>研修医の集団指導について |
| 2015.11 | 産業医科大学学生、採用試験後の辞退について<br>ＢＬＳ人形購入について<br>看護学生の国試対策について<br>教育回診について<br>つくば研修医学術集会について<br>12 月からの研修医診療科変更について<br>剖検について<br>年末年始体制について<br>2 年次ローテ希望について<br>今後の日当直体制について |
| 2015.12 | 研修医の診療科変更について<br>年末年始勤務について<br>沼田先生のローテについて<br>研修医の脳外科研修について<br>救急症例検討会（2016 年 3 月開催予定）について<br>高校生病院見学について<br>修学生病院見学について<br>今後の日当直体制について |
| 2016.1 | 2 月からの研修医診療科変更について<br>H28 年度の 1 年目・2 年目ローテーションについて<br>初期研修医修了認定について<br>EPOC 評価入力・レポート承認依頼<br>筑波大からの学生実習について<br>救急症例検討会について<br>修学生病院見学について<br>今後の日当直体制について |
| 2016.2 | 高校生病院見学のアンケート結果配布<br>修学生病院見学について<br>イーアス病院説明会について<br>救急症例検討会について<br>EPOC 評価入力、レポートの承認依頼<br>研修管理委員会について<br>H28 年度の 1 年目・2 年目ローテーションについて<br>オリエンテーションについて協力依頼<br>トリアージ訓練について |
| 2016.3.7 | 新専門医制度（内科専門領域に係るもの）について<br>新専門医制度（外科専門領域に係るもの）について |

| | |
|---|---|
| 2016.3.28 | 修学生病院見学について<br>研修医について３月に行われたことの報告<br>Ｈ 28 初期臨床研修医一覧配布<br>Ｈ 28 初期臨床研修医ローテーション表について<br>オリエンテーション依頼<br>病院説明会の報告<br>厚労省より指導医アンケート依頼<br>研修医の日当直につい |

### Ⅴ．他活動内容

| | |
|---|---|
| 2015.7.18 | 東京大学病院まるごと探訪フェス 2015（東大病院にて） |
| 2015.7.19 | レジナビ 2015 東京（東京ビッグサイトにて） |
| 2016.2.28 | レジナビ 2015 金沢（金沢流通会館にて） |
| 2016.3.6 | レジナビ 2015 福岡（マリンメッセ福岡にて） |
| 2016.3.13 | 茨城県臨床研修病院合同説明会（イーアスつくばにて） |
| 2016.3.20 | レジナビ 2015 東京（東京ビッグサイトにて） |

［文責：坂本俊樹］



## 労働安全衛生委員会

### Ⅰ．目的及び機能

病院職員の危険又は健康障害を防止するための措置の実現に携わり、労働安全衛生のための教育検討をする。

### Ⅱ．委員構成

◎委員長：長澤 俊郎

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 3 | 臨床検査科 | 1 |
| 看護部室 | 1 | 用度課 | 1 |
| 薬剤部 | 1 | 総務課 | 4 |
| リハビリテーション部 | 1 | トータルヘルスプラザ | 2 |
| 臨床工学科 | 1 | ケアセンター | 2 |
| 人事課 | 1 | 臨床心理士 | 1 |
| クリニック | 1 | 放射線部 | 1 |

### Ⅲ．開催回数

12 回

### Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.4.10 | ２月実施の健康診断について協議。 |
| 2015.5.8 | 職場復帰支援マニュアルについて協議。 |
| 2015.6.12 | 職場復帰支援マニュアル策定。 |
| 2015.7.10 | 院内暴力対応マニュアル、職員満足度調査について協議。 |
| 2015.8.7 | ８月実施健康診断、ストレスチェック制度について協議。 |

| | |
|---|---|
| 2015.9.11 | 喫煙教育、次世代育成支援対策推進法について協議。 |
| 2015.10.9 | 院内暴力対応マニュアル改定。ストレスチェック制度再協議。 |
| 2015.11.13 | ストレスチェック制度再協議、機能評価について協議。 |
| 2015.12.11 | ストレスチェック制度再協議、機能評価について協議。 |
| 2016.1.8 | 職員満足度調査結果報告。職員勤務時期案内禁煙決定。 |
| 2016.2.12 | 女性活躍推進法について協議。 |
| 2016.3.11 | 機能評価、女性活躍推進法について再協議。 |

［文責：長澤俊郎］

# 防火・防災委員会



## Ⅰ．目的及び機能

人為的原因を含む災害が発生した際に筑波記念会の有する機能を出来る限り発揮し、被災対応、救護対応、後方対応を的確に行う。そのためにマニュアルを作成し訓練の実施などを通して強化していく。

## Ⅱ．委員構成

◎委員長：小關 剛

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 2 | 筑波総合クリニック | 1 |
| 看護部 | 1 | つくばケアセンター | 1 |
| 薬剤部 | 1 | つくばトータルヘルスプラザ | 1 |
| 栄養科 | 1 | リハビリ部 | 1 |
| 施設課 | 1 | 本部・事務 | 5 |

## Ⅲ．開催回数

９回

## Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.6.25 | ・メンバーの確認、BCP、大規模災害対策マニュアル、防火・防災計画、消防訓練実施要綱の改定（避難場所の変更、自衛消防組織の再編成、夜間休日緊急連絡網の確認） |
| 2015.7.30 | ・消防訓練実施要綱の改定、旧棟取り壊し後の２号棟の避難経路図の検討、トリアージ要綱の改定 |
| 2015.8.27 | ・病院厨房使用困難時の燃料（炭）の不足分購入、災害発生時の職員への周知方法を Twitter に決定 |
| 2015.9.17 | ・鬼怒川氾濫における災害時の報告 |
| 2015.10.15 | ・消防訓練実施報告、県防災情報ネットワークシステムの確認 |
| 2015.11.19 | ・保健所立入検査報告、機能評価、トリアージ訓練について |
| 2015.12.17 | ・職員の二つ折り携帯の使用率結果、第六回つくば保健医療圏災害医療連絡会議への出席報告 地域住民との連携について |
| 2016.2.18 | ・DMAT 隊員養成研修報告、消防訓練について、緊急時のシグナル音について |
| 2016.3.17 | ・災害時に活用するモバイルサイトの周知について、全館放送時のシグナル音について、DMAT 連絡会議出席報告、トリアージ訓練アンケート途中集計、消防訓練について |

## Ⅴ．他活動内容

| | |
|---|---|
| 2015.5.28 | 第五回つくば保健医療圏災害医療連絡会議への参加 |
| 2015.9.19 | 鬼怒川氾濫によって被災した職員の家の救助活動 |
| 2015.9.20 | 鬼怒川氾濫によって被災した職員の家の救助活動 |
| 2015.9.24 | 鬼怒川氾濫によって被災した職員の家の救助活動 |
| 2015.10.15 | 昼間消防訓練実施 |
| 2015.12.8 | 第六回つくば保健医療圏災害医療連絡会議への参加 |
| 2016.1.18 | つくば市立要小学校での不審者対応訓練への参加 |
| 2016.1.20 | 日本 DMAT 隊員養成研修への参加 |
| 2016.1.21 | 日本 DMAT 隊員養成研修への参加 |
| 2016.1.22 | 日本 DMAT 隊員養成研修への参加 |
| 2016.1.23 | 日本 DMAT 隊員養成研修への参加 |
| 2016.2.29 | 平成 27 年度　DMAT 連絡会議に参加 |
| 2016.3.11 | 第五回つくば保健医療圏災害対応合同訓練への参加 |
| 2016.3.11 | 筑波記念会　災害訓練（トリアージ訓練）実施 |
| 2016.3.23 | 県防災情報ネットワークシステム端末機器の操作研修に参加 |

［文責：小關　剛］



# 医療ガス安全管理委員会

## Ⅰ．目的及び機能

医療法人筑波記念会の運営する各事業所における医療ガス設備の管理を行い、患者の安全と災害の未然防止を目的とする。

## Ⅱ．委員構成

◎委員長：神山 幸一

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 2 | 事務部 | 6 |
| 看護部 | 3 | 筑波総合クリニック | 1 |
| 薬剤部 | 1 | 関東エア・ウォーター | 1 |
| ME 科 | 1 | | |

## Ⅲ．開催回数

２回

## Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015. 9 | ・医療ガス配管設備保守点検結果報告 |
| | ・人工空気製造装置定期保守点検結果報告 |
| | ・2015 年 3 月～ 9 月にかけての修理報告 |

| | |
|---|---|
| 2016. 3 | ・医療ガス配管設備保守点検結果報告 |
| | ・人工空気製造装置定期保守点検結果報告 |
| | ・2015 年 9 月～ 2016 年 3 月にかけての修理報告 |
| | ・液化酸素製造装置、液化窒素製造装置、圧縮空気の定期自主検査報告 |

### Ⅴ．他活動内容

| | |
|---|---|
| 2015.4.30 | 筑波記念病院、つくばトータルヘルスプラザ、筑波総合クリニック各々の 9 ヵ月医療ガス配管設備保守点検の実施。 |
| 2015.4.30 | 筑波記念病院における 3 ヵ月人工空気製造装置定期保守点検の実施。 |
| 2015.7.22 ～ 25 | 筑波記念病院、つくばトータルヘルスプラザ、筑波総合クリニック各々の 12 ヵ月医療ガス配管設備保守点検の実施。 |
| 2015.7.22 | 筑波記念病院における 6 ヵ月人工空気製造装置定期保守点検の実施。 |
| 2015.10.2 | 筑波記念病院、つくばトータルヘルスプラザ、筑波総合クリニック各々の 3 ヵ月医療ガス配管設備保守点検の実施。 |
| 2015.10.2 | 筑波記念病院における 9 ヵ月人工空気製造装置定期保守点検の実施。 |
| 2016.2.24 | 液化酸素製造装置、液化窒素製造装置、圧縮空気の定期自主検査の実施。 |
| 2016.1.27 ～ 30 | 筑波記念病院、つくばトータルヘルスプラザ、筑波総合クリニック各々の 6 ヵ月医療ガス配管設備保守点検の実施。 |
| 2016.1.27 | 筑波記念病院における 12 ヵ月人工空気製造装置定期保守点検の実施。 |

［文責：神山幸一］



## 教育研修委員会

### Ⅰ．目的及び機能

院内全職員を対象とした教育研修活動を検討し答申する。また、地域医療連携の視点に立ち、院内のみならず、地域の医療従事者の技術・知識向上のためのさまざまな活動を支援する。

### Ⅱ．委員構成

◎委員長：坂本 俊樹

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 7 | 地域医療連携部 | 1 |
| 看護部 | 1 | 本部・事務部 | 3 |

### Ⅲ．開催回数

５回

### Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015. 5 | 地域医療関連・医局・看護部の今後の予定。<br>ホームページ更新の検討。コーチング研修。県内小・中学校を対象とした見学会。一般の方を対象とした公開講座について検討。 |
| 2015. 7 | 機能評価に向けた準備について。全職員を対象とした研修会。<br>図書室の運用、書籍の管理について。 |
| 2015. 9 | 地域医療関連・医局の今後の講演会について。<br>院内全職員を対象とした研修会について。 |
| 2015. 11 | 地域医療関連・医局・看護部の講演会開催について。<br>全職員向け講習会の具体的な内容。図書室の運用方法。 |

| | |
|---|---|
| 2016. 1 | 地域医療関連・医局・看護部の講演会開催について。<br>全職員向け講習会の開催結果、参加者数（率）、ご意見・感想等。<br>各部署内で実施した勉強会・研修会の報告および次年度の開催スケジュールについて。図書室の運用方法。 |

### Ⅴ．他活動内容

院内研修

全職員向け講習会

①患者の権利、医療の倫理、個人情報の保護、ハラスメント関連法規とその遵守

講師：檜垣総合法律事務所　檜垣直人　弁護士

日時：平成 27 年 11 月 13 日（金）、 11 月 16 日（月） 17 時 45 分より

場所：Ｓ棟２階大会議室・講義室

②接遇

講師：㈱ベターコミュニケーション

日時：平成 27 年 11 月 12 日（木）、 11 月 19 日（木） 17 時 45 分より

場所：Ｓ棟２階大会議室・講義室

［文責：坂本俊樹］



## 輸血管理委員会

### Ⅰ．目的及び機能

院内における輸血が安全かつ円滑に行われるための活動の大網を定める事を目的とする。管理者の諮問機関として、管理者からの諮問事項。輸血療法上の問題点、緊急的検討事項、疫学的集計結果などを検討する委員会で、病院として行うべき輸血療法上の方策を管理者に答申する輸血療法に関する意思決定機関である。

### Ⅱ．委員構成

◎委員長：佐藤 祐二

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 2 | 薬剤部 | 2 |
| 看護部 | 2 | 事務部 | 1 |
| 臨床検査科 | 1 | | |

### Ⅲ．開催回数

４回

### Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.6.10 | 輸血廃棄率の検討、自己血クロスマッチ運用の確認 |
| 2015.10.7 | 輸血に関するインシデント、クロスマッチ実施時間の調整 |
| 2016.2.3 | 輸血マニュアルの確認・修正 |
| 2016.3.16 | 輸血マニュアルの確認・修正、輸血廃棄率報告 |

# 褥瘡対策委員会

## Ⅰ．目的及び機能

目的

1．入院患者の褥瘡の予防と早期発見、治療の促進に寄与する。

2．医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学・作業療法士、多職種協働で活動する。

目標

1．褥瘡の院内発生を「0」に近づける

（1）褥瘡発生の高リスク者を的確に把握し、早期に予防的介入する。

（2）NST 委員会と連携し、発生リスクの低減を図る。

（3）発赤の時点で発見し、早期治癒を支援する。

（4）有効なポジショニングと体位変換についてスタッフに周知する。

2．早期治癒を目指し、有症者を減らす

（1）医師、看護師、理学・作業療法士、薬剤師、栄養士、多職種間で検討し早期治癒を促す。

（2）褥瘡を正しく評価する。



## Ⅱ．委員構成

◎委員長：照沼 篤

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 1 | 栄養科 | 1 |
| 看護部 | 11 | リハビリテーション部 | 1 |
| 薬剤部 | 1 | | |

## Ⅲ．開催回数

1 回／月　　12 回／年

開催日時

毎月第 2 水曜日　回診 14:00 ～　　看護部会議 16:00 ～　全体会議 17:00 ～

## Ⅳ．協議事項

| 月／日 | H27 年度 | 回　診 | 司　会 | 書　記 |
|---|---|---|---|---|
| 2015.4.8 | 褥瘡回診　褥瘡回診結果報告<br>昨年度の振り返り | 療養 | 栄養科 | 薬剤部 |
| 2015.5.13 | 褥瘡回診　褥瘡回診結果報告<br>年度目標設定についての討議 | 6-3 | 療養 | 栄養科 |
| 2015.6.10 | 褥瘡回診　褥瘡回診結果報告<br>規約・規定・目標、活動内容について | 3-3 | 6-3 | 療養 |
| 2015.7.8 | 褥瘡回診　褥瘡回診結果報告<br>「褥瘡対策検討会活動見直しプロジェクト」プレゼンテーション | 3-2 | 3-3 | 6-3 |
| 2015.8.19 | 褥瘡回診　褥瘡回診結果報告<br>体圧分散マットの特徴についての学習会（業者） | 2-5 | 3-2 | 3-3 |
| 2015.9.9 | 褥瘡回診　褥瘡回診結果報告<br>ブレーデンスケールの見直し実施 | 2-4 | 2-5 | 3-2 |
| 2015.10.14 | 褥瘡回診　褥瘡回診結果報告<br>モルテンによるベッドの説明・研修 | 2-3 | S5 西 | S4 西 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2015.11.11 | 褥瘡回診　褥瘡回診結果報告<br>褥瘡対策マニュアルの見直し・追加事項の検討マニュアル作成のチーム構成 | ICU | 2-3 | S5 西 |
| 2015.12.9 | 褥瘡回診　褥瘡回診結果報告<br>褥瘡対策マニュアルの見直し | 療養 | ICU | 2-3 |
| 2015.1.13 | 褥瘡回診　褥瘡回診結果報告<br>褥瘡対策マニュアルの見直し・追加・変更エアーマット正しい使用方法の作成 | 6-3 | 療養 | ICU |
| 2015.3.9 | 褥瘡回診　褥瘡回診結果報告<br>褥瘡対策マニュアルの見直し・追加・変更 | S4 東 | 薬剤部 | リハビリ |

（回診：診療補助・回診録作成　書記：会議録作成）

［文責：大和田加代子］

# 薬　事　委　員　会

## Ⅰ．目的及び機能

医薬品の選定、購入、配布及び施用等の適正化を図ることを目的とする。

## Ⅱ．委員構成

◎委員長：飯田 要

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 5 | 薬剤部 | 3 |
| 看護部 | 1 | 筑波総合クリニック | 1 |

## Ⅲ．開催回数

10 回

## Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.4.7 | 新規採用医薬品採用審議　1 件<br>後発医薬品採用の現状について　その他 |
| 2015.5.12 | 新規採用医薬品採用審議　3 件<br>臨時採用医薬品採用審議　2 件<br>持参薬のオーダー入力について |
| 2015.6.2 | 新規採用医薬品採用審議　3 件<br>SGLT-2 阻害薬について　その他 |
| 2015.7.7 | 新規採用医薬品採用審議　8 件<br>後発医薬品採用の現状について |
| 2015.8.4 | 新規採用医薬品採用審議　2 件　その他 |
| 2015.9.1 | 薬事委員会委員長交代について<br>新規採用医薬品採用審議　5 件　その他 |
| 2015.10.6 | 新規採用医薬品採用審議　5 件　その他 |
| 2015.12.1 | 新規採用医薬品採用審議　5 件 |
| 2016.1.5 | 新規採用医薬品採用審議　3 件 |
| 2016.2.2 | 新規採用医薬品採用審議　4 件<br>後発医薬品採用の現状について　その他 |

## Ⅴ．他活動内容

以下の事項を審議する

①医薬品採用の可否に関すること。

②医薬品の適正な使用及び管理に関すること。

③陳旧した医薬品の取り扱いに関すること。

④医薬品副作用等の情報に関すること。

⑤薬局業務に関すること。

⑥その他薬事に関すること。

［文責：飯田　要］

# 栄　養　委　員　会



## Ⅰ．目的及び機能

筑波記念病院栄養委員会は、当院における栄養管理業務の適正化をはかるために行う。栄養管理業務を遂行すると同時に、改善が必要な事項については検討し、さらに検討事項の改善、報告を行う。

## Ⅱ．委員構成

◎委員長：坂本 俊樹

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 2 | 本部・事務部 | 2 |
| 看護部 | 3 | 栄養科 | 2 |
| 薬剤部 | 1 | 委託業者 | 1 |

## Ⅲ．開催回数

12 回

## Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.04 | 麺の提供方法変更、箸・スプーンの提供についての検討 |
| 2015.05 | 箸・スプーンの選定、食器等の追加購入について検討 |
| 2015.06 | 食器（茶碗・強化磁器の主菜皿）とトレーの選定 |
| 2015.07 | S 棟への引越しに関する事前確認 |
| 2015.08 | 嚥下チームより報告）汁物のとろみ粘度変更の検討について |
| 2015.09 | 箸とスプーンの運用開始<br>嚥下チームより報告）汁物とろみ粘度を変更しての提供開始 |
| 2015.10 | 茶色のトレーに関する報告、S 棟エレベーター使用時間について |
| 2015.11 | 食事アンケート内容・集計方法の検討、GFO についての報告<br>嚥下チームより報告）嚥下粥の統一、手づくり嚥下食の開始 |
| 2015.12 | 2015 年食事嗜好調査アンケート集計結果報告<br>保健所立入検査の報告、ワーファリン食について |
| 2016.01 | 内側色付茶碗使用開始、ワーファリン食の確認方法見直し |
| 2016.02 | 選択食導入についての振り返り、昼医師検食の配膳方法変更 |

| | |
|---|---|
| 2016.03 | 強化磁器使用開始、ワーファリン食のチェック方法変更<br>診療報酬改定による変更点、これからの方針について |

［文責：坂本俊樹］

# NST 委員会

## Ⅰ．目的及び機能

栄養状態を判定し、その患者の最もふさわしい栄養管理を指導・提言することで、患者の治癒・回復・退院及び社会復帰を図る

## Ⅱ．委員構成

◎委員長：藤原 淳

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 1 | 栄養科 | 2 |
| 看護部 | 10 | 薬剤部 | 1 |
| リハビリテーション部 | 3 | | |

## Ⅲ．開催回数

12 回

## Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.4 | ・年度の予定の協議 |
| 2015.5 | ・「経腸栄養療法について」（大塚製薬）勉強会実施 |
| 2015.6 | ・「食べて治す～患者を支える栄養サポートチーム～」NHK スペシャル勉強会実施 |
| 2015.7 | ・症例検討、委員会議題の担当病棟が決定 |
| 2015.8 | ・「半固形化栄養法の新潮流」Web セミナー（大塚製薬）勉強会実施 |
| 2015.9 | ・NST 委員長の変更<br>・NST 委員事務局の人員変更<br>・必要熱量算出法に、H.B の式に加え Ganple の式を併用開始 |
| 2015.10 | ・NST 対象患者の見直し、NST 介入患者スクリーニング方法の検討 |
| 2015.11 | ・NST 勉強会の実施（薬剤部担当）<br>・NST 回診方法の再検討 |
| 2015.12 | ・NST 勉強会の実施（2-3、S3 西、S3 東病棟担当）<br>・NST 加算に向けた討議 |
| 2016.1 | ・NST 勉強会の実施（ICU、S4 西、S5 西）<br>・新しい NST 回診方法の決定、周知 |
| 2016.2 | ・今年度の振り返り |
| 2016.3 | ・次年度の目標設定、運営方法等検討 |

Ⅴ．他活動内容

・第1、3、4、5（祝日を除く）水曜日。14時から対象患者の回診を行い、栄養状態の改善のための検討を行い、その方法を提案する

・毎月１回　委員会を開催し、関連する書類の検討や勉強会、事例検討を行う

・外部の研修に参加し、知識を深める
　代表者が参加し、その後伝達講習を行う

［文責：藤原　淳］

## 救急部運営委員会

Ⅰ．目的及び機能

地域住民が生命の危機に瀕したときや、不慮の怪我を負ったときに、生命を安心して預けられる病院であるよう、救急患者受け入れと治療に病院全体の総力を挙げる。

Ⅱ．委員構成

◎委員長：榎本 強志

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 7 | 事務部 | 2 |
| 看護部 | 5 | | |

Ⅲ．開催回数

７回

Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.05.11 | 夜勤帯での死亡患者のお見送りについて |
| 2015.07.13 | Ｓ棟（新病棟）ＯＰＥＮについて |
| 2015.07.30 | Ｓ棟ＯＰＥＮ後のシュミレーションについて |
| 2015.09.14 | Ｓ棟ＯＰＥＮ後の救急体制について |
| 2015.11.09 | 救急体制（麻痺・吐血）の受け入れについて |
| 2016.01.18 | 救急車のお断り率・Ｓ棟でのトラブル症例について |
| 2016.03.18 | 委員会規約の見直し・Ｈ28度診療報酬改定について |

Ⅴ．他活動内容

・つくば・常総地区メディカルコントロール協議会への参加

［文責：榎本強志］

## 手術部運営委員会

### Ⅰ．目的及び機能

1）手術部運営は、関係する各診療科の外科手術をはじめとし、インターベンションや観血的診断、治療が安全かつ迅速に行なわれるように、運営することを基本的な考え方とする。

2）手術部の運営は院長の指名する手術部長が、手術室看護師長と共に行なう。手術部長は必要に応じ、手術部運営委員会を招集し、手術部が十分に機能を発揮できるよう運営上の諸問題を検討、改善･解決を行なっていく。

### Ⅱ．委員構成

◎委員長：神山 幸一

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 17 | 看護部 | 1 |

### Ⅲ．開催回数

定例：毎週水曜日　17：30 ～

臨時：手術部部長が招集した時

### Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 毎週 | 週間手術の調整及び確認（日時、曜日、時間帯の調整） |
| | 麻酔科医の調整（担当麻酔科医の確認、大学への依頼麻酔の確認、ICU 帰室症例の確認） |
| | 手術使用機械、物品の確認：使用重複確認（内視鏡用モニター、関節鏡モニター、C アーム透視装置、マイクロ顕微鏡、レジェンド、腹臥位用支持台、砕石位用レッグホルダー等） |

### Ⅴ．他活動内容

手術部運営会議

手術部運営会議は手術部部長が手術室の管理、運営に必要と判断した時、手術部部長の招集によって開催される

［文責：神山幸一］

## ＩＣＵ運営委員会

### Ⅰ．目的及び機能

内科系外科系を問わず、回復もしくは治癒の期待しうる重篤な急性機能不全の患者を収容し、集中的に治癒を行うことを目的とする。

### Ⅱ．委員構成

◎委員長：田島 啓一

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 9 | 臨床工学技士 | 1 |
| 看護部 | 3 | 事務部 | 2 |

### Ⅲ．開催回数

７回

### Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.05.11 | ＩＣＵ病棟の増床について（工事前） |
| 2015.07.13 | ＩＣＵ病棟の運営・問題点について |
| 2015.08.03 | 病院機能評価受審にむけて |
| 2015.09.14 | ＩＣＵ工事開始と減床（４→２床）について |
| 2015.11.09 | ＩＣＵ新体制（医師当番表作成）について |
| 2016.01.18 | ＩＣＵ改修工事一部完成（２→６床）について |
| 2016.03.14 | ＩＣＵ病棟完成（８床）と委員会規約の見直し |

［文責：田島啓一］



## 臨床検査管理委員会

### Ⅰ．目的及び機能

臨床検査科の効率的かつ円滑な運営、管理を図り、あわせて診療の向上に寄与することを目的とする。また、当院では検体検査を外部委託しており、委託業務の実態を評価し、改善を促進する。

### Ⅱ．委員構成

◎委員長：井川 昌幸

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 1 | 医事課 | 1 |
| 看護部 | 3 | 本部・事務部 | 2 |
| 臨床検査科 | 3 | 委託業者 | 1 |

### Ⅲ．開催回数

４回

### Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.7 | 委員会の活動内容と構成メンバーの確認。S 棟移転時の問題点を検討する。 |
| 2015.9 | 前回の S 棟移転に関する検討事項は特に問題にならなかった。分析機や心電計などの時間は、CIS とあわせることにした。 |
| 2015.12 | 構成メンバーの変更。生理検査室および病理・細胞診室の移転が１月に予定されている。 |
| 2016.3 | パニック値報告体制について確認<br>今年度の外部精度管理の結果報告<br>機能評価受審時の問題点について |

［文責：井川昌幸］

## クリティカルパス委員会

### Ⅰ．目的及び機能

筑波記念病院内におけるクリティカルパスの普及を図る。

クリティカルパスの作成・運用、バリアンス評価の方法に関する啓蒙活動及び指導を行う。

効率的な「標準的治療」を目指し、質の高い診療の普及に努める。

### Ⅱ．委員構成

◎委員長：小關 剛

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 5 | リハビリテーション部 | 1 |
| 看護部 | 3 | 本部・事務部 | 5 |
| 薬剤部 | 2 | 委託業者 | 1 |

### Ⅲ．開催回数

５回

### Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.5 | クリティカルパスの運用方法（オーダリングシステムでの運用、紙での運用）について検討・協議。予演会開催の案内。 |
| 2015.6 | 『第 17 回日本医療マネジメント学会学術総会』予演会の実施。 |
| 2015.7 | 『第 17 回日本医療マネジメント学会学術総会』の報告。クリティカルパスの問題点（食事の運用）、各科でのパス作成状況について検討・協議。 |
| 2016.1 | 院内でのクリティカルパスの運用状況の確認。 |
| 2016.3 | 今後のクリティカルパス運用に関する方針、問題点について検討・協議、次年度へむけての目標を設定。 |

### Ⅴ．他活動内容

日本医療マネジメント学会（全国総会・支部会）への参加

［文責：小關　剛］

## がん化学療法検討委員会

### Ⅰ．目的及び機能

筑波記念病院における、がん化学療法剤のレジメンの管理（登録、削除、保留）、施用等の適正化を図る。

検討事項：がん化学療法を行うためのレジメン・手技・医薬品の管理、外来化学療法室の運用、
その他

## Ⅱ．委員構成

◎委員長：中原 朗

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| がん化学療法に携わる診療科代表医師 | 3 | 薬剤部 | 3 |
| 看護部 | 4 | 医事課 | 1 |

## Ⅲ．開催回数

３回

## Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.7.23 | 新棟の外来化学療法室運用について検討 |
| 2015.9.17 | 新棟の外来化学療法室運用についての確認。新規レジメンの報告。 |
| 2015.12.24 | 消化器内科レジメン毎に外来・入院での費用比較、検討 |

［文責：中原　朗］



# 補助人工心臓管理委員会

## Ⅰ．目的及び機能

補助人工心臓装着の適応の検討及び、補助人工心臓管理に関わる治療・看護及び情報を共有して統合的な管理を行うことで、補助人工心臓装着患者の安全かつ適切に管理することにより QOL の向上に努めることを目的とする。

## Ⅱ．委員構成

◎委員長：末松 義弘

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 2 | リハビリテーション部 | 1 |
| 看護部 | 6 | 医事課 | 1 |
| 臨床工学科 | 1 | 総務課 | 1 |

## Ⅲ．開催回数

２回

## Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.10 | 植込み型補助人工心臓実施施設認定登録に向けての提出書類整備の確認と委員会規約及び管理マニュアルの作成。 |
| 2015.11 | 実施施設認定登録の提出書類の最終確認及び委員会規約と管理マニュアルの承認。 |

［文責：末松義弘］

# 地域医療従事者研修委員会

## Ⅰ．目的及び機能

地域医療の中核として地域医療従事者の研修事業を積極的に行い、地域医療従事者の研鑽の場の提供と医療の質の向上を目的とする。

## Ⅱ．委員構成

◎委員長：長澤 俊郎

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 2 | 薬剤部 | 1 |
| 看護部 | 1 | リハビリテーション部 | 1 |
| 放射線科 | 1 | 地域医療連携部 | 1 |
| 臨床検査科 | 1 | 本部・事務部 | 2 |
| 栄養科 | 1 | | |

## Ⅲ．開催回数

11 回

## Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.4.3 | 前回に行われた公開講座について、参加人数や内容、反省事項。<br>前年度の反省と今後の課題を協議。<br>次回公開講座予定と今年度の予定。 |
| 2015.5.1 | 今月予定の公開講座について、詳細内容報告。 |
| 2015.6.4 | 次回予定のカンファランスと公開講座について報告。<br>担当公開講座日時変更と議事録配布方法変更について協議。 |
| 2015.7.3 | 前回に行われた公開講座について、参加人数や内容、反省事項。<br>担当公開講座の今後の予定について協議。 |
| 2015.9.4 | 議事録に配布方法変更ついて協議。<br>次回予定の公開講座について、詳細内容報告。<br>公開講座会場について協議。 |
| 2015.10.2 | 前回に行われた公開講座について、参加人数や内容、反省事項。<br>次回予定の公開講座について、詳細内容報告。 |
| 2015.11.6 | 前回に行われた公開講座、PEG の会について、参加人数や内容、反省事項。<br>次回予定の公開講座について、詳細内容報告。<br>院内職員参加希望締め切り日について協議。 |
| 2015.12.4 | 前回に行われた公開講座、内視鏡ライブセミナーについて、参加人数や内容、反省事項。<br>次回予定の公開講座について、詳細内容報告。<br>今後の講演内容や参加者について協議 |
| 2016.1.15 | 前回に行われた公開講座、ESD カンファについて、参加人数や内容、反省事項。<br>次回予定の公開講座について、詳細内容報告。<br>今後の改善点について協議 |
| 2016.2.5 | 前回に行われた公開講座、ESD カンファについて、参加人数や内容、反省事項。<br>次回予定の公開講座について、詳細内容報告。<br>今年度の公開講座について課題と反省。<br>来年度の担当公開講座予定を発表。 |
| 2016.3.4 | 前回に行われた公開講座について、参加人数や内容、反省事項。<br>次回予定の公開講座について、詳細内容報告。<br>参加人数減少について協議。 |

［文責：長澤俊郎］

# DPC 委員会

## Ⅰ．目的及び機能

以下のことを検討し答申することを目的とする。

（1）適切な DPC コーディングに関すること。

（2）診断及び治療方法の適正化、標準化に関すること。

（3）DPC の運用方法に関すること。

（4）その他 DPC 業務に係る課題に関すること。

（5）DPC 参加の要件である提出データの作成に関すること。

## Ⅱ．委員構成

◎委員長：小關 剛

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 6 | 病歴管理室 | 2 |
| 看護部 | 3 | 医事課 | 2 |
| 薬剤部 | 2 | リハビリテーション部 | 1 |
| 企画室 | 1 | | |

## Ⅲ．開催回数

年 2 回以上　適時開催

## Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.7 | ＤＰＣ委員会規約確認<br>適切なコーディングについて<br>ケース１　Ｃ型急性肝炎に対するＩＦＮβについて<br>ケース２　内頚動脈狭窄症　脳梗塞に至ったかどうか適切なコーディングが必要 |
| 2015.3 | ＤＰＣ診療報酬改訂について<br>・期間Ⅲが 30 の倍数日となる<br>・退院時コーディングに合わせて返礼の必要がある<br>返礼が出ないよう適切なコーディングが必要<br>・ＣＣＰマトリックスの導入<br>・コーディング委員年 4 回 |

［文責：川嶋慎也］

# 診療録管理委員会

## Ⅰ．目的及び機能

診療情報ならびに診療録の管理について、総括的に規定し適切な管理をおこない、医療の質を確保する。

## Ⅱ．委員構成

◎委員長：小關 剛

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 7 | 栄養部 | 1 |
| 看護部 | 3 | 入退院調整室 | 1 |
| 医療安全推進室 | 1 | 医事課 | 2 |
| 薬剤部 | 1 | 企画室 | 1 |
| 放射線科 | 1 | 筑波総合クリニック | 1 |
| 臨床工学科 | 1 | 情報システム課 | 1 |
| 臨床検査科 | 2 | 病歴管理室 | 2 |
| リハビリテーション部 | 1 | | |

## Ⅲ．開催回数

12 回

## Ⅳ．協議事項

退院要約完成状況の報告、オーダリングシステム更新内容の確認、各部署からの連絡

| | |
|---|---|
| 2015.4 | 入院カルテ処分および保存対応の告知。 |
| 2015.5 | 多職種回診時の診療録記載方法を検討。 |
| 2015.6 | 検査・処置・手術の説明同意書標準化について協議。 |
| 2015.7 | 研修医作成の退院サマリー承認方法の見直しについて協議。 |
| 2015.8 | 診療記録の再編集。 |
| 2015.9 | 今後の委員会課題確認。 |
| 2015.10 | 身体抑制に関する説明同意書の書式変更について協議。 |
| 2015.11 | オーダリングシステムログイン画面掲示板の活用を提案。 |
| 2015.12 | DNAR 説明同意書の書式変更について協議。 |
| 2016.1 | 緊急入院セット活用について進捗状況報告。 |
| 2016.2 | 診療録記載の標準化を目的としたスタンプの活用について協議。 |
| 2016.3 | 診療録監査方法およびフィードバックについて再検討。 |

［文責：小關　剛］

# 地域医療サービス委員会

## Ⅰ．目的及び機能

地域医療展開に関する環境整備、医療サービスの充実、状況把握の調査･改善などを目的に、患者満足度調査、待ち時間調査、院内環境巡視などを行う。

## Ⅱ．委員構成

◎委員長：右田 琢生

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 2 | 薬剤部 | 1 |
| 看護部 | 4 | 放射線部 | 1 |
| リハビリテーション部 | 2 | 臨床工学科 | 1 |
| 栄養部 | 1 | 地域医療連携部 | 1 |
| 本部・事務部 | 3 | 筑波総合クリニック | |
| 委託業者 | 1 | | |

## Ⅲ．開催回数

12 回

## Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.4 | 2015 年度活動予定の確認。 |
| 2015.5 | 携帯電話利用案内の作成。入院案内の作成。 |
| 2015..6 | 患者満足度調査の実施。 |
| 2015.7 | 患者満足度調査の結果報告と改善策の検討。 |
| 2015.8 | 車椅子の点検方法と受付の杖置きについて検討。 |
| 2015.9 | 食事に対してのご意見に対する検討。 |
| 2015.10 | 病室の椅子の数と種類についての調査と検討。 |
| 2015.11 | 掲示物の画鋲からマグネット化についての検討。 |
| 2015.12 | 委員会活動のフローチャートの提案。院内ＱＣ活動の調査。 |
| 2016.1 | 患者ご意見の改善対応報告。院内巡視報告。 |
| 2016.2 | 院内掲示物の見直しについて検討。 |
| 2016.3 | 患者満足度調査の実施。 |

## Ⅴ．他活動内容

・患者さんからのご意見（「ご意見箱」投函内容）に対する事実確認と対策協議。（毎月）

・院内巡視の実施。（毎月）

［文責：右田琢生］

## IT セキュリティ委員会

### Ⅰ．目的及び機能

院内における IT 関連設備を整備し、情報関連の安全性を確保することを目的に活動し、同時に個人情報保護対策などの活動を行う。

### Ⅱ．委員構成

◎委員長：右田 琢生

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 3 | 本部・事務部 | 4 |
| 看護部 | 2 | リハビリテーション部 | 2 |
| 薬剤部 | 1 | 筑波総合クリニック | 1 |
| 放射線部 | 1 | つくばケアセンター | 1 |
| 臨床工学科 | 1 | つくばトータルヘルスプラザ | 1 |

### Ⅲ．開催回数

1 回（他必要に応じて随時）

### Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.11.11 | 院内規則等の文書の見直し、パスワードポリシーの決定 |

［文責：右田琢生］

## 企 画 広 報 委 員 会

### Ⅰ．目的及び機能

本委員会は、病院長の諮問に基づき、以下のことを検討し答申することを目的とする。

(1) 病院の院内広報紙の制作と配布に関すること。

(2) 院外広報誌の制作と配布に関すること。

(3)「病院パンフレット」、「入院案内」の制作について。

(4) その他、診療に関する以外の制作印刷物に関すること。

### Ⅱ．委員構成

◎委員長：右田 琢生

| 部　　門 | 人　　数 | 部　　門 | 人　　数 |
|---|---|---|---|
| 医局 | 1 | 放射線部 | 2 |
| 看護部 | 3 | つくばトータルヘルスプラザ | 1 |
| 薬剤部 | 1 | つくばケアセンター | 1 |
| リハビリテーション部 | 1 | 事務部 | 2 |

## Ⅲ．開催回数

10 回

## Ⅳ．協議事項

| | |
|---|---|
| 2015.4 | 年報報告等の確認、記念樹つくば 7/1 号について、原稿の記名について |
| 2015.5 | 記念樹つくば 7/1 号について |
| 2015.6 | 記念樹つくば 7/1 号・10/1 号について |
| 2015.7 | 記念樹つくば 10/1 号について |
| 2015.8 | 記念樹つくば 10/1 号について |
| 2015.9 | 記念樹つくば 10/1 号・1/1 号について、幹事変更のお知らせ |
| 2015.10 | 記念樹つくば　1/1 号について |
| 2015.11 | 記念樹つくば　1/1 号・4/1 号について |
| 2016.1 | 記念樹つくば　4/1 号について |
| 2016.3 | 記念樹つくば　4/1 号・7/1 号、その他・記念樹配布先及び設置場所について、<br>パンフレットの修正について（入院案内等） |

## Ⅴ．他活動内容

| | |
|---|---|
| 2015.4 | 「記念樹つくば」vol.42 発行　　メモリアル・ジャーナル№ 102 発 |
| 2015.5 | メモリアル・ジャーナル№ 103 発行 |
| 2015.6 | メモリアル・ジャーナル№ 104 発行 |
| 2015.7 | 「記念樹つくば」vol.43 発行　　メモリアル・ジャーナル№ 105 発行 |
| 2015.8 | メモリアル・ジャーナル№ 106 発行 |
| 2015.9 | メモリアル・ジャーナル№ 107 発行 |
| 2015.10 | 「記念樹つくば」vol.44 発行　　メモリアル・ジャーナル№ 108 発行 |
| 2016.1 | 「記念樹つくば」vol.45 発 |
| 2016.3 | メモリアル・ジャーナル No.109 発行 |

［文責：右田琢生］

筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

# 筑波総合クリニック

**【総括】**

外来患者数は前年度と比較して、特に変化はなかった。

診療科目は泌尿器科の外来を増やし、病棟コンサルも対応枠が増えた。

施設面に関しては、体感待ち時間の減少を目的に大型モニターを待合室に設置し、世界の風景などの影像の放映をはじめた。

来年度は、おもてなしの心を持って外来対応をしていく。

［文責：大坂恒司］

**【業務実績】**

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 循環器内科 | 2,623 | 2,197 | 2,849 | 2,679 | 2,642 | 2,437 | 2,630 | 2,420 | 2,617 | 2,561 | 2,587 | 2,973 | 31,215 |
| 消化器内科 | 1,363 | 1,211 | 1,519 | 1,462 | 1,361 | 1,306 | 1,411 | 1,196 | 1,274 | 1,172 | 1,264 | 1,448 | 15,987 |
| 血液内科 | 454 | 416 | 425 | 432 | 475 | 335 | 420 | 341 | 355 | 315 | 343 | 267 | 4,578 |
| 神経内科 | 305 | 221 | 347 | 311 | 301 | 276 | 319 | 258 | 305 | 283 | 267 | 307 | 3,500 |
| 代謝内科 | 1,134 | 1,097 | 1,112 | 1,272 | 1,183 | 1,128 | 1,346 | 1,060 | 1,216 | 1,213 | 1,145 | 1,116 | 14,022 |
| 消化器外科 | 748 | 680 | 812 | 780 | 786 | 721 | 806 | 679 | 737 | 702 | 704 | 763 | 8,918 |
| 呼吸器外科 | 346 | 362 | 399 | 415 | 335 | 370 | 391 | 304 | 345 | 335 | 309 | 346 | 4,257 |
| 心臓血管外科 | 160 | 177 | 161 | 219 | 145 | 187 | 212 | 188 | 176 | 223 | 206 | 265 | 2,319 |
| 脳神経外科 | 1,604 | 1,397 | 1,608 | 1,596 | 1,453 | 1,442 | 1,460 | 1,374 | 1,509 | 1,445 | 1,417 | 1,675 | 17,980 |
| 整形外科 | 2,006 | 1,757 | 2,086 | 2,030 | 1,958 | 1,798 | 1,854 | 1,795 | 1,832 | 1,799 | 1,880 | 2,072 | 22,867 |
| 婦人科 | 786 | 736 | 905 | 810 | 722 | 854 | 949 | 762 | 877 | 734 | 818 | 841 | 9,794 |
| 眼科 | 1,164 | 1,059 | 1,331 | 1,280 | 925 | 1,171 | 1,273 | 1,058 | 1,133 | 1,172 | 1,147 | 1,343 | 14,056 |
| 耳鼻咽喉科 | 991 | 920 | 1,058 | 1,113 | 827 | 903 | 989 | 963 | 885 | 789 | 969 | 1,046 | 11,453 |
| 皮膚科 | 491 | 537 | 622 | 597 | 551 | 532 | 572 | 466 | 501 | 476 | 472 | 526 | 6,343 |
| 小児科 | 253 | 221 | 257 | 261 | 280 | 247 | 287 | 286 | 301 | 218 | 321 | 289 | 3,221 |
| 精神科 | 201 | 201 | 226 | 227 | 191 | 229 | 222 | 218 | 251 | 226 | 231 | 245 | 2,668 |
| リウマチ･アレルギー科 | 317 | 306 | 325 | 312 | 342 | 309 | 338 | 294 | 315 | 329 | 293 | 376 | 3,856 |
| 形成外科 | 55 | 59 | 59 | 82 | 67 | 50 | 89 | 65 | 74 | 59 | 57 | 52 | 768 |
| 血管専門外来 | 24 | 27 | 32 | 27 | 36 | 37 | 30 | 29 | 33 | 28 | 24 | 27 | 354 |
| 呼吸器内科 | 330 | 308 | 392 | 388 | 338 | 362 | 415 | 377 | 396 | 429 | 408 | 489 | 4,632 |
| 腎臓内科 | 118 | 129 | 123 | 144 | 124 | 115 | 128 | 101 | 128 | 118 | 107 | 147 | 1,482 |
| 乳腺甲状腺外科 | 304 | 243 | 309 | 373 | 283 | 288 | 361 | 329 | 399 | 310 | 299 | 398 | 3,896 |
| 泌尿器科 | 156 | 131 | 172 | 166 | 162 | 171 | 248 | 285 | 299 | 238 | 262 | 256 | 2,546 |
| 放射線科 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 内科 | 118 | 195 | 137 | 185 | 190 | 173 | 171 | 103 | 118 | 135 | 172 | 155 | 1,852 |
| 合計 | 16,051 | 14,587 | 17,266 | 17,162 | 15,677 | 15,441 | 16,921 | 14,951 | 16,076 | 15,309 | 15,702 | 17,422 | 192,565 |

筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

# つくばトータルヘルスプラザ

**【総括】**

**1．2015 年度の実績報告**

2014 年度と比べ、人間ドック受診者数は 3.5％増加し、巡回健診受診者数は 15.3％増加した。院内健診においては 0.3％減少したものの、施設全体でみると 6.5％の増加であった。特に巡回健診受診者数の伸び率が大きく、主な要因としては、学校健診が新規で 2 校増えたことが挙げられる。2015 年度の目標は、1 月～ 3 月の人間ドック受診者数が 900 名／月であったことに対し、達成したのは 2 月のみに留まった。しかし、1 月～ 3 月を平均すると目標の 900 名を超えることができた。

フェニックスの延べ来館者数は、2014 年度に比べ 25.2％増加した。昨年度を大幅に上回る数字となったが、1 日平均延べ来館者数は 82.2 名と、目標である 90 名には届かなかった。通所リハビリテーションは、利用者数が徐々に増えてきている。引き続き広報活動に力を入れていきたい。

職員の教育として、看護師、保健師、放射線技師、臨床検査技師、事務、トレーナーが順番で講師を担当し勉強会を行った。MRI 検査についてや ABI 検査（動脈硬化度検査）について、接遇についてや個人情報保護についてなど毎月 1 回（第 4 木曜日 17：00 ～）定期的に開催し、職員間の情報共有に努めた。

学会活動は、日本人間ドック学会学術大会と日本総合健診医学会学術大会にそれぞれ 1 演題を発表した。

**2．2016 年度の課題・目標**

2016 年度は受診者の満足度向上を目指し、新規オプション項目を増やしていきたい。また、閑散期である 1 月～ 3 月の人間ドック受診者数を引き続き 900 名／月とし、フェニックスの延べ来館者数を 100 名／日とする。学会活動についても、日本人間ドック学会と日本総合健診医学会にそれぞれ演題発表を行っていく。

［文責：風野和之］

**【人事】**

| 氏名 | 役職 | 診療科 | 勤務 |
|---|---|---|---|
| 中原　　朗 | つくばトータルヘルスプラザ施設長<br>消化器健診センター長 | 消化器内科 | 常（HP） |
| 山根　一秀 | つくばトータルヘルスプラザ顧問 | リウマチ・アレルギー科 | 常（HP） |
| 設楽佐代子 | 消化器内科科長 | 消化器内科 | 常（HP） |
| 本橋　　歩 | | 消化器内科 | 常（HP） |
| 小松あかね | 婦人科科長 | 婦人科 | 常（HP） |
| 清水　郁子 | | 代謝内科 | 常（HP） |
| 伊藤　由布 | | 血液内科 | 非（HP） |
| 坂田麻実子 | | 血液内科 | 非（HP） |
| 鈴木　幸恵 | | 血液内科 | 非（HP） |
| 赤石　聡子 | | 循環器内科 | 非（HP） |
| 安部　悠人 | | 循環器内科 | 非（HP） |
| 宮内　　卓 | | 循環器内科 | 非（HP） |
| 芳賀　厚子 | | 循環器内科 | 非（HP） |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 岩井健太郎 | | 消化器内科 | 非（HP） |
| 江南ちあき | | 消化器内科 | 非（HP） |
| 高木　薫子 | | 消化器内科 | 非（HP） |
| 中森　　容 | | 消化器内科 | 非（HP） |
| 福田由紀子 | | 消化器内科 | 非（HP） |
| 俣野　大介 | | 消化器内科 | 非（HP） |
| 岡田　純代 | | 代謝内科 | 非（HP） |
| 金津　赫生 | | 内科 | 非（HP） |
| 島　さつき | | 内科 | 非（HP） |
| 廣瀬　千尋 | | 内科 | 非（HP） |
| 柳　　久子 | | 内科 | 非（HP） |
| 中村　優子 | | 婦人科 | 非（HP） |
| 小竹　文雄 | | 放射線科 | 非（HP） |
| 野中美喜子 | | 小児科 | 非（HP） |

**【業務実績】**

**人間ドック、健康診断受診者数**

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人間ドック | 日帰り | 711 | 858 | 1,186 | 1,136 | 959 | 928 | 1,071 | 954 | 988 | 820 | 885 | 767 | 11,263 |
| | 一泊 | 1 | 0 | 1 | 5 | 6 | 0 | 2 | 4 | 5 | 1 | 5 | 4 | 34 |
| | 脳ドック | 22 | 46 | 65 | 63 | 33 | 49 | 54 | 55 | 54 | 50 | 54 | 48 | 593 |
| | レディース | 16 | 27 | 12 | 17 | 27 | 10 | 26 | 19 | 32 | 20 | 37 | 98 | 341 |
| ドック | | 738 | 908 | 1,243 | 1,197 | 1,029 | 974 | 1,142 | 1,021 | 1,075 | 875 | 946 | 890 | 12,038 |
| 院　内 | | 448 | 935 | 1,581 | 1,626 | 1,547 | 1,327 | 1,614 | 1,544 | 1,367 | 1,363 | 1,437 | 1,337 | 16,126 |
| 巡　回 | | 4,109 | 1,957 | 2,508 | 1,173 | 1,546 | 1,367 | 2,057 | 1,891 | 555 | 145 | 969 | 483 | 18,760 |

**部位別精検指示及び実施者数**

| | | 胃部X線 | 胃内視鏡 | 胸部X線 | 心電図 | 便 | 腹部超音波 | マンモグラフィ | 子宮細胞診 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 精検指示者数 | 2014年度 | 931 | 88 | 618 | 1,340 | 1,174 | 248 | 322 | 321 |
| | 上半期 | 437 | 27 | 370 | 630 | 672 | 119 | 102 | 180 |
| 精検実施者数 | 2014年度 | 342 | 99 | 277 | 147 | 261 | 134 | 153 | 58 |
| | 上半期 | 141 | 60 | 155 | 63 | 145 | 71 | 57 | 38 |

**フェニックス延べ来館者数**

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1,898 | 1,722 | 2,035 | 2,009 | 2,037 | 1,819 | 2,153 | 1,880 | 1,916 | 2,092 | 2,269 | 2,321 | 24,151 |

**フェニックスイベント**

| 名　　称 | 件数 | 開催日 |
|---|---|---|
| 第4回ノルディックウォーキング体験会 | 18名 | 2015.5.31 |
| 第5回ノルディックウォーキング体験会 | 11名 | 2015.6.28 |
| 第6回ノルディックウォーキング体験会 | 16名 | 2015.7.26 |
| 第7回ノルディックウォーキング体験会 | 14名 | 2015.8.30 |
| 第8回ノルディックウォーキング体験会 | 12名 | 2015.9.27 |
| 第9回ノルディックウォーキング体験会 | 16名 | 2015.10.25 |
| 第10回ノルディックウォーキング体験会 | 18名 | 2015.11.29 |
| ノルディックウォーキング中上級者向け | 10名 | 2016.1.31 |
| ノルディックウォーキング中上級者向け | 10名 | 2016.2.28 |

**【学会・講演・セミナー等】**

| 発　表　者 | 演　題　名 | 学会・会合名 | 開催地 | 開催年月 |
|---|---|---|---|---|
| 高山淳子、鈴木美帆、齊藤華、設楽佐代子、細川芳江、本橋　歩、中原　朗、山根一秀 | 男性単身者の食生活と中性脂肪の関連 | 第56回日本人間ドック学会学術大会 | 横浜 | 2015.7 |
| 二瓶久美子、古澤　弦、関澤智光、齊藤　華、高山淳子、坂本真樹、鈴木美帆、細川芳江、本橋　歩、設楽佐代子、中原　朗、山根一秀 | 当施設の特定保健指導受診者における運動機能評価の実施について～立ち上がりテスト、２ステップテスト導入の試み～ | 日本総合健診医学会第44回大会 | 東京 | 2016.1 |
| 設楽佐代子 | 脳卒中に克つために | 講演 | エステック（株） | 2015.5 |
| 本橋　歩 | 目の健康～疲れ目について～ | 講演 | 住友林業（株） | 2015.5 |
| 中原　朗 | 定期健康診断結果から考えてほしいこと | 講演 | 日本ノボパン工業（株） | 2015.5 |
| 中原　朗 | がんはどこまで防げるか～がんの原因を取り除く一次予防について～ | 講演 | 日立化成（株） | 2015.9 |
| 中原　朗 | がんはどこまで防げるか～がんの原因を取り除く一次予防について～ | 講演 | 三菱製紙（株）つくばR&Dセンター | 2015.9 |
| 中原　朗 | がんはどこまで防げるか～がんの原因を取り除く一次予防について～ | 講演 | 国立研究開発法人　土木研究所 | 2015.10 |
| 中原　朗 | がんはどこまで防げるか～がんの原因を取り除く一次予防について～ | 講演 | 東洋インキSCホールディングス（株） | 2015.10 |
| 中原　朗 | がんはどこまで防げるか～がんの原因を取り除く一次予防について～ | 講演 | 筑波学園ガス（株） | 2015.10 |
| 赤石聡子 | メンタルヘルス | 講演 | 大陽日酸（株） | 2015.11 |
| 赤石聡子 | メンタルヘルス | 講演 | （株）TKC | 2015.11 |
| 赤石聡子 | 健康診断・人間ドックの結果からわかること | 講演 | 損害保険ジャパン日本興亜（株） | 2016.2 |
| 中原　朗 | インフルエンザ・感染性胃腸炎・花粉症・ストレスチェック | 講演 | 三菱製紙（株）つくばR&Dセンター | 2016.3 |
| 神宮史明 | 身体機能評価・中学1,2年生、フィジカルトレーニング | 出張指導 | 元上郷高校グラウンド（学園ボーイズ） | 2015.4-2016.3（月1回） |
| 二瓶久美子 | 50～70歳代女性、ストレッチ、エアロビクス、ピラティス | 出張指導 | 下妻保健センター | 2015.4-2016.3（月2回） |
| 塚田優子 | 60～90歳代、ストレッチ、頭の体操、低強度の筋トレ、チェアエクササイズ | 出張指導 | 大宿公民館（豊里クラブ） | 2015.4-2016.3（8回） |
| 二瓶久美子、神宮史明 | 20～50歳代、ストレッチ体操と歩き方教室 | 出張指導 | 住友化学（株）筑波開発研究所 | 2015.4 |
| 山口可奈、古徳卓也 | つくば市在住障害のある小学生、集団でのボール運動、模倣ゲーム、ストレッチ体操等 | 出張指導 | つくば市いきいきプラザ | 2015.6-2016.3（月1回） |
| 二瓶久美子 | 20～50歳代、ストレッチ教室 | 出張指導 | （株）クボタ筑波工場 | 2015.6 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 設楽佐代子、鈴木美帆、神宮史明、二瓶久美子 | 疾病予防（生活習慣病と言われたら）、栄養指導（食事接取で知っておいて欲しいこと）、運動指導（運動による減量のためのヒントとトレーニングポイント） | 出張指導 | （株）トクヤマ | 2015.6 |
| 雨澤隆穂 | 20 ～ 30 歳代、ストレッチ、パンチングエクササイズ | 出張指導 | つくば北警察署 | 2015.6 |
| 神宮史明、雨澤隆穂、池田優子 | 30 ～ 50 歳代、特定保健指導（運動指導と講義） | 出張指導 | 住友化学(株)筑波開発研究所 | 2015.7、2015.10、2015.12 |
| 二瓶久美子、関澤智光、池田優子 | 20 ～ 50 歳代、ピラティス、柔軟性チェックと腰痛や肩こり予防体操 | 出張指導 | ダイキン福祉サービス(株) | 2015.7、2015.10、2016.2 |
| 二瓶久美子、神宮史明 | 20 ～ 50 歳代、腰痛、転倒予防のためのエクササイズとセルフケア | 出張指導 | エヌ・イー・ケムキャット(株) | 2015.10(2回) |
| 設楽佐代子、鈴木美帆、坂本真樹、二瓶久美子 | 疾病予防（生活習慣病と言われたら）、栄養指導（食事接取で知っておいて欲しいこと）、運動指導（運動による減量のためのヒントとトレーニングポイント） | 出張指導 | 保土谷化学工業（株） | 2016.1 |
| 神宮史明 | 20 ～ 50 歳代、腰痛、肩こり予防体操 | 出張指導 | 国土交通省国土地理院 | 2016.2 |
| 関澤智光 | 常総市在住、糖尿病重症化予防教室（運動） | 出張指導 | 水海道公民館（常総市保健福祉部健康保険課） | 2016.2 |

筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

# 介護老人保健施設　つくばケアセンター

**【総括】**

介護老人保健施設では、終末期の需要が増加している。当施設では、ご利用者またはご家族の希望に沿った看取り介護の実施に向けて研修を重ね、施設医との24時間の連絡体制、併設医療機関である筑波記念病院との連携、点滴や吸引等の看護処置体制を整備し、看取り介護を実施した。また、尿路感染症等の治療を積極的に行い、入院件数の減少に努めた。

つくば市介護サービス相談員派遣事業においては、介護サービス相談員の受け入れを継続し、利用者の疑問、不満及び不安の解消に努めた。

防災においては、避難器具を実際に使用する避難訓練を実施した。

通所リハビリテーション及び訪問リハビリテーションでは、ご利用者の社会参加が求められている。当施設では、ご利用者の社会参加を支援するため、家庭や社会への参加を可能とするための目標を作成し、ご利用者のADL及びIADLを向上させるリハビリテーションの実施に努めた。

［文責：小野口俊輔］

**【業務実績】**

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 入所 | 97 | 96 | 97 | 94 | 98 | 96 | 96 | 92 | 90 | 91 | 91 | 99 | 1137 |
| ショートステイ（予防含む） | 7 | 8 | 7 | 8 | 8 | 8 | 13 | 14 | 12 | 14 | 12 | 13 | 124 |
| 通所リハビリ（予防含む） | 89 | 89 | 89 | 91 | 93 | 95 | 97 | 93 | 92 | 88 | 86 | 86 | 1088 |
| 訪問リハビリ（予防含む） | 250 | 244 | 235 | 236 | 230 | 232 | 228 | 240 | 250 | 254 | 252 | 253 | 2904 |

（単位：名）

**【資格保有者数】**

| | |
|---|---|
| 正看護師 | 13名 |
| 准看護師 | 2名 |
| 介護福祉士 | 31名 |
| 社会福祉士 | 2名 |
| ケアマネジャー | 10名 |
| ヘルパー2級 | 1名 |
| 理学療法士 | 27名 |
| 作業療法士 | 10名 |
| 言語聴覚士 | 5名 |

（2015年4月1日現在）

**【年間行事】**

| | 行事内容 | 備　　考 |
|---|---|---|
| 4月 | お花見会 | |
| 5月 | 母の日会 | |
| 6月 | 父の日会 | |
| 7月 | 七夕会 | |
| 9月 | 納涼祭 | ご家族参加者：大人139名、子供30名 |
| | 祝寿会 | |
| 10月 | 運動会 | |
| 11月 | 音園の会 | |
| 12月 | クリスマス会 | |
| 1月 | お正月 | |
| 2月 | 豆まき会 | |
| 3月 | 春の演奏会 | |
| | おやつバイキング | |

筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

# つくば訪問看護ステーション

**【総括】**

2015年度は、2016年1月に管理者が交代となり、病棟から看護師が1名配属され新体制となった。人員は同様で、管理者（看護師）の他、看護師4名、法人内兼務の理学療法士・作業療法士が各2名、事務1名である。

実績を見ると、在宅管理延べ利用者数、訪問看護利用件数、訪問看護利用時間は下回っている。これは数ヶ月間看護師1名が病欠したため、他のスタッフでカバーしたが、外部からの新規依頼を受ける余裕がなく、最終的には新規利用者より終了利用者が多くなったためである。また、新規利用者の特徴として、ターミナル期からの訪問看護開始が多く、短期間で訪問が終了したことも挙げられる。

目標に挙げたサービス内容の満足度向上に対しては、スタッフそれぞれが様々な外部研修へ参加したり、ステーション内でのカンファレンスを定期的に行った。利用者のニーズを的確に捉え、看護が提供できるようチーム一丸となって努力した。

2016年度は、看護師が1名加わる。地域からの新規利用者も積極的に受けて、迅速に対応していく。訪問件数を増やすことになるため、スタッフが疲弊することなく働けるよう、コミュニケーションを大切にしていきたい。また、2年に1回の満足度調査を実施し、課題を明らかにしていく。

［文責：鈴木房江］

**【業務実績】**

| | 引用資料 | 2014年度 | 2015年度 |
|---|---|---|---|
| 在宅管理利用者数 | 利用実績表（期間）：全体［実人数］ | 699 | 681 |
| 訪問看護利用件数 | 訪問職員別実績一覧表（実績回数） | 3979 | 3629 |
| 訪問看護利用時間 | 訪問職員別実績一覧表（訪問／業務時間） | 4118時間42分 | 3910時間31分 |

筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL

# 筑波記念病院　統　計

## 患　者　統　計

### 科別外来患者数

| | 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 循環器内科 | 2014 | 294 | 298 | 282 | 283 | 289 | 284 | 279 | 287 | 368 | 521 | 241 | 265 | 3,691 |
| | 2015 | 260 | 264 | 223 | 265 | 269 | 250 | 218 | 265 | 278 | 264 | 323 | 253 | 3,132 |
| 消化器内科 | 2014 | 680 | 652 | 630 | 729 | 654 | 617 | 682 | 704 | 818 | 753 | 582 | 620 | 8,121 |
| | 2015 | 664 | 675 | 731 | 826 | 743 | 710 | 748 | 735 | 778 | 833 | 856 | 796 | 9,095 |
| 血液内科 | 2014 | 436 | 412 | 349 | 465 | 439 | 412 | 436 | 387 | 496 | 537 | 410 | 414 | 5,193 |
| | 2015 | 402 | 377 | 307 | 409 | 416 | 489 | 469 | 437 | 469 | 489 | 457 | 526 | 5,247 |
| 神経内科 | 2014 | 157 | 149 | 143 | 154 | 135 | 145 | 144 | 130 | 136 | 92 | 145 | 137 | 1,667 |
| | 2015 | 138 | 134 | 146 | 150 | 152 | 115 | 149 | 126 | 134 | 112 | 132 | 120 | 1,608 |
| 代謝内科 | 2014 | 9 | 24 | 18 | 22 | 25 | 17 | 25 | 15 | 15 | 18 | 29 | 22 | 239 |
| | 2015 | 40 | 16 | 15 | 29 | 40 | 47 | 50 | 44 | 40 | 68 | 53 | 64 | 506 |
| 呼吸器内科 | 2014 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2015 | 43 | 56 | 32 | 50 | 56 | 41 | 46 | 42 | 34 | 51 | 48 | 46 | 545 |
| 消化器外科 | 2014 | 246 | 314 | 241 | 271 | 271 | 263 | 251 | 245 | 297 | 199 | 238 | 247 | 3,083 |
| | 2015 | 222 | 242 | 220 | 250 | 249 | 208 | 221 | 210 | 219 | 191 | 188 | 220 | 2,640 |
| 呼吸器外科 | 2014 | 98 | 101 | 133 | 129 | 145 | 140 | 73 | 80 | 79 | 78 | 65 | 58 | 1,179 |
| | 2015 | 61 | 71 | 62 | 70 | 78 | 63 | 81 | 76 | 73 | 90 | 60 | 72 | 857 |
| 心臓血管外科 | 2014 | 98 | 108 | 115 | 117 | 81 | 90 | 134 | 119 | 119 | 92 | 102 | 118 | 1,293 |
| | 2015 | 118 | 109 | 125 | 125 | 116 | 137 | 164 | 153 | 165 | 158 | 177 | 201 | 1,748 |
| 脳神経外科 | 2014 | 145 | 149 | 155 | 147 | 136 | 131 | 149 | 131 | 134 | 102 | 114 | 128 | 1,621 |
| | 2015 | 152 | 134 | 156 | 152 | 139 | 184 | 167 | 175 | 213 | 147 | 166 | 181 | 1,966 |
| 整形外科 | 2014 | 511 | 510 | 437 | 529 | 545 | 524 | 587 | 561 | 574 | 536 | 556 | 566 | 6,436 |
| | 2015 | 504 | 499 | 545 | 555 | 527 | 483 | 518 | 451 | 429 | 445 | 402 | 504 | 5,862 |
| 婦人科 | 2014 | 33 | 23 | 23 | 16 | 19 | 4 | 11 | 28 | 35 | 41 | 26 | 32 | 291 |
| | 2015 | 30 | 37 | 24 | 33 | 27 | 32 | 44 | 32 | 30 | 20 | 28 | 20 | 357 |
| 眼　科 | 2014 | 11 | 21 | 20 | 18 | 4 | 16 | 18 | 22 | 16 | 15 | 7 | 14 | 182 |
| | 2015 | 15 | 6 | 18 | 12 | 10 | 14 | 19 | 12 | 13 | 17 | 26 | 27 | 189 |
| 耳鼻咽喉科 | 2014 | 51 | 47 | 69 | 59 | 51 | 34 | 26 | 32 | 43 | 34 | 28 | 29 | 503 |
| | 2015 | 26 | 25 | 40 | 40 | 37 | 38 | 34 | 37 | 51 | 20 | 30 | 32 | 410 |
| 皮膚科 | 2014 | 10 | 8 | 10 | 5 | 7 | 9 | 8 | 7 | 12 | 9 | 5 | 5 | 95 |
| | 2015 | 5 | 3 | 11 | 2 | 4 | 5 | 6 | 8 | 4 | 1 | 4 | 0 | 53 |
| 小児科 | 2014 | 301 | 305 | 344 | 367 | 359 | 360 | 374 | 387 | 395 | 344 | 431 | 462 | 4,429 |
| | 2015 | 415 | 439 | 453 | 442 | 442 | 448 | 464 | 453 | 489 | 521 | 453 | 488 | 5,507 |
| 精神科 | 2014 | 643 | 672 | 611 | 704 | 562 | 702 | 644 | 574 | 673 | 559 | 604 | 644 | 7,592 |
| | 2015 | 629 | 571 | 650 | 622 | 652 | 632 | 609 | 578 | 670 | 598 | 579 | 662 | 7,452 |
| 麻酔科 | 2014 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2015 | 25 | 25 | 33 | 36 | 27 | 32 | 28 | 32 | 31 | 37 | 32 | 51 | 389 |
| 放射線科 | 2014 | 44 | 34 | 36 | 45 | 28 | 24 | 48 | 33 | 20 | 32 | 24 | 37 | 405 |
| | 2015 | 35 | 20 | 27 | 25 | 43 | 38 | 43 | 40 | 37 | 38 | 42 | 40 | 428 |
| リハビリテーション科 | 2014 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2015 | 11 | 10 | 6 | 14 | 8 | 8 | 5 | 5 | 7 | 3 | 2 | 4 | 83 |
| リウマチ・アレルギー科 | 2014 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2015 | 9 | 12 | 19 | 12 | 15 | 10 | 17 | 20 | 12 | 3 | 6 | 3 | 138 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 形成外科 | 2014 | 33 | 6 | 10 | 11 | 0 | 3 | 12 | 49 | 9 | 5 | 11 | 11 | 160 |
| | 2015 | 5 | 8 | 8 | 22 | 14 | 16 | 18 | 10 | 15 | 10 | 11 | 11 | 148 |
| 血管専門外来 | 2014 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2015 | 2 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 7 | 5 | 21 |
| 腎臓内科 | 2014 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2015 | 13 | 9 | 5 | 7 | 9 | 1 | 5 | 4 | 2 | 5 | 6 | 4 | 70 |
| 乳腺甲状腺外科 | 2014 | 200 | 190 | 177 | 218 | 184 | 190 | 200 | 174 | 195 | 148 | 199 | 184 | 2,259 |
| | 2015 | 178 | 111 | 196 | 175 | 168 | 148 | 208 | 203 | 209 | 191 | 208 | 213 | 2,208 |
| 泌尿器科 | 2014 | 13 | 17 | 10 | 12 | 9 | 5 | 13 | 11 | 6 | 12 | 9 | 8 | 125 |
| | 2015 | 8 | 8 | 9 | 12 | 13 | 18 | 41 | 28 | 47 | 28 | 26 | 43 | 281 |
| 内　　科 | 2014 | 92 | 138 | 124 | 143 | 109 | 81 | 96 | 112 | 132 | 83 | 89 | 106 | 1,305 |
| | 2015 | 82 | 84 | 67 | 84 | 47 | 66 | 81 | 54 | 58 | 57 | 61 | 58 | 799 |
| 合計 | 2014 | 4,105 | 4,178 | 3,937 | 4,444 | 4,052 | 4,051 | 4,210 | 4,088 | 4,572 | 4,210 | 3,915 | 4,107 | 49,869 |
| | 2015 | 4,092 | 3,945 | 4,129 | 4,419 | 4,303 | 4,233 | 4,454 | 4,230 | 4,508 | 4,399 | 4,383 | 4,644 | 51,739 |

## 救急車搬送患者記録

| | | 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 患者数（搬送台数） | | 2014 | 193名 | 242名 | 237名 | 235名 | 229名 | 223名 | 191名 | 218名 | 213名 | 207名 | 178名 | 170名 | 2536名 |
| | | | 188台 | 240台 | 235台 | 229台 | 228台 | 219台 | 182台 | 216台 | 211台 | 207台 | 174台 | 169台 | 2498台 |
| | | 2015 | 210名 | 224名 | 182名 | 228名 | 154名 | 207名 | 204名 | 205名 | 229名 | 208名 | 228名 | 210名 | 2489名 |
| | | | 207台 | 222台 | 180台 | 225台 | 147台 | 204台 | 202台 | 199台 | 224台 | 207台 | 225台 | 210台 | 2452台 |
| 症度別 | 入　院 | 2014 | 71名 | 107名 | 108名 | 84名 | 101名 | 98名 | 71名 | 80名 | 79名 | 92名 | 80名 | 74名 | 1045名 |
| | | | 36.8% | 44.2% | 45.6% | 35.7% | 44.1% | 43.9% | 37.2% | 36.7% | 37.1% | 44.4% | 44.9% | 43.5% | 41.2% |
| | 外　来 | | 122名 | 135名 | 129名 | 151名 | 128名 | 125名 | 120名 | 138名 | 134名 | 115名 | 98名 | 96名 | 1491名 |
| | | | 63.2% | 55.8% | 54.4% | 64.3% | 55.9% | 56.1% | 62.8% | 63.3% | 62.9% | 55.6% | 55.1% | 56.5% | 58.8% |
| | 入　院 | 2015 | 83名 | 88名 | 69名 | 84名 | 59名 | 87名 | 97名 | 97名 | 97名 | 98名 | 113名 | 102名 | 1074名 |
| | | | 39.5% | 39.3% | 37.9% | 36.8% | 38.3% | 42.0% | 47.5% | 47.3% | 42.4% | 47.1% | 49.6% | 48.6% | 43.1% |
| | 外　来 | | 127名 | 136名 | 113名 | 144名 | 95名 | 120名 | 107名 | 108名 | 132名 | 110名 | 115名 | 108名 | 1415名 |
| | | | 60.5% | 60.7% | 62.1% | 63.2% | 61.7% | 58.0% | 52.5% | 52.7% | 57.6% | 52.9% | 50.4% | 51.4% | 56.9% |
| 診療科別 | 内科系 | 2014 | 123名 | 144名 | 156名 | 158名 | 155名 | 129名 | 104名 | 127名 | 135名 | 145名 | 117名 | 107名 | 1600名 |
| | | | 63.7% | 59.5% | 65.8% | 67.2% | 67.7% | 57.8% | 54.5% | 58.3% | 63.4% | 70% | 65.7% | 62.9% | 63.1% |
| | 外科系 | | 70名 | 98名 | 81名 | 77名 | 74名 | 94名 | 87名 | 91名 | 78名 | 62名 | 61名 | 63名 | 936名 |
| | | | 36.3% | 40.5% | 34.2% | 32.8% | 32.3% | 42.2% | 45.5% | 41.7% | 36.6% | 30% | 34.3% | 37.1% | 36.9% |
| | 内科系 | 2015 | 124名 | 132名 | 114名 | 148名 | 102名 | 123名 | 123名 | 120名 | 139名 | 141名 | 143名 | 138名 | 1547名 |
| | | | 59.0% | 58.9% | 62.6% | 64.9% | 66.2% | 59.4% | 60.3% | 58.5% | 60.7% | 67.8% | 62.7% | 65.7% | 62.2% |
| | 外科系 | | 86名 | 92名 | 68名 | 80名 | 52名 | 84名 | 81名 | 85名 | 90名 | 67名 | 85名 | 72名 | 942名 |
| | | | 41.0% | 41.1% | 37.4% | 35.1% | 33.8% | 40.6% | 39.7% | 41.5% | 39.3% | 32.2% | 37.3% | 34.3% | 37.8% |
| 交通事故 | | 2014 | 27名 | 27名 | 30名 | 28名 | 22名 | 36名 | 43名 | 29名 | 28名 | 20名 | 28名 | 20名 | 338名 |
| | | | 14% | 11.2% | 12.7% | 11.9% | 9.6% | 16.1% | 22.5% | 13.3% | 13.1% | 9.7% | 15.7% | 11.8% | 13.3% |
| | | 2015 | 31名 | 38名 | 24名 | 31名 | 21名 | 33名 | 29名 | 30名 | 29名 | 21名 | 29名 | 18名 | 334名 |
| | | | 14.8% | 17.0% | 13.2% | 13.6% | 13.6% | 15.9% | 14.2% | 14.6% | 12.7% | 10.1% | 12.7% | 8.6% | 13.4% |

## ドクターヘリ搬送患者数

| 年　度 | 合　計 |
|---|---|
| 2014 | 6名 |
| 2015 | 14名 |

## 平均在院日数（一般病棟）

| | 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平　均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 循環器内科 | 2014 | 15.7 | 15 | 13.4 | 13 | 13.1 | 13.8 | 13.2 | 13.3 | 14.2 | 15.8 | 16 | 12.1 | 14.1 |
| | 2015 | 12.7 | 16.1 | 14.4 | 10.5 | 12.1 | 9.7 | 11.6 | 12.3 | 11.9 | 11.8 | 6.7 | 6.7 | 11.4 |
| 消化器内科 | 2014 | 17.1 | 14 | 15.8 | 15.5 | 16 | 17.3 | 17.2 | 17.8 | 15.4 | 18.5 | 19.3 | 16.6 | 16.7 |
| | 2015 | 14.3 | 15.5 | 13.4 | 15.4 | 17.2 | 15.5 | 15.6 | 13.9 | 14.0 | 16.8 | 2.1 | 2.1 | 13.0 |
| 血液内科 | 2014 | 17.2 | 20.6 | 16.3 | 17.2 | 16.8 | 18.8 | 23.2 | 25.6 | 22.6 | 21.6 | 26 | 19.9 | 20.5 |
| | 2015 | 26.4 | 24.7 | 21.6 | 22.5 | 20.0 | 21.7 | 25.1 | 22.8 | 21.1 | 26.8 | 4.2 | 4.2 | 20.1 |
| 神経内科 | 2014 | 30 | 8 | 4.9 | 6 | 3.5 | 0 | 30 | 4 | 0 | 4 | 5.4 | 5 | 10.1 |
| | 2015 | 0 | 0 | 0 | 4.0 | 0 | 0 | 12.0 | 1.0 | 30.0 | 0 | 0 | 0 | 11.8 |
| 代謝内科 | 2014 | 3 | 0 | 14 | 9 | 0 | 0 | 3 | 0 | 3 | 3 | 3 | 0 | 5.4 |
| | 2015 | 8.7 | 2.7 | 3.0 | 20.6 | 16.3 | 11.1 | 13.7 | 11.2 | 14.7 | 16.1 | 2.9 | 2.9 | 10.3 |
| 呼吸器内科 | 2014 | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – | – |
| | 2015 | 31.5 | 18.8 | 19.0 | 22.2 | 12.3 | 15.8 | 13.7 | 22.7 | 17.1 | 20.4 | 7.9 | 7.9 | 17.4 |
| 消化器外科 | 2014 | 16.9 | 17.1 | 13.1 | 13.9 | 15.8 | 14.4 | 15.6 | 14 | 14.7 | 13.7 | 13.7 | 14.3 | 14.8 |
| | 2015 | 12.0 | 13.2 | 14.5 | 13.9 | 16.3 | 14.6 | 13.5 | 13.0 | 14.6 | 13.9 | 1.3 | 1.3 | 11.9 |
| 呼吸器外科 | 2014 | 11.4 | 10.1 | 12 | 14.6 | 11.5 | 10.5 | 14.8 | 11.9 | 13.8 | 16.4 | 13.2 | 17 | 13.1 |
| | 2015 | 11.6 | 18.1 | 15.0 | 15.0 | 9.4 | 11.8 | 13.9 | 14.9 | 13.0 | 8.9 | 3.3 | 3.3 | 11.5 |
| 心臓血管外科 | 2014 | 14.3 | 11.4 | 10.1 | 15.4 | 8.5 | 12.6 | 11.6 | 14.4 | 12.2 | 8.8 | 7 | 7 | 11.1 |
| | 2015 | 7.5 | 7.6 | 8.0 | 6.3 | 8.4 | 8.0 | 6.6 | 7.4 | 11.4 | 7.5 | 7.7 | 9.8 | 8.0 |
| 脳神経外科 | 2014 | 21.3 | 23.6 | 24.8 | 27.6 | 17.5 | 15.9 | 23.3 | 27.7 | 29.5 | 24.7 | 25.7 | 25 | 23.9 |
| | 2015 | 16.4 | 20.7 | 25.9 | 16.1 | 29.5 | 19.7 | 19.4 | 21.3 | 20.7 | 20.4 | 13.5 | 13.5 | 19.8 |
| 整形外科 | 2014 | 20 | 21.5 | 25.7 | 23.2 | 18.9 | 25.5 | 21.9 | 27.5 | 20.6 | 20.5 | 19.4 | 20 | 22.1 |
| | 2015 | 22.4 | 23.0 | 27.4 | 26.3 | 20.3 | 28.0 | 24.7 | 31.3 | 23.7 | 25.2 | 2.4 | 2.4 | 21.4 |
| 婦人科 | 2014 | 5 | 7 | 11.2 | 7.3 | 7.5 | 6.3 | 7.1 | 6.8 | 9.3 | 7.2 | 9.6 | 6.8 | 7.6 |
| | 2015 | 3.4 | 5.3 | 5.6 | 6.4 | 4.7 | 7.2 | 4.9 | 4.4 | 6.9 | 7.6 | 0 | 0 | 4.7 |
| 眼　科 | 2014 | 1.5 | 1.1 | 1.5 | 2.9 | 1.4 | 1.6 | 1.9 | 1.7 | 1.5 | 1.5 | 1.3 | 1.2 | 1.6 |
| | 2015 | 1.5 | 2.1 | 1.9 | 1.5 | 1.2 | 1.9 | 1.8 | 1.7 | 2.0 | 2.0 | 0 | 0 | 1.5 |
| 耳鼻咽喉科 | 2014 | 3.4 | 3.4 | 5.5 | 4.4 | 6.4 | 5.1 | 5.9 | 9.6 | 5.1 | 7.4 | 9.1 | 6.7 | 6 |
| | 2015 | 6.1 | 5.4 | 4.2 | 6.5 | 7.5 | 7.9 | 8.4 | 4.4 | 5.4 | 7.0 | 2.3 | 2.3 | 5.6 |
| 皮膚科 | 2014 | 0 | 7 | 44 | 18 | 0 | 19 | 12 | 0 | 30 | 0 | 6 | 36 | 21.5 |
| | 2015 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 8.0 | 18.0 | 6.7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8.4 |
| 内　科 | 2014 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1.2 | 0 | 0 | 2 | 1.5 | 0 | 1.7 |
| | 2015 | 1.0 | 1.6 | 1.0 | 1.0 | 2.7 | 1.0 | 0.8 | 4.0 | 2.7 | 1.2 | 0 | 0 | 1.4 |
| 合　計 | 2014 | 16 | 15.8 | 15.1 | 15.4 | 14.4 | 15.7 | 16.4 | 17.4 | 15.7 | 16.5 | 16.6 | 14.7 | 15.8 |
| | 2015 | 15.1 | 16.8 | 15.5 | 15.1 | 15.3 | 14.9 | 15.1 | 15.6 | 15.3 | 15.8 | 14.9 | 15.1 | 15.3 |

※回復期リハ、療養病棟を除く

## 入院延べ患者数

| | 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 循環器内科 | 2014 | 2,124 | 1,918 | 1,770 | 1,771 | 1,736 | 1,732 | 1,688 | 1,783 | 1,768 | 1,986 | 1,781 | 1,744 | 21,801 |
| | 2015 | 1,709 | 1,785 | 1,558 | 1,354 | 1,161 | 1,134 | 1,295 | 1,210 | 1,293 | 1,531 | 1,410 | 0 | 15,440 |
| 消化器内科 | 2014 | 1,513 | 1,428 | 1,427 | 1,386 | 1,358 | 1,432 | 1,474 | 1,555 | 1,309 | 1,492 | 1,291 | 1,246 | 16,911 |
| | 2015 | 1,035 | 1,182 | 1,200 | 1,276 | 1,356 | 1,418 | 1,423 | 1,354 | 1,343 | 1,416 | 1,577 | 0 | 14,580 |
| 血液内科 | 2014 | 1,484 | 1,627 | 1,495 | 1,677 | 1,697 | 1,728 | 1,969 | 1,783 | 1,560 | 1,675 | 1,677 | 1,805 | 20,177 |
| | 2015 | 1,796 | 1,704 | 1,571 | 1,410 | 1,253 | 1,171 | 1,416 | 1,464 | 1,387 | 1,579 | 1,698 | 0 | 16,449 |
| 神経内科 | 2014 | 548 | 610 | 585 | 609 | 570 | 454 | 421 | 366 | 389 | 402 | 422 | 515 | 5,891 |
| | 2015 | 492 | 421 | 360 | 349 | 211 | 157 | 133 | 155 | 182 | 136 | 98 | 0 | 2,694 |
| 代謝内科 | 2014 | 3 | 0 | 7 | 9 | 0 | 0 | 3 | 0 | 3 | 3 | 3 | 0 | 31 |
| | 2015 | 13 | 4 | 3 | 103 | 106 | 89 | 123 | 73 | 85 | 134 | 112 | 0 | 845 |
| 呼吸器内科 | 2014 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2015 | 134 | 345 | 229 | 313 | 263 | 237 | 349 | 450 | 380 | 516 | 493 | 0 | 3,709 |
| 消化器外科 | 2014 | 1,054 | 993 | 1,080 | 1,050 | 902 | 902 | 1,171 | 992 | 1,151 | 880 | 903 | 1,091 | 12,169 |
| | 2015 | 913 | 856 | 1,017 | 1,036 | 1,006 | 856 | 849 | 892 | 1,076 | 974 | 829 | 0 | 10,304 |
| 呼吸器外科 | 2014 | 316 | 242 | 319 | 443 | 360 | 344 | 341 | 403 | 456 | 363 | 309 | 403 | 4,299 |
| | 2015 | 396 | 375 | 275 | 279 | 275 | 231 | 346 | 481 | 391 | 280 | 285 | 0 | 3,614 |
| 心臓血管外科 | 2014 | 223 | 204 | 282 | 372 | 280 | 289 | 308 | 392 | 417 | 268 | 170 | 249 | 3,454 |
| | 2015 | 198 | 186 | 183 | 223 | 261 | 221 | 268 | 324 | 379 | 329 | 263 | 0 | 2,835 |
| 脳神経外科 | 2014 | 1,063 | 1,002 | 874 | 887 | 944 | 833 | 935 | 972 | 840 | 879 | 700 | 778 | 10,707 |
| | 2015 | 842 | 1,116 | 1,285 | 1,480 | 1,617 | 1,682 | 1,843 | 1,909 | 2,106 | 2,016 | 2,043 | 0 | 17,939 |
| 整形外科 | 2014 | 1,708 | 2,008 | 2,193 | 2,141 | 1,825 | 1,931 | 2,203 | 2,316 | 2,322 | 2,291 | 2,019 | 2,175 | 25,132 |
| | 2015 | 2,235 | 2,140 | 2,310 | 2,516 | 2,359 | 2,145 | 1,974 | 2,181 | 2,181 | 2,131 | 1,949 | 0 | 24,121 |
| 婦人科 | 2014 | 28 | 46 | 101 | 59 | 54 | 22 | 61 | 28 | 76 | 44 | 26 | 44 | 589 |
| | 2015 | 27 | 32 | 28 | 35 | 42 | 43 | 54 | 11 | 55 | 0 | 50 | 0 | 377 |
| 眼　科 | 2014 | 41 | 35 | 53 | 59 | 38 | 34 | 42 | 42 | 42 | 40 | 34 | 45 | 505 |
| | 2015 | 30 | 42 | 55 | 28 | 22 | 37 | 37 | 41 | 42 | 53 | 48 | 0 | 435 |
| 耳鼻咽喉科 | 2014 | 15 | 34 | 33 | 58 | 54 | 56 | 88 | 125 | 82 | 77 | 100 | 84 | 806 |
| | 2015 | 116 | 81 | 72 | 127 | 109 | 134 | 105 | 42 | 97 | 60 | 110 | 0 | 1,053 |
| 皮膚科 | 2014 | 0 | 14 | 66 | 9 | 0 | 38 | 12 | 0 | 15 | 0 | 6 | 29 | 189 |
| | 2015 | 30 | 31 | 31 | 31 | 31 | 38 | 23 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 225 |
| リハビリテーション科 | 2014 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2015 | 30 | 31 | 51 | 34 | 25 | 1 | 35 | 47 | 31 | 31 | 30 | 0 | 346 |
| 泌尿器科 | 2014 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2015 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| 内　科 | 2014 | 4 | 3 | 1 | 3 | 2 | 2 | 3 | 0 | 0 | 4 | 2 | 0 | 24 |
| | 2015 | 2 | 4 | 1 | 3 | 4 | 1 | 2 | 8 | 4 | 3 | 2 | 0 | 34 |
| 合　計 | 2014 | 10,124 | 10,164 | 10,286 | 10,533 | 9,820 | 9,797 | 10,719 | 10,757 | 10,430 | 10,404 | 9,443 | 10,208 | 122,685 |
| | 2015 | 9,998 | 10,335 | 10,229 | 10,597 | 10,101 | 9,595 | 10,275 | 10,652 | 11,043 | 11,189 | 10,997 | 0 | 115,011 |

## 新入院患者数

| | 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 循環器内科 | 2014 | 91 | 88 | 85 | 88 | 94 | 87 | 81 | 93 | 77 | 91 | 79 | 95 | 1,049 |
| | 2015 | 81 | 72 | 70 | 80 | 55 | 85 | 78 | 75 | 81 | 94 | 81 | 84 | 936 |
| 消化器内科 | 2014 | 71 | 78 | 75 | 68 | 70 | 67 | 76 | 73 | 72 | 75 | 55 | 61 | 841 |
| | 2015 | 62 | 70 | 83 | 76 | 63 | 84 | 68 | 85 | 77 | 87 | 94 | 98 | 947 |
| 血液内科 | 2014 | 75 | 59 | 76 | 80 | 81 | 78 | 69 | 52 | 51 | 74 | 50 | 75 | 820 |
| | 2015 | 57 | 53 | 59 | 56 | 52 | 47 | 52 | 57 | 49 | 58 | 68 | 67 | 675 |
| 神経内科 | 2014 | 2 | 2 | 7 | 2 | 4 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 4 | 1 | 33 |
| | 2015 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 8 |
| 代謝内科 | 2014 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 7 |
| | 2015 | 2 | 1 | 1 | 6 | 5 | 11 | 9 | 7 | 7 | 8 | 11 | 9 | 77 |
| 呼吸器内科 | 2014 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2015 | 7 | 18 | 9 | 13 | 0 | 13 | 20 | 17 | 15 | 18 | 19 | 13 | 162 |
| 消化器外科 | 2014 | 57 | 60 | 76 | 75 | 49 | 58 | 73 | 57 | 70 | 63 | 59 | 67 | 764 |
| | 2015 | 61 | 51 | 69 | 60 | 48 | 46 | 49 | 67 | 58 | 69 | 63 | 54 | 695 |
| 呼吸器外科 | 2014 | 23 | 24 | 28 | 22 | 15 | 32 | 11 | 24 | 19 | 16 | 20 | 18 | 252 |
| | 2015 | 25 | 17 | 14 | 13 | 22 | 12 | 21 | 23 | 17 | 20 | 18 | 12 | 214 |
| 心臓血管外科 | 2014 | 18 | 21 | 32 | 28 | 28 | 30 | 24 | 28 | 31 | 27 | 24 | 34 | 325 |
| | 2015 | 29 | 23 | 25 | 34 | 31 | 22 | 36 | 41 | 30 | 43 | 44 | 45 | 403 |
| 脳神経外科 | 2014 | 15 | 16 | 12 | 12 | 15 | 12 | 16 | 13 | 11 | 18 | 14 | 13 | 167 |
| | 2015 | 34 | 31 | 23 | 39 | 21 | 44 | 40 | 38 | 46 | 39 | 41 | 42 | 438 |
| 整形外科 | 2014 | 58 | 69 | 60 | 56 | 66 | 62 | 68 | 59 | 59 | 75 | 54 | 70 | 756 |
| | 2015 | 64 | 52 | 64 | 73 | 75 | 54 | 58 | 60 | 52 | 66 | 59 | 74 | 751 |
| 婦人科 | 2014 | 8 | 11 | 11 | 9 | 8 | 3 | 9 | 6 | 9 | 8 | 4 | 7 | 93 |
| | 2015 | 7 | 6 | 5 | 7 | 7 | 7 | 10 | 3 | 7 | 5 | 9 | 11 | 84 |
| 眼　科 | 2014 | 19 | 16 | 26 | 18 | 24 | 17 | 16 | 19 | 21 | 20 | 18 | 28 | 242 |
| | 2015 | 18 | 22 | 29 | 17 | 18 | 21 | 19 | 25 | 20 | 29 | 26 | 19 | 263 |
| 耳鼻咽喉科 | 2014 | 4 | 9 | 6 | 13 | 10 | 12 | 14 | 13 | 15 | 10 | 11 | 10 | 127 |
| | 2015 | 17 | 16 | 17 | 21 | 14 | 15 | 10 | 10 | 15 | 6 | 15 | 17 | 173 |
| 皮膚科 | 2014 | 0 | 3 | 2 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 10 |
| | 2015 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| リハビリテーション科 | 2014 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2015 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 5 |
| 内　科 | 2014 | 4 | 5 | 1 | 3 | 2 | 2 | 5 | 0 | 2 | 4 | 3 | 1 | 32 |
| | 2015 | 4 | 5 | 2 | 4 | 2 | 2 | 5 | 4 | 3 | 4 | 1 | 3 | 39 |
| 合　計 | 2014 | 446 | 461 | 498 | 475 | 466 | 465 | 466 | 439 | 441 | 484 | 397 | 480 | 5,518 |
| | 2015 | 469 | 438 | 472 | 501 | 413 | 466 | 478 | 514 | 478 | 546 | 551 | 548 | 5,874 |

## 手術件数（入院・外来）

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 循環器内科 | 入院 | 20 | 27 | 33 | 31 | 20 | 26 | 32 | 36 | 32 | 37 | 26 | 35 | 355 |
| | 外来 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 消化器内科 | 入院 | 30 | 24 | 39 | 35 | 41 | 30 | 41 | 42 | 55 | 40 | 43 | 45 | 465 |
| | 外来 | 37 | 37 | 31 | 39 | 53 | 41 | 54 | 40 | 68 | 48 | 43 | 44 | 535 |
| 血液内科 | 入院 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 3 | 16 |
| | 外来 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 消化器外科 | 入院 | 38 | 43 | 47 | 44 | 33 | 35 | 42 | 44 | 42 | 43 | 40 | 38 | 489 |
| | 外来 | 8 | 12 | 9 | 14 | 19 | 7 | 17 | 6 | 8 | 5 | 13 | 20 | 138 |
| 呼吸器外科 | 入院 | 7 | 8 | 3 | 4 | 5 | 3 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 7 | 67 |
| | 外来 | 6 | 6 | 3 | 6 | 3 | 8 | 4 | 6 | 6 | 1 | 5 | 4 | 58 |
| 心臓血管外科 | 入院 | 22 | 19 | 18 | 21 | 18 | 21 | 30 | 31 | 37 | 36 | 29 | 40 | 322 |
| | 外来 | 9 | 15 | 8 | 9 | 7 | 6 | 10 | 7 | 13 | 14 | 6 | 14 | 118 |
| 脳神経外科 | 入院 | 9 | 10 | 15 | 15 | 8 | 10 | 13 | 8 | 14 | 16 | 16 | 18 | 152 |
| | 外来 | 2 | 3 | 3 | 1 | 1 | 2 | 5 | 1 | 8 | 1 | 3 | 2 | 32 |
| 整形外科 | 入院 | 62 | 49 | 72 | 67 | 67 | 46 | 44 | 55 | 51 | 64 | 48 | 80 | 705 |
| | 外来 | 7 | 9 | 6 | 11 | 5 | 7 | 8 | 8 | 6 | 4 | 6 | 13 | 90 |
| 婦人科 | 入院 | 8 | 8 | 4 | 4 | 6 | 6 | 8 | 3 | 7 | 4 | 7 | 10 | 75 |
| | 外来 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 4 | 1 | 0 | 1 | 0 | 9 |
| 眼　科 | 入院 | 19 | 17 | 34 | 17 | 18 | 20 | 19 | 24 | 24 | 25 | 28 | 22 | 267 |
| | 外来 | 13 | 5 | 15 | 10 | 7 | 9 | 19 | 12 | 12 | 13 | 22 | 22 | 159 |
| 耳鼻咽喉科 | 入院 | 7 | 10 | 6 | 9 | 4 | 8 | 7 | 4 | 8 | 5 | 6 | 12 | 86 |
| | 外来 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 皮膚科 | 入院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 外来 | 2 | 1 | 4 | 4 | 3 | 1 | 4 | 3 | 3 | 1 | 3 | 0 | 29 |
| 形成外科 | 入院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 外来 | 5 | 7 | 5 | 12 | 8 | 9 | 9 | 6 | 7 | 9 | 8 | 8 | 93 |
| 合　計 | 入院 | 172 | 164 | 199 | 181 | 159 | 149 | 169 | 175 | 189 | 199 | 180 | 227 | 2163 |
| | 外来 | 52 | 59 | 53 | 68 | 54 | 49 | 77 | 53 | 64 | 48 | 67 | 83 | 727 |

※手術室・血管造影室・内視鏡室・救急処置室で行ったもの全て

## 手術件数（入院のみ・時間帯別）

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 循環器内科 | 日勤 | 18 | 26 | 30 | 30 | 18 | 25 | 30 | 34 | 32 | 36 | 25 | 35 | 339 |
| | 緊急 | 2 | 1 | 3 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 16 |
| 消化器内科 | 日勤 | 29 | 22 | 37 | 34 | 38 | 28 | 38 | 38 | 51 | 36 | 41 | 42 | 434 |
| | 緊急 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | 2 | 3 | 4 | 4 | 4 | 2 | 3 | 31 |
| 血液内科 | 日勤 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 2 | 15 |
| | 緊急 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 消化器外科 | 日勤 | 35 | 40 | 46 | 43 | 33 | 34 | 42 | 42 | 40 | 39 | 37 | 38 | 469 |
| | 緊急 | 3 | 3 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 2 | 4 | 3 | 0 | 20 |
| 呼吸器外科 | 日勤 | 7 | 8 | 3 | 4 | 5 | 3 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 7 | 67 |
| | 緊急 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 心臓血管外科 | 日勤 | 21 | 18 | 18 | 20 | 17 | 18 | 29 | 30 | 32 | 34 | 27 | 36 | 300 |
| | 緊急 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 5 | 2 | 2 | 4 | 22 |
| 脳神経外科 | 日勤 | 8 | 8 | 14 | 14 | 7 | 9 | 12 | 8 | 13 | 13 | 13 | 16 | 135 |
| | 緊急 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | 3 | 2 | 17 |
| 整形外科 | 日勤 | 60 | 45 | 72 | 65 | 67 | 44 | 44 | 54 | 51 | 62 | 48 | 79 | 691 |
| | 緊急 | 2 | 4 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 14 |
| 婦人科 | 日勤 | 8 | 8 | 4 | 4 | 6 | 6 | 8 | 3 | 7 | 4 | 7 | 10 | 75 |
| | 緊急 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 眼　科 | 日勤 | 19 | 17 | 34 | 17 | 18 | 20 | 19 | 24 | 24 | 25 | 28 | 22 | 267 |
| | 緊急 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 耳鼻咽喉科 | 日勤 | 7 | 10 | 6 | 9 | 4 | 8 | 7 | 4 | 8 | 5 | 6 | 12 | 86 |
| | 緊急 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 皮膚科 | 日勤 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 緊急 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 形成外科 | 日勤 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 緊急 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合　計 | 日勤 | 165 | 154 | 197 | 176 | 157 | 142 | 167 | 171 | 181 | 188 | 172 | 220 | 2090 |
| | 緊急 | 7 | 10 | 2 | 5 | 2 | 7 | 2 | 4 | 8 | 11 | 8 | 7 | 73 |

## 病床利用率

| | 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般病棟 | 2014 | 83.4% | 81.5% | 87.5% | 84.8% | 78.0% | 81.8% | 87.9% | 92.1% | 84.8% | 84.2% | 85.5% | 81.8% |
| | 2015 | 82.8% | 84.2% | 87.2% | 87.6% | 82.3% | 74.5% | 79.3% | 86.0% | 86.2% | 84.6% | 84.6% | 90.2% |
| 特定集中 | 2014 | 95.0% | 98.4% | 87.5% | 87.9% | 92.7% | 97.5% | 89.5% | 86.7% | 96.0% | 96.0% | 92.9% | 77.4% |
| | 2015 | 86.7% | 86.3% | 98.3% | 84.7% | 82.3% | 100.0% | 91.9% | 103.3% | 108.1% | 92.5% | 92.5% | 91.5% |
| 回復期リハ | 2014 | 93.6% | 90.0% | 93.6% | 93.2% | 91.4% | 88.3% | 91.0% | 90.6% | 90.8% | 87.5% | 87.5% | 93.7% |
| | 2015 | 95.9% | 94.1% | 92.9% | 92.9% | 89.7% | 90.4% | 86.8% | 92.0% | 96.1% | 96.3% | 96.3% | 97.5% |
| 療養病棟 | 2014 | 95.9% | 91.6% | 88.8% | 95.7% | 89.8% | 89.0% | 92.7% | 95.2% | 92.9% | 92.2% | 92.7% | 91.4% |
| | 2015 | 90.7% | 85.6% | 86.2% | 87.1% | 91.7% | 86.2% | 88.0% | 87.0% | 88.6% | 64.7% | 64.7% | 68.5% |
| 合　計 | 2014 | 87.1% | 84.6% | 88.6% | 87.9% | 82.0% | 84.1% | 89.2% | 92.3% | 87.1% | 86.1% | 87.1% | 85.0% |
| | 2015 | 86.1% | 85.9% | 88.0% | 88.3% | 84.2% | 78.4% | 81.7% | 87.0% | 87.1% | 81.7% | 81.7% | 86.4% |

## 主な指導料・管理料算定件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 月平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 救急医療管理加算1 | 310 | 383 | 319 | 280 | 274 | 425 | 603 | 590 | 573 | 671 | 567 | 401 | 450 |
| 救急医療管理加算2（その他） | 50 | 48 | 35 | 43 | 41 | 109 | 66 | 74 | 59 | 124 | 132 | 103 | 74 |
| 救急搬送患者地域連携紹介加算 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 救急搬送患者地域連携受入加算 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 夜間休日緊急搬送医学管理料 | 56 | 67 | 46 | 61 | 27 | 60 | 41 | 40 | 58 | 72 | 55 | 40 | 52 |
| 特定集中治療室管理料3（7日以内） | 102 | 92 | 67 | 92 | 104 | 57 | 57 | 62 | 61 | 137 | 134 | 164 | 94 |
| 特定集中治療室管理料3（14日以内） | 2 | 10 | 29 | 6 | 2 | 3 | 0 | 0 | 6 | 31 | 18 | 32 | 12 |
| 麻酔管理料1（閉鎖循環式全身麻酔） | 84 | 65 | 86 | 93 | 94 | 75 | 82 | 84 | 91 | 93 | 94 | 104 | 87 |
| 麻酔管理料1（脊椎麻酔） | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 3 | 1 | 0 | 3 | 1 |
| 病理組織標本作製 | 224 | 191 | 232 | 228 | 253 | 224 | 308 | 243 | 310 | 277 | 279 | 288 | 255 |
| 画像診断管理加算1（単純撮影） | 704 | 691 | 710 | 814 | 670 | 775 | 794 | 791 | 833 | 850 | 852 | 857 | 778 |
| 画像診断管理加算2（CT,MRI） | 738 | 726 | 783 | 821 | 769 | 770 | 871 | 851 | 832 | 788 | 878 | 946 | 814 |
| 外来化学療法加算2（ベルケイド含む） | 82 | 73 | 63 | 89 | 90 | 93 | 78 | 62 | 60 | 59 | 64 | 88 | 75 |
| 外来栄養食事指導料 | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 入院栄養食事指導料 | 34 | 28 | 37 | 26 | 23 | 32 | 29 | 38 | 45 | 34 | 39 | 45 | 34 |
| 集団栄養食事指導料 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 |
| 薬剤管理指導料 ※1·2含む | 801 | 696 | 839 | 878 | 756 | 762 | 825 | 784 | 795 | 800 | 798 | 914 | 804 |
| 退院時薬剤情報管理指導料 | 168 | 129 | 171 | 162 | 160 | 143 | 166 | 146 | 193 | 156 | 189 | 215 | 182 |
| 薬剤情報提供料 | 318 | 299 | 272 | 332 | 330 | 326 | 293 | 308 | 328 | 382 | 462 | 357 | 334 |
| 無菌治療室管理加算 | 151 | 94 | 129 | 121 | 114 | 159 | 193 | 172 | 138 | 178 | 152 | 158 | 147 |
| 無菌製剤処理料1 | 17 | 1 | 1 | 2 | 0 | 7 | 1 | 2 | 12 | 0 | 1 | 4 | 4 |
| 無菌製剤処理料2 | 332 | 257 | 234 | 187 | 189 | 259 | 241 | 203 | 237 | 151 | 150 | 222 | 222 |
| ﾘﾊﾋﾞﾘ総合計画評価料 | 600 | 591 | 622 | 602 | 574 | 526 | 592 | 541 | 584 | 578 | 584 | 602 | 583 |
| 退院時ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ指導料 | 129 | 125 | 131 | 128 | 128 | 128 | 140 | 118 | 147 | 112 | 133 | 169 | 132 |
| 在宅患者訪問ﾘﾊﾋﾞﾘ指導料 | 33 | 28 | 31 | 33 | 20 | 20 | 24 | 21 | 21 | 19 | 21 | 25 | 25 |
| 医療機器安全管理料 | 10 | 13 | 7 | 11 | 15 | 16 | 19 | 18 | 24 | 23 | 22 | 25 | 17 |
| 初診料 | 462 | 488 | 417 | 493 | 402 | 475 | 442 | 413 | 497 | 583 | 596 | 505 | 481 |
| 選定療養費（初診）※自費2,160円 | 213 | 254 | 184 | 228 | 215 | 232 | 192 | 170 | 247 | 297 | 286 | 224 | 210 |
| 診療情報提供料（Ⅰ） | 157 | 153 | 160 | 167 | 164 | 155 | 170 | 170 | 194 | 168 | 174 | 222 | 171 |
| 診療情報提供料（Ⅱ） | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 退院前訪問指導料 | 21 | 20 | 16 | 26 | 23 | 22 | 22 | 20 | 16 | 16 | 28 | 18 | 21 |
| 在宅療養指導料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 在宅患者訪問診療料 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 訪問看護指示料 | 5 | 3 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 4 | 4 | 3 | 2 | 2 |
| 在宅自己注射指導管理料 | 11 | 12 | 8 | 10 | 9 | 11 | 13 | 13 | 15 | 17 | 14 | 15 | 12 |
| 在宅人工呼吸指導管理料 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 在宅悪性腫瘍患者指導管理料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 在宅寝たきり患者処置指導管理料 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 悪性腫瘍特異物質治療管理料 | 123 | 117 | 132 | 134 | 127 | 129 | 126 | 124 | 118 | 153 | 138 | 139 | 130 |
| 特定薬剤治療管理料 | 27 | 21 | 24 | 20 | 21 | 13 | 27 | 24 | 20 | 26 | 24 | 26 | 23 |
| 特定薬剤治療管理料（4箇月目移行） | 14 | 4 | 9 | 6 | 6 | 3 | 12 | 4 | 5 | 4 | 2 | 4 | 6 |
| 特定薬剤治療管理加算（臓器移植） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 特定薬剤治療管理加算（臓器移植以外） | 15 | 11 | 11 | 14 | 10 | 6 | 11 | 13 | 12 | 16 | 11 | 10 | 12 |
| 重症皮膚潰瘍管理加算 | 86 | 124 | 83 | 93 | 93 | 61 | 46 | 60 | 34 | 31 | 29 | 31 | 64 |
| がん性疼痛緩和指導管理料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 肺血栓塞栓症予防管理料 | 84 | 63 | 87 | 86 | 81 | 70 | 82 | 90 | 89 | 93 | 92 | 104 | 85 |
| 褥瘡評価実施加算（療養病棟） | 996 | 1,005 | 897 | 811 | 886 | 709 | 758 | 760 | 828 | 974 | 1,030 | 1,101 | 896 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 難病患者等入院診療加算 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 介護支援連携指導料 | 8 | 3 | 5 | 3 | 4 | 5 | 7 | 2 | 7 | 6 | 4 | 11 | 5 |
| 退院調整加算 | 38 | 42 | 28 | 27 | 27 | 23 | 36 | 33 | 46 | 35 | 42 | 45 | 35 |
| 救急・在宅等支援療養病床初期加算 | 157 | 187 | 205 | 173 | 164 | 132 | 196 | 219 | 148 | 289 | 240 | 191 | 192 |

**地域がん登録部位別件数**

| 部　位　名 | 第 1 段階 ICD-O-2 形態コード | 第 2 段階 ICD-O-3 形態コード | 件　数 |
|---|---|---|---|
| 口腔・咽頭 | | C00-14 | |
| 食道 | | C15 | 9 |
| 胃 | | C16 | 88 |
| 小腸 | | C17 | 2 |
| 結腸 | | C18 | 55 |
| 直腸 | | C19-20 | 58 |
| 肝臓 | | C22 | 21 |
| 胆嚢・胆管 | | C23-24 | 13 |
| 膵臓 | | C25 | 23 |
| 喉頭 | | C32 | |
| 肺 | | C33-34 | 57 |
| 骨・軟部 | | C33-34 | |
| 皮膚（黒色腫含む） | | C44 | 1 |
| 乳房 | | C50 | 1 |
| 子宮頚部 | | C53 | |
| 子宮体部 | | C54 | |
| 子宮 | | C55 | |
| 卵巣 | | C56 | |
| 前立腺 | | C61 | 2 |
| 膀胱 | | C67 | 7 |
| 腎・他の尿路 | | C67,C64-66,C68 | |
| 脳・中枢神経系 | | C700,C71,C722-C729,C751-753 | |
| 甲状腺 | | C73 | |
| 悪性リンパ腫 | 959-972/974-975 | リンパ腫 | 50 |
| 多発性骨髄腫 | 973,976 | 骨髄腫 | 13 |
| 白血病 | 980-994 | 白血病 | 11 |
| 他の造血器腫瘍 | 995-998 | 造血器腫瘍 | 5 |
| その他（原発不明） | | その他 | 6 |
| | | | 422 |

# 研修・講演会一覧

## 医局（内科カンファレンス）

| 内　　容 | 発　表　者 | 場　　所 | 年　月　日 | 参加者数 |
|---|---|---|---|---|
| レクチャー「消化管出血」 | 池澤和人 | 筑波記念病院 | 2015.4.15 | 20 |
| 抄読会「Soluble Neprilysin Is Predictive of Cardiovascular Death and Heart Failure Hospitalization in Heart Failure Patients」 | 赤星　南 | 筑波記念病院 | 2015.5.13 | 18 |
| 予演会「腹膜播種によって経口摂取不能となった切除不能進行胃癌に対してSOX療法が奏功した一例」 | 沼田るり子 | | | |
| 抄読会「Bortezomib-Based Therapy for Newly Diagnosed Mantle-Cell Lymphoma」 | 長島さやか | 筑波記念病院 | 2015.5.20 | 20 |
| 症例発表「発熱・倦怠感にて発症し肝脾腫・血球減少が認められた若年女性の一例」 | 馬場祥伍 | | | |
| デスケースカンファ | | 筑波記念病院 | 2015.5.27 | 19 |
| 抄読会「Age of Transfused Blood in Critically ill Adults」 | 倉橋果南 | 筑波記念病院 | 2015.6.3 | 16 |
| 症例発表「健康診断で白血球異常が認められ好酸球の増多が発見された一例」 | 黒坂徳子 | | | |
| 「診療報酬から考える療養病棟の活用」<br>～当院の実情と退院調整の問題 | （MSW）内田恵理 | 筑波記念病院 | 2015.6.10 | 20 |
| 抄読会「Prednisolone or Pentoxifylline for Alcoholic Hepatitis」 | 黒坂徳子 | 筑波記念病院 | 2015.6.17 | 20 |
| 症例発表「SLEに伴う２次性AIHAの１例」 | 内田直宏 | | | |
| レクチャー「胆道感染症の超音波診断をきわめる」 | 鯨岡結賀 | 筑波記念病院 | 2015.6.24 | 9 |
| 症例１：多発性骨髄腫 アミロイドーシスの一例 | 臨床病理カンファレンス | 筑波記念病院 | 2015.7.1 | |
| 症例２：急激な経過をたどった急性腹症の一例 | | | | |
| レクチャー | 血液内科医師 | 筑波記念病院 | 2015.7.8 | 19 |
| 症例発表「両心耳血栓と心外膜肥厚・心嚢液貯留を認めた脾梗塞の一例」 | 倉橋果南 | | | |
| レクチャー「DNAR孝」 | 三橋彰一先生 | 筑波記念病院 | 2015.7.15 | 80 |
| 抄読会「Antibiotic Treatment Strategies for Community-Acquired Pneumonia in Adults」 | 内田直宏 | 筑波記念病院 | 2015.7.22 | 22 |
| 症例発表「髄膜浸潤をきたした多発性骨髄腫の一例」 | 赤星　南 | | | |
| 抄読会「Efficacy and Safety of Alirocumab in Reducing Lipids and Cardiovascular Events」 | 馬場祥伍 | 筑波記念病院 | 2015.7.29 | 20 |
| 症例発表「回盲部炎から門脈血栓症／門脈炎をきした一例」 | 長島さやか | | | |
| 医療マネジメント学会　予演会「リハビリテーション部（１演題）、看護部（３演題）」 | | 筑波記念病院 | 2015.9.2 | 25 |
| レクチャー「輸血について」 | 佐藤祐二 | 筑波記念病院 | 2015.9.9 | 15 |
| レクチャー「放射線科」 | 髙橋信幸 | 筑波記念病院 | 2015.9.16 | 12 |
| 抄読会「Intravascular Complications of Central Venous Catheterization　by Insertion Site」 | 倉橋果南 | 筑波記念病院 | 2015.9.30 | 14 |
| 症例発表「悪性高血圧の改善がみられた一例」 | 黒坂徳子 | | | |
| 抄読会「Efficac y and safety of very early mobilisation within 24h of stoke oneet（AVERT）:a randomised controlled trial」 | 岩元博史 | 筑波記念病院 | 2015.10.7 | 14 |
| 症例発表「血管内リンパ腫治療中に痙攣発作を発症した1例」 | 柴田靖美 | | | |
| レクチャー「胸痛の診かた」 | 榎本強志 | 筑波記念病院 | 2015.10.14 | 22 |
| 症例発表「術後５年経過し、イマチニブ中止後に再発した消化管間質腫瘍（GIST）の１例」 | 秋元　耕 | | | |
| 死亡症例検討会 | | 筑波記念病院 | 2015.10.28 | 18 |
| レクチャー「胃の内視鏡治療について」 | 越智大介 | 筑波記念病院 | 2015.11.4 | 20 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 抄 読 会「Coronary artery bypass graft surgery versus percutaneous coronary intervention in patients with three-vessel disease and left main coronary disease:5-year follow-up of the randomised,clinical SYNTAX trial」 | 神野和志 | 筑波記念病院 | 2015.11.11 | 18 |
| 症例発表「多発性肝腫瘍の１例」 | 岩元博史 | | | |
| レクチャー | 鯨岡結賀 | 筑波記念病院 | 2015.11.18 | 20 |
| ※つくば研修医学術集会　予演会 | | 筑波記念病院 | 2015.12.2 | 20 |
| 抄 読 会「Emergency Depa t rment Visits for Adverse Events Related to Dietary Supplements」 | 柴田靖美 | 筑波記念病院 | 2015.12.9 | 13 |
| 抄　読　会「Trial of Continuous or Interrupted Chest Compressions during CPR」 | 岩元博史 | 筑波記念病院 | 2015.12.16 | 19 |
| 症例発表<br>「PET-CTで明瞭に描写されたNeurolymphomatosisの一例」 | 神野和志 | | | |
| 症例発表「食道ESD後に通過障害を来した１例」 | 柴田靖美 | 筑波記念病院 | 2016.1.13 | 23 |
| 「理学療法、作業療法、言語聴覚療法の専門性について」 | リハビリ<br>金森毅繁 | 筑波記念病院 | 2016.1.20 | 15 |
| 抄　読　会「Second Cencer Risk Up 40 Years after Treatment for Hodgkin's　Lymphoma」 | 神野和志 | 筑波記念病院 | 2016.1.27 | 19 |
| 症例発表「急性心不全の鑑別に苦慮した一例」 | 岩元博史 | | | |
| 症例発表「片頭痛様の頭痛で初発した特発性脳脊髄液減少症の一例（関東地方会予演）」 | 柴田靖美 | 筑波記念病院 | 2016.2.3 | 23 |
| レクチャー「放射線科における安全管理（１）」 | 鯨岡結賀 | | | |
| 抄読会「Door-to-Balloon Time and Mortality among Parients Undergoing Primary PCI」 | 柴田靖美 | 筑波記念病院 | 2016.2.17 | 18 |
| 抄　読　会「Enhanced Cardiac Regenerative Ability of StemCell After lschemia-Reperfusion lnjury」 | 岩元博史 | 筑波記念病院 | 2016.2.17 | 18 |
| 症例発表「嘔吐を主訴に来院しコンパートメント症候群の診断に至った症例」 | 神野和志 | | | |
| 死亡症例検討会（榎本強志Dr、添田敦子Dr、山田豊Dr、佐藤祐二Dr） | | 筑波記念病院 | 2016.2.24 | 20 |
| 地方予演会<br>赤星：洪水被災後に急性十二指腸粘膜病変をきたした一例<br>神野：最大径95mmの腹部大動脈瘤が下肢急性動脈閉塞症の発症によって診断された一例 | 赤星　南<br>神野和志 | 筑波記念病院 | 2016.3.9 | 23 |
| 症例発表「大動脈弁置換術が既往にあるMRSA敗血症の一例」 | 柴田靖美 | | | |
| 研修医救急症例発表会<br>倉橋：緊急ステントグラフト内挿術による外傷性胸部大動脈損傷の救命例<br>馬場：胸痛によるきっかけで精神疾患が疑われた一例 | 倉橋果南<br>馬場祥伍 | 筑波記念病院 | 2016.3.16 | 17 |
| 研修医救急症例発表会<br>神野：繰り返す失神から上部消化管出血の診断に至った一例<br>岩元：くも膜下出血の一例 | 神野和志<br>岩元博史 | 筑波記念病院 | 2016.3.23 | 19 |
| 研修医救急症例発表会<br>柴田：診断に難渋した側頭動脈炎の一例<br>赤星：膵炎による脾静脈閉塞により脾出血を発症した一例 | 柴田靖美<br>赤星　南 | | | |
| 研修医救急症例発表会「黒坂：救急症例発表」 | 黒坂徳子 | 筑波記念病院 | 2016.3.23 | 18 |

## 看護部

| 内　　容 | 講　　師 | 場　　所 | 年　月　日 | 参加者数 |
|---|---|---|---|---|
| 看護倫理 | 星　豪人 | 筑波記念病院会議室 | 2015.4.6 | 47名 |
| 感染予防対策１ | 星　典子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.4.7 | 47名 |
| 看護過程と看護支援システム | 大内昭子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.4.7 | 45名 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 生活支援技術 | 太田和子・星典子・髙橋久美子・小竹久美子・遠藤育代 | 筑波記念病院会議室 | 2015.4.7 | 45 名 |
| 技術研修（心電図・吸引・導尿） | 小林純子・月島沙織・下村真一・髙橋久美子・大信田孝 | 筑波記念病院会議室 | 2015.4.8 | 42 名 |
| 輸液ポンプ・シリンジポンプの扱い方 | 小林純子・月島沙織・下村真一・髙橋久美子・大信田孝 | 筑波記念病院会議室 | 2015.4.9 | 42 名 |
| 採血技術 | 小林純子・月島沙織・下村真一・髙橋久美子・大信田孝 | 筑波記念病院会議室 | 2015.4.10 | 42 名 |
| 医療安全 1 | 小林朋子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.4.10 | 50 名 |
| 看護必要度研修 | 太田和子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.4.23 | 42 名 |
| 医療安全 2 | 鶴見幸子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.6.5 | 21 名 |
| 感染予防対策 4 | 星　典子・富田浩美 | 筑波記念病院会議室 | 2015.6.9 | 24 名 |
| 看護技術研修 2-① | 吉田奈美・金子亜寿香・高山智子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.6.13 | 21 名 |
| 看護補助者研修（救急救命） | 星　豪人 | 筑波記念病院会議室 | 2015.6.18 | 17 名 |
| 看護教育（スタッフ教育と実習指導） | 山下　彩 | 筑波記念病院会議室 | 2015.6.23 | 18 名 |
| 看護管理 2（メンバーシップ） | 吉田奈美・金子亜寿香・高山智子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.7.7 | 22 名 |
| 看護技術 1-③（血糖測定技術） | 木内亮子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.7.9 | 42 名 |
| 看護管理 3（リーダーシップ） | 猪瀬里美・古澤則子・大崎愛子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.7.15 | 14 名 |
| 看護倫理 3 | 小林純子・清水清美・宮川明子・髙橋一枝 | 筑波記念病院会議室 | 2015.7.24 | 19 名 |
| 看護補助者研修（救急救命） | 星　豪人 | 筑波記念病院会議室 | 2015.7.28 | 14 名 |
| 看護研究 3 | 医療生協さいたま地域社会と健康研究所：國澤尚子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.7.30 | 15 名 |
| 救急看護研修 1 | 星　豪人 | 筑波記念病院会議室 | 2015.8.3 | 42 名 |
| ストレスマネジメント 1 | 髙橋晶子心理士 | 筑波記念病院会議室 | 2015.8.4 | 22 名 |
| 看護研究 4 | 小林純子・清水清美・宮川明子・髙橋一枝 | 筑波記念病院会議室 | 2015.8.25 | |
| 看護研究 2 | 茨城県立医療大学准教授：富田美加 | 筑波記念病院会議室 | 2015.8.27 | 22 名 |
| コミュニケーション 1 | 吉田奈美・金子亜寿香・高山智子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.9.2 | 21 名 |
| 看護論研修 1 | 萩谷久枝・横倉宏美・大和田道代 | 筑波記念病院会議室 | 2015.9.16 | 16 名 |
| 感染対策 2 | 星　典子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.10.6 | 22 名 |
| 看護倫理 2 | 岡部恵子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.10.9 | 25 名 |
| 医療安全 4 | 鶴見幸子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.10.22 | 12 名 |
| 医療安全 3 | 鶴見幸子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.10.27 | 21 名 |
| 看護技術研修 1-②（摂食嚥下） | 阿部真由美 | 筑波記念病院会議室 | 2015.10.29 | 41 名 |
| 看護技術研修 2-②（CTP） | 太田和子・星典子・遠藤育代・小竹久美子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.11.6 | 23 名 |
| 救急看護研修 2 | 星　豪人 | 筑波記念病院会議室 | 2015.11.12 | 21 名 |
| 感染予防対策 3 | 星　典子・富田浩美 | 筑波記念病院会議室 | 2015.11.17 | 14 名 |
| 患者満足度向上とクレーム対応 | 水戸ビジネスマナーカレッジ KK：館岡裕子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.11.26 | 15 名 |
| 看護過程 | 大内昭子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.12.8 | 22 名 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 糖尿病患者指導 | 木内亮子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.12.10 | 28 名 |
| 看護管理 4 －① | 矢中豊子・清水清美・宮川明子・髙橋一枝 | 筑波記念病院会議室 | 2015.12.16 | 21 名 |
| キャリア開発 1 | 茨城県立医療大学教授：吉良淳子 | 筑波記念病院会議室 | 2015.12.22 | 13 名 |
| 看護技術 2-③（褥瘡ケア） | 伊藤薫 | 筑波記念病院会議室 | 2015.1.12 | 21 名 |
| コミュニケーション 2（傾聴スキル） | 大東文化大学大学院＆青山学院大学兼任講師：渡部富栄 | 筑波記念病院会議室 | 2016.1.20 | 18 名 |
| 看護管理 4 －② | 矢中豊子・清水清美・宮川明子・髙橋一枝 | 筑波記念病院会議室 | 2016.1.29 | 18 名 |
| 看護補助者研修（ＫＹＴ） | 鶴見幸子 | 筑波記念病院会議室 | 2016.2.5 | 11 名 |
| コミュニケーション 3（アサーション） | 目白大学教授：沢崎達夫 | 筑波記念病院会議室 | 2016.2.18 | 19 名 |
| 看護技術 3 | 猪瀬里美・古澤則子・大崎愛子 | 筑波記念病院会議室 | 2016.2.20 | |
| 看護教育 2（コーチング） | 医療コーディネーターウエルネスコーチ平沢栄子 | 筑波記念病院会議室 | 2016.2.23 | |
| 看護研究 1 | 吉田奈美・金子亜寿香・高山智子 | 筑波記念病院会議室 | 2016.2.26 | |
| 看護補助者研修（ＫＹＴ） | 鶴見幸子 | 筑波記念病院会議室 | 2016.2.29 | 17 名 |
| キャリア開発 2 | 星　豪人・星　典子・木内亮子・阿部真由美 | 筑波記念病院会議室 | 2016.3.3 | 16 名 |

## リハビリテーション部

| 内　　容 | 講　　師 | 場　　所 | 年　月　日 | 参加者数 |
|---|---|---|---|---|
| 茨城県指定小児リハ・ネットワーク事業　第 46 回小児リハビリテーションネットワーク会議 | | 筑波記念病院 | 2015.4.23 | 39 |
| 茨城県指定地域リハ・ステーション事業　第 58 回つくば地域リハ・セミナー第 21 回症例検討会 | | 筑波記念病院 | 2015.8.23 | 50 |
| 茨城県指定地域リハビリテーション研修推進支援センター事業　小児領域 A コース | 岸本光夫 | 筑波記念病院 | 2015.8.29，30 | 10 |
| 茨城県指定地域リハビリテーション研修推進支援センター事業　主催研修会「脳損傷後の機能回復メカニズム」 | 産業技術総合研究所 村田　弓 | 筑波記念病院 | 2015.10.3 | 75 |
| 茨城県指定地域リハビリテーション研修推進支援センター事業　小児領域 B コース | 岸本光夫・根本浩則 | 筑波記念病院 | 2015.11.21，22 | 13 |
| 茨城県指定地域リハビリテーション研修推進支援センター事業　主催研修会「科学的根拠に基づいた PNF の臨床応用」 | 首都大学東京 新井光男 | 筑波記念病院 | 2015.11.24 | 76 |
| 茨城県指定地域リハ・ステーション事業　第 59 回つくば地域リハ・セミナー第 22 回症例検討会 | | 筑波記念病院 | 2016.3.13 | 62 |

## 地域医療連携部（地域医療連携公開講座）

| 内　　容 | 講　　師 | 場　　所 | 年　月　日 | 参加者数 |
|---|---|---|---|---|
| 脳卒中の外科治療<br>－急性期脳梗塞に対する血栓溶解療法と血栓回収療法について－ | 中村和弘 | 筑波記念病院 | 2015.5.15 | 129 |
| 筑波記念病院における緩和ケアチームラウンドの実際<br>緩和ケアの実際　導入から看取りまで | 別所早美<br>長岡広香 | 筑波記念病院 | 2015.5.22 | 74 |
| 第３回つくばESD/ 病理カンファランス | 池澤和人、杉山弘明、<br>臺　勇一 | 筑波記念病院 | 2015.6.5 | 18 |
| 当院におけるサムスカの使用経験から心腎関連を考えたサムスカの有用性 | 内田靖人<br>筑波大学医学医療系<br>瀬尾由広 | 筑波記念病院 | 2015.6.11 | 74 |
| リハビリテーションの実践による地域づくり | 帝京大学　伊佐地　隆 | 筑波記念病院 | 2015.6.26 | 66 |
| 糖尿病教育入院（短期コース３泊４日のすすめ）<br>２型糖尿病の治療　～病態に合わせた薬剤の選択と併用～ | 木内亮子<br>川井クリニック<br>川井紘一 | 筑波記念病院 | 2015.7.3 | 66 |
| レビー小体型認知症：診断と治療の最前線 | 筑波大学医学医療系<br>玉岡　晃 | 筑波記念病院 | 2015.9.11 | 75 |
| 下肢機能と下肢静脈瘤～ CVT として静脈疾患へのアプローチ～ | 和田英明 | 筑波記念病院 | 2015.10.16 | 36 |
| 第７回地域連携 PEG の会<br>「当院における嚥下内視鏡検査（VE）の現状」<br>「高齢者の栄養管理のポイント－胃瘻を中心に－」 | 西野喜美子<br>武庫川女子大学<br>雨海照祥 | つくば国際会議場 | 2015.10.17 | 28 |
| 在宅医療の実践から感じる地域連携・多職種協同 | 生きいき診療所・ゆうき<br>荒井康之 | 筑波記念病院 | 2015.10.21 | 55 |
| 難治性疼痛治療の最近の知見　～線維筋痛症を中心に～<br>線維筋痛症の最新治療 | 筑波大学医学医療系<br>猪股伸一<br>柏木平八郎 | 筑波記念病院 | 2015.11.25 | 55 |
| これだけは知っておきたい平成 28 年度診療報酬改正のポイント | ㈱スズケン<br>岡山幸司 | 筑波記念病院 | 2015.11.27 | 77 |
| 第７回つくば内視鏡ライブセミナー | 日本海総合病院<br>本間清明 | 筑波記念病院 | 2015.11.28 | 50 |
| 当院におけるサムスカの使用経験から<br>心不全治療におけるサムスカの有用性について | 服部　愛<br>武田守彦 | 筑波記念病院 | 2015.12.18 | 50 |
| 第４回つくばESD/ 病理カンファランス | 池澤和人、杉山弘明、<br>臺　勇一 | 筑波記念病院 | 2016.1.15 | 12 |
| 転倒・転落における当院の現状<br>～インシデント報告から薬剤の影響を考える～<br>眠れない＝不眠症？　～不眠の原因を考えよう～ | 小林朋子<br>筑波大学附属病院<br>塚田恵鯉子 | 筑波記念病院 | 2016.2.26 | 58 |
| 開業医における抗凝固療法の実情<br>循環器領域における抗血栓療法について | 仁保内科医院<br>仁保文平<br>日本大学医学部附属板橋病院<br>平山篤志 | 筑波記念病院 | 2016.3.2 | 67 |

医療法人社団 筑波記念会 2015年度年報

発行者：医療法人社団 筑波記念会
〒 300-2622　茨城県つくば市要 1187-299
TEL 029-864-1212
FAX 029-864-8135
http://tsukuba-kinen.or.jp/

筑波記念病院
TSUKUBA MEMORIAL HOSPITAL